

さあ、ともに島根大学から。

2017

SHIMANE
UNIVERSITY

Profile of Shimane University

島根大学
大学概要
2016-2017

地域の拠点としての知の集積と創造による グローバル社会への貢献

島根県は、宍道湖、隠岐諸島や三瓶山など豊かな自然とともに、松江城、出雲大社、石見銀山など歴史的な文化遺産も多数あり、自然や歴史・文化を身近に感じることができます。島根大学はこのような豊かな自然と落ち着いた佇まいに恵まれた松江市と出雲市の2つのキャンパスに、5学部、6研究科を持ち、文化系、理科室、医学系のほとんどすべての学問領域において教育・研究を行っている総合大学です。また、平成29年4月に新たに人間科学部を設置する予定で準備を進めています。

島根大学は、山陰地域における知と文化及び、医療の拠点として培ってきた「知」の次世代への継承を行うと共に、日々の研究において新たな「知」を創造しています。そして、総合大学としての強みを最大限に発揮し、柔軟な発想力、グローバルな感性と豊かな教養、そして高い専門性を身に付け、社会や産業の変革に対応し、豊かで明るい未来の創造に寄与する学生を育てていきたいと考えています。

さらに、島根大学は地域における課題に向き合い地域との協創を強化し、課題の解決を図ると共に、解決の普遍性、汎用性を追求し、広く国内、世界各地において有用となる知識・技術を開発することにより、グローバル社会に広く貢献することを目指します。

島根大学長 服部 泰直



PROFILE OF SHIMANE UNIVERSITY CONTENTS

- 01 学長メッセージ
- 02 島根大学憲章
- 03 豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成
- 05 特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進
- 07 地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進
- 08 地域とともに、さらに広がる人材育成
- 09 アジアをはじめとする諸外国との交流推進
- 11 学問の自由と人権の尊重、社会の信頼に応える大学運営
- 13 法文学部・人文社会科学研究科
- 14 教育学部・教育学研究科
- 15 医学部・医学系研究科
- 16 医学部附属病院
- 17 総合理工学部・総合理工学研究科
- 18 生物資源科学部・生物資源科学研究科
- 19 人間科学部(設置申請中)
- 20 法務研究科
- 21 キャンパスマップ(松江)／附属図書館(本館・松江)
- 22 キャンパスマップ(出雲)／附属図書館(医学図書館・出雲)
- 23 学内施設等

データブック

- 26 沿革・学年暦
- 27 沿革図
- 29 運営組織図
- 31 役職員・経営協議会委員・教育研究評議会評議員
- 33 教職員数
- 34 学部・大学院
- 35 附属図書館
- 36 附属病院
- 37 学生数／附属学校児童・生徒・幼児数
- 39 入試実施状況
- 43 卒業者数・修了者数
- 45 卒業・修了後の状況
- 47 公開講座・公開授業
- 49 科学研究費助成事業等の受入状況
- 50 収入・支出決算額
- 51 外国人留学生の受入状況
- 52 外国への留学状況
- 53 定期刊行文献
- 54 土地・建物
- 55 連絡先一覧
- 56 アクセス



島根大学憲章

島根大学は、学術の中心として深く真理を探究し、専門の学芸を教授研究するとともに、教育・研究・医療及び社会貢献を通じて、自然と共生する豊かな社会の発展に努める。とりわけ、世界的視野を持って、平和な国際社会の発展と社会進歩のために奉仕する人材を養成することを使命とする。

この使命を実現するために、島根大学は、知と文化の拠点として培った伝統と精神を重んじ、「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指すとともに、学生・教職員の協同のもと、学生が育ち、学生とともに育つ大学づくりを推進する。

1. 豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成

島根大学は、深い教養に裏づけられた高い公共性・倫理性の涵養を教育の基礎に置き、現代社会を担う高度な専門性を身につけた人材の養成を行う。

島根大学は、学生が、山陰の豊かな自然、歴史と文化の中で、学修や関連する諸活動を通して積極的に社会に関わりながら、自ら主体的に学び、自律的人格として自己研鑽に努めるための環境を提供する。

2. 特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進

島根大学は、社会の多面的要請に応えうる多様な分野の研究を推進するとともに、分野間の融合による特色ある研究を強化し、国際的に通用する創造性豊かな研究拠点を構築する。

島根大学は、社会の要請に応え、地域課題に立脚した特色ある研究を推進する。

3. 地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進

島根大学は、教育・学修、研究、医療を通して学術研究の成果を広く社会に還元する。

島根大学は、市民と連携・協力して、地域社会に生起する諸課題の解決に努め、豊かな社会の発展に寄与する。

4. アジアをはじめとする諸外国との交流の推進

島根大学は、地域における国際的な拠点大学として、アジアをはじめとする国際社会に広く目を向け、価値ある情報発信と学術・文化・人材の交流を推進することによって、国際社会の平和と発展に貢献する。

5. 学問の自由と人権の尊重、社会の信頼に応える大学運営

島根大学は、真理探究の精神を尊び、学問の自由と人権を尊重するとともに、環境との調和を図り、学問の府にふさわしい基盤を整える。

島根大学は、学内外の意見を十分に反映させつつ透明性の高い、機動的な運営を行う。

豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、 自ら主体的に学ぶ人材の養成

島根大学では、学生主体の教育活動を一層促進することを目的に、学士課程教育を構築・実施しています。学士課程教育とは、大学卒業者に授与される学士号にふさわしい能力・資質を定め、体系的に構築された教育課程を通じてそれを獲得していくことを意味しています。質の保証された学士課程教育を通じて、現代社会の要請に応え得る豊かな教養と高い倫理観を備え、かつ、科学的探求心に富む有為な人材を育成します。

全学共通教育

専門分野を超えた能力・知識の育成

全学共通教育とは、専門分野の枠を超えて島根大学の学生に共通に求められる基礎的な力や幅広い知識を育成するための教育のことです。全学共通教育は、その履修を通じて島根大学の全学生が身に付けて欲しい能力・資質の目標(下の①から⑤)を定め、自らの学びをさらに深めることができる人間、現代社会を形成するにふさわしい人間を育成します。

- ① 知の探求者として育つ ② 市民社会の形成者として育つ
- ③ 地域社会の創造者として育つ ④ 国際社会の貢献者として育つ
- ⑤ 自己の開拓者として育つ



専門教育

基礎から専門へ深化する一貫教育

専門教育は学士課程ごとに定められた教育目標に応じて構築された教育のことです。全学共通教育で培った能力・資質を発展させるとともに、高い専門性を身に付けることを目指し、基礎から専門へと体系的に深化する一貫した教育を行っています。専門性を活かして現代社会の課題を発見し、理性的・創造的に解決する力を育成します。

各学士課程教育
において、
現代社会に
対応した教育を
実施します。

法文学部	人を知り、人を創る
教育学部	体験が育む、プロの教育実践力
医学部	人類の福祉と地域医療に貢献する医療人の育成
総合理工学部	科学・技術が創る人間の未来
生物資源科学部	“いのち”あふれる地球を育む
人間科学部(設置申請中)	ところを知る からだを知る 人をささえる

■特色ある全学教育プログラム

学びのセルフプロデュース ～自分でデザインする新しい学びの形～

島根大学では、自分の専門・専攻の学びに加え、「プラスαの学び」を用意しています。大学での学びを自分自身で計画的にデザインしていく仕組み、それが学びのセルフプロデュースです。

+α1 自分の興味を活かして学ぶ中から「イノベーション基礎力」を身につける

多様な価値が交錯し、これまで誰も当 faced がなかったような問題が次々に現れる今日の複雑な社会情勢の中、大学卒業者に求められている力、それがイノベーションを生み出す力です。既存の方法の適用ではなく、自ら新たな課題を発見し、その解決を独自の道筋を立てて追求し、変革(イノベーション)をもたらす力。それを手にいれるためにはまず、現実の社会との関わりを持ち、その実体験の中から主体的に学んでいく態度と方法を身につけることが重要です。

島根大学においては地域をフィールドとした地域志向科目群を提供するとともに、環境に関するグローバルで多角的な視野を有し、地域に貢献できる人材養成のための「環境教育」プログラム、多様で個性豊かな地域遺産について学び、地域活性化を考える「ジオパーク学」プログラム、島根県の地域資源でもあるRuby(ルビー)プログラミング言語を身に付け、地域で活躍する人材を養成する「Ruby・OSS履修プログラム」を用意しています。



+α2 正課内外を通じて「人間力・就業力」を身につける

社会的自立のために求められる多様な能力を伸ばし、社会で役立つ汎用的な力を身につけることを目的として、「就業力育成特別教育プログラム」が展開されています。

このプログラムは、キャリア教育科目、インターンシップ、中山間地域での実地体験、海外研修等を通じて、キャリア形成に加えて、グローバルマインドや地域貢献マインドについても醸成することができます。

これらにより地域で活躍する幅の広い人材養成を目指しています。



+α3 英語高度化プログラム、中国語実用化プログラムと積極的な留学体験で「国際感覚・語学力」を身につける

島根大学では国際感覚あふれる幅広いものの見方を身につけ、それを実践的に活かすことができるように、グローバルな教育を展開しています。

高度な英語力を伸ばしつつ、グローバル社会に必要な資質を養成する「英語高度化プログラム」、医療現場で役立つ英語を向上させ、地域と世界に貢献できるグローバルな医療人を目指す「アドバンスト・イングリッシュスキルコース」(医学部)を開講しています。

また、「中国語実用化プログラム」を開講し、実用的な中国語コミュニケーション能力を育成し、中国語圏の社会・文化について深い理解と高い見識を醸成します。

夏休みや春休みを利用した短期海外研修プログラムなど、充実した短期・長期の留学制度も用意されています。



特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進

幅広い分野にわたって高度な研究成果を蓄積し、それぞれの分野においてアクティブな知能集団として研究活動を推進するとともに、多様化する社会の要請に柔軟に対応できる研究組織の拡充強化を図ります。大学の使命を果たすために、学問の自由の理念に基づき、常に自らの教育研究活動に対する点検・評価を行い、新たな知的創造に向けての努力を行います。

また、大学院における教育研究活動をさらに推進し、地域に密着した個性的な研究及び国際的レベルの独創的な研究を重点的に育成するとともに、人類に共通する知的財産の継承発展や社会貢献を目指す学問領域も大切に学風の構築を行います。

学部の枠を超えた研究活動「戦略的研究推進センター」

地域の知の拠点としての先端的研究の推進

全学的に取り組むべき具体的研究テーマを設定し、本学の特徴ある研究を集中的な経費配分のもとで推進しています。

重点的に取り組む研究プロジェクトは「戦略的研究推進センター」の次のような各部門及びプロジェクトセンターに位置づけられ、期限と目標を明確にして集中的に進められます。

戦略的研究推進センターのHPは、<http://www.proken.shimane-u.ac.jp/>をご覧ください。

重点研究部門

中期計画に沿った具体的研究テーマを学際的に推進し、本学の特色ある研究として国際的な研究拠点をめざす研究プロジェクトで構成されます。

現在、1件のプロジェクトが推進中です。

萌芽研究部門

数人規模の個別テーマや小規模な学際的テーマで、近い将来本学の重点研究プロジェクトへの発展が期待される研究プロジェクトで構成されます。

現在、10件のプロジェクトが推進中です。

特別研究部門

すでに外部資金等を獲得している研究のうち、本学が重要な研究と位置付け学内外に向けて情報発信することとした研究プロジェクトで構成されます。

現在、3件のプロジェクトが推進中です。

プロジェクトセンター

部局を超えて特徴的な教育研究プロジェクトに参加する研究グループをプロジェクトセンターとして位置付けて見える化することにより、研究活動の一層の活性化と推進を目指すものです。

- Ruby・OSSプロジェクトセンター
- くにびきジオパーク・プロジェクトセンター
- 疾病予知予防プロジェクトセンター
- ナノテクプロジェクトセンター
- 自然災害軽減プロジェクトセンター
- 農林水産業の六次産業化プロジェクトセンター
- ヒッグス・初期宇宙プロジェクトセンター
- 水産資源管理プロジェクトセンター
- ウッド・デザインプロジェクトセンター
- 医・生物ラマンプロジェクトセンター
- たたらナノテクプロジェクトセンター
- 先天異常総合解析プロジェクトセンター
- 膀胱がん撲滅プロジェクトセンター
- 古代出雲プロジェクトセンター
- 東アジア・太平洋歴史文化プロジェクトセンター

研究内容の詳細については、http://www.proken.shimane-u.ac.jp/01project_center.htmlをご覧ください。

ホームページに「研究見本市」開設

島根大学研究見本市は、Web上で本学の各教員の研究紹介を行い、学内の研究ニーズ・シーズの発掘や情報共有及び学外の皆さまに本学の研究シーズをわかりやすく紹介することで、さらなる研究活動の活性化と共同研究の推進を図ることを目的に開設しています。<http://mihonichi.shimane-u.ac.jp/>からご覧いただけます。

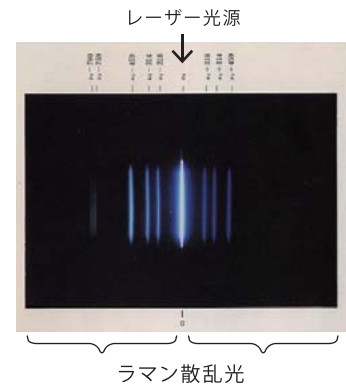
「キーワード」「所属別」「分野別」により検索することができますので、是非ご活用ください。

重点研究プロジェクト（平成26～28年度）

島根大学のシーズを活かした学際的新規医療技術開発拠点の確立

基礎研究と応用研究による ラマン分光法の医療技術への応用を目指す

本学では、ラマン分光法による生細胞の代謝評価などの基礎的研究と、好酸球性食道炎の簡便な診断などの応用研究の両方が、第3期重点研究プロジェクト「S-グリーンライフナノ材料プロジェクト」を中心に確実に進められてきました。本研究プロジェクトは、これらを継承するもので、臨床診断へのラマン分光法の基礎研究と応用研究を柱とする3つのサブグループで構成し、従来よりも直進性が高く深部の臓器の超音波診断への応用技術の開発、酸化亜鉛ナノ粒子やフタロシアニンなどのナノマテリアルのがん治療への応用を目指した研究を行います。また、本学ナノテクノロジープロジェクトセンターで集積されてきたナノテク関連機器とも組み合わせることで、ラマン分光の医療技術応用の研究を本格的に行う世界初の研究センターを開設し、特徴的な診断・治療技術と共に本学の学際的な教育研究の核の一つとして発展させることを目指します。



四塩化炭素のラマン散乱光
 (「ラマン分光法」浜口宏夫・平川暁子 編、学会出版センター(1988)の扉写真を改変して作成)

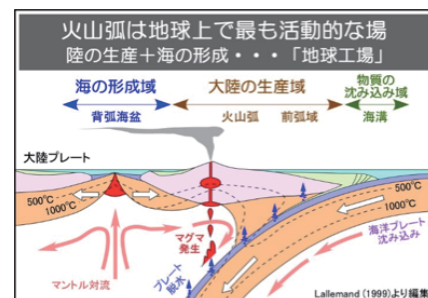
萌芽研究プロジェクト（平成28～29年度）

島根から発する先端地球科学の育成

島根大学の「地域を活かした大型国際研究」を目指して

日本列島のような火山弧では大陸プレートの下に海洋プレートが沈み込んでいます。この作用は様々な地球物質の循環を生じ、大陸を生産し、海を創り、地球上で最も活動的な場を形成しています。このダイナミックなシステムの解明は現代地球科学の最重要課題の1つです。島根県には火山弧の成り立ちを最初から最後まで解読できる貴重な地質が揃います。ここではこの島根の地質に着目し、【陸の形成】「火山・深成作用から高压変成～付加体形成まで考慮した大陸地殻成長機構の解明」、【海の形成】「世界最速で形成した海域(日本海)の誕生～成熟の過程の解読」を2大目標に据え、さらに【+α】「火山弧がもたらす恩恵(資源)と弊害(災害)」と【+β】「火山弧の形成と人の暮らし-古代出雲の幕開け-」の研究を計画しました。萌芽研究では手始めとして「石見銀山と大江高山火山群の成因研究」および「島根半島・隠岐に見る海盆研究」に取り組みます。

本プロジェクトでは、岩石、鉱物、化石、資源、火山、災害などの各分野で最先端を行く地球科学者が学部を超えた「オール島大」として集結し、世界的にもユニークな分野融合チームを編成して研究をスタートします。島根の地域性を活かした島根から発信する大型国際研究の育成を目指し、誇れる学術資源の掘り起こしやジオパーク・世界遺産などの研究成果配信によって地域の教育や観光振興等に貢献したいと考えています。



「古代出雲世界」の認識と境界の成立についての研究ー考古学・地質学・歴史学のコラボレーションー

古代出雲の特質解明、 古代王権と出雲の実態解明を目指す

本プロジェクトでは、古代国家形成期に、「出雲」が日本列島諸地域のなかでも特別視された背景の契機と経緯を明らかにすることを目的とします。具体的には、8世紀代の『日本書紀』・『古事記』・『出雲国風土記』に記載された「出雲世界」に対する認識を比較・検討し、8世紀を遡る「古代出雲」にかかわる考古資料の分析によって、「古代出雲世界」の認識と空間領域の境界の成立背景に迫ります。また、これを地質学的分析により実証することも試み、学際的研究として結実させ、更には古代国家形成期における「出雲神話」がもつ歴史的意義の追究にも踏み込むことを目指しています。



国指定史跡 飯梨岩舟古墳の石棺式石室(安来市)

地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進

山陰地域・環日本海地域という本学の置かれる地域の歴史的・地理的特性を生かして、人類に共通の財産としての学術・文化の継承発展を担い、さらに、地域固有のテーマに関する知的創造を通じて普遍的な真理を探究するとともに、本学が有する知的財産を活用して、教育・研究・文化の拠点として地域社会の発展に貢献します。このため、大学全体として地域のニーズに応える体制を構築することにより、地域に必要とされ、信頼される大学を目指します。

地域に飛び出す学生たち

地域貢献活動

地域との繋がりを深めることを目的として、松江市の伝統行事である「鑿行列(どうぎょうれつ)」への参加、地域で開催されるイベントの企画や農家での農作業活動、地域興しを目的とした祭りの企画・実施など、多くの学生が地域貢献活動を行っています。また、各種スポーツ競技団体は地域で開催される競技会へ補助員として参加したり、学校等に向いて学童に実技指導等を行っています。



鑿行列の様子



秋緑祭の様子

ボランティア活動

ボランティアに取り組む学生が多いのも島大の特徴の1つです。療養所や保育園との交流、夜間に地域の皆さまと大学周辺を巡回する「防犯パトロール」、東日本大震災の被災地を訪れて行う復興支援ボランティアなど、さまざまなボランティア活動を行っています。また、ボランティア活動やサークル活動などの正課以外の諸活動を頑張る学生にポイントを付与することにより応援する、ピットポイントという島根大学独自の制度があります。

<http://shienp2.jn.shimane-u.ac.jp/>



安全安心まちづくりボランティア

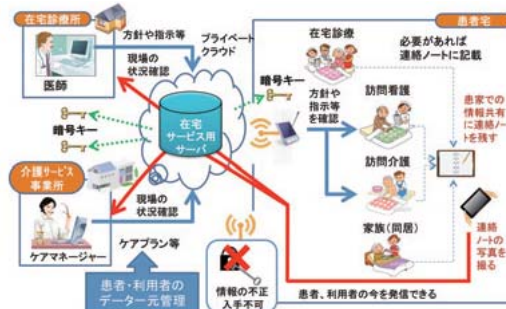


東日本大震災ボランティア

産学連携の具体例

在宅医療・介護分野における情報共有システム「電子連絡ノート」

在宅医療や介護分野においては、医師や介護サービス事業者、患者の家族等、様々な関係者が関わっていますが、電子化が進んでおらず、患者宅にある紙の連絡ノートを使った情報共有が大勢を占めています。特に、島根県のような中山間地域では、診療所や介護サービス事業者と患者宅が離れていることが多く、関係者間での情報共有が行いにくいという課題があります。株式会社テクノプロジェクト(松江市)が開発したシステムでは、この紙の連絡ノートをスマート端末のカメラで撮影し、プライベートネットワーク上にアップすることで、多職種間での情報共有を迅速かつ容易に行うことを可能にします。スマート端末で撮影された写真や、サーバーと交換されるデータ等は、総合理工学研究科の六井淳研究室で開発された「三次元カラーバーコードシステム」による暗号化ツールが活用されています。



就寝状態確認システム「寝僧」

日本の高齢化は近年ますます進行し、それに伴い医療・介護の現場は安全面での対応が求められています。特に高齢者の転倒・転落、徘徊等は大きな問題であり、早期の発見や予知が大切です。一方で、寝たきり等になった場合の褥瘡(じょくそう)対策や孤独死の防止も必要です。これまでは例えばマット式センサーによる離床(ベッド等から離れる動作)検知が行われてきましたが、センサー検知時には既に離床しており、発見が遅れました。これらを解決する目的で、全く新しい発想によるセンサーシステムを、島根大学医学部附属病院医療情報部と山陰制御(有)(安来市)が産学連携で開発しました。センシングにはキーボードで用いられるスイッチを利用し、マットレス(あるいは敷布団)の下9ヶ所(背中、腰、すねの位置で中央と左右)にスイッチを置くとともに、一定以上の重量がかかった際にスイッチがONとなるよう弾力を持ったカバーを取り付けました。各センサーのON/OFFはプロセッサに集約され、ONの分布とその変化の有無を解析することで、離床、寝返り、起き上がり、「寝返りを打っていないこと」が検知できます。



ベッドの横梁に取り付けたセンサー(ピンクの棒がセンサー)

大学の開放

公開講座・公開授業

島根大学では市民の要望や社会の要請に応じて、多様な公開講座、公開授業、大学開放事業等の学びの機会を、生涯教育推進センターを窓口を提供しています。これからも様々な講座やイベントを企画提供するとともに、市民が利用できる大学施設の開放も進めるなど地域社会に向けた社会貢献活動を推進します。



松江の茶の湯文化と出雲の陶磁文化

春と秋の農場開放日

松江市上本庄町の「附属生物資源教育研究センター」(通称:本庄農場)において、春の桜開花期と、秋の収穫期に一般開放事業を実施しています。地域の人々にとっても恒例行事となっています。



地域とともに、さらに広がる人材育成

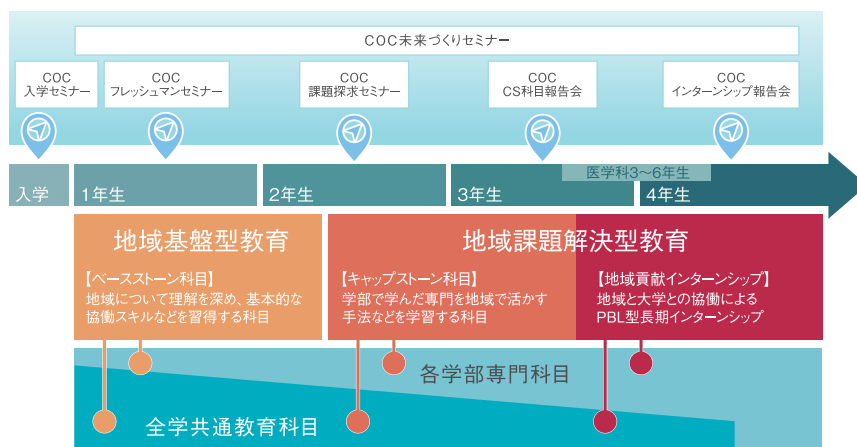
島根大学では、平成25年度から文部科学省の地(知)の拠点整備事業(COC事業)「課題解決型教育(PBL)による地域協創人材養成」を展開し、全学的な地域志向教育の整備と強化を行ってきました。平成27年度には、COC事業の代表的な取り組みである「COC人材育成コース」の設置と、「地域貢献人材育成入試」が実施されました。

また平成27年11月には、新たに文部科学省の地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)に採択され、「地域未来創造人材の育成を加速するオールしまね協働事業」を開始し、地域と協働した人材育成がさらに広がります。

COC人材育成コース

COC人材育成コースは島根大学が掲げる地域協創型の人材育成理念に基づき、自らの専門性を活かしながら多様な人材と協働し、課題に取り組むことができる、島根県を中心とした山陰地域で活躍する人材の育成を目的としています。

地域貢献人材育成入試での入学者は、各学部にも所属すると同時にこのコースにも所属し、地域に関する基礎的な知識、専門性を生かした地域課題解決のための技能等を修得します。詳しくは下の2次元コードより、本学ホームページをご覧ください。



COC人材育成コース教育プログラム

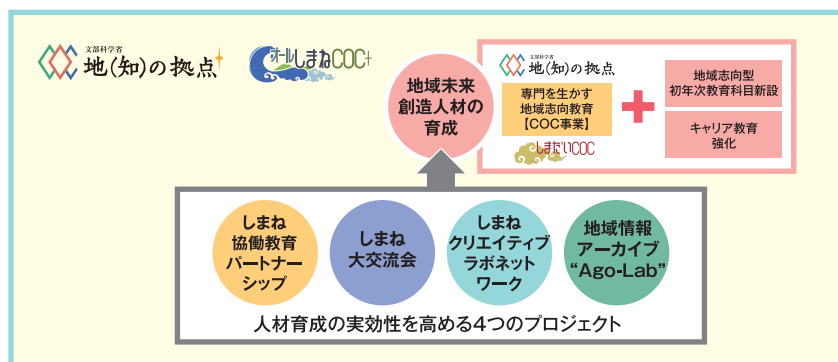
地域貢献人材育成入試

この入試は、本学卒業後、地域社会に貢献しようという強い意志をもつ方を募集するもので、本学すべての学部において実施しているものです。全学部にCOC人材育成コースを設け、入試を実施するのは、国立大学では島根大学が全国で初めてです。詳しくは右の2次元コードより、本学ホームページをご覧ください。



COC+事業による人材育成 - キャリア教育の刷新 -

COC+事業は、本学が主幹校となり、島根県立大学・島根県立大学短期大学部・松江工業高等専門学校が協働して行う事業です。事業の中核は人材育成であり、各高等教育機関の教育による高い「専門性」と、協働・協調を基礎とした「社会人基礎力」、主体的に地域に価値を見いだせる「地域マインド」や地域に新しい価値を生み出せるような「イノベーション創出力」を有し、地域の一ひいては社会・国・世界の未来を創造する「地域未来創造人材」の育成に取り組めます。本事業では、この人材育成の実効性を高める様々な環境整備に取り組みながら、先行するCOC事業の地域志向教育基盤を活用し、地域と協働してキャリア教育の開発・強化を行います。詳しくは右の2次元コードより、本学ホームページをご覧ください。



アジアをはじめとする諸外国との交流推進

世界的視野、特にアジア重視の観点から平和な国際社会の発展と社会の進歩の為に奉仕する人材を育成し、地域課題に立脚した特色ある国際水準の研究を展開。また、その成果を世界へ発信することにより「島根大学ブランド」を確立していきます。

学生交流

島根大学では、学生交流に関する協定を締結している海外の大学との間で、留学希望の学生を6ヶ月から1年以内の期間、相互に派遣する交換留学制度により学生の交流を推進しています。

また、交換留学制度以外にも授業の一環として、春や夏の休業の時期に米国、カナダ、韓国、中国語圏等での海外研修を実施しています。この研修は、ホームステイ、語学・文化講座の受講、現地学生との交流等充実した内容になっています。この研修に参加し、自身の成長を体感した学生が、改めて交換留学に申込みケースもあります。

米国 アーカンソー大学との連携による春期研修

アーカンソー大学で毎年春に本学の学生が約3週間の海外研修を行っています。この研修はアーカンソー大学英語学習センターでの授業、ホームステイ体験、カンパセーションパートナーとの交流、豊かな自然環境の中での野外活動等、様々な体験を通して実践的な生きた英語を学びます。



平成27年度研修の様子(2016年2月)

韓国 慶尚大学校との連携による夏期研修

約10日間にわたり慶尚大学校(慶尚南道晋州市)において、韓国語の初歩を学ぶとともに、文化講座、見学、慶尚大学校学生との交流を通じて韓国の文化・社会・歴史などに触れ、日韓両国の相互理解を深めます。また、研修後半では首都ソウルに滞在し、地方との文化比較体験も行います。



平成27年度研修の様子(2015年8月)

交流協定締結校(部局間交流協定を含む)

2016.7.1現在

大学等名	国名	協定締結日	大学等名	国名	協定締結日
セントラル・ワシントン大学	アメリカ	1982.3.26	釜慶大学校自然科学大学	韓国	2015.1.16
ケント州立大学	〃	1982.8.31	ジャンムーラン・リヨン第3大学	フランス	1990.11.24
カリフォルニア大学デイビス校	〃	1986.2.11	オルレアン大学	〃	2002.7.12
アーカンソー大学	〃	1993.3.1	トリバン大学	ネパール	1991.12.8
コロラド・デンバー大学医学部	〃	2006.2.23	アングラス大学	インドネシア	1997.5.6
テキサス大学ダラス校	〃	2007.8.10	ハヌディン大学	〃	2013.12.17
アリゾナ大学	〃	2010.5.26	モンゴル科学技術大学	モンゴル	1999.3.24
テキサス大学タイラー校	〃	2012.10.17	モンゴル健康科学大学	〃	2002.10.4
フロリダ大学	〃	2014.8.4	リンショーピン大学	スウェーデン	2005.4.21
ワシントン大学医学部	〃	2015.9.25	ルボ大学プライマリヘルスケア研究センター	〃	2014.4.28
東北林業大学	中国	1989.12.28	ハノイ医科大学	ベトナム	2005.10.17
南京林業大学	〃	1993.4.15	トリア大学	ドイツ	2008.11.20
中国農業大学	〃	1996.12.29	マヒドン大学シリラジ病院	タイ	2011.2.2
寧夏大学	〃	1997.8.18	コンケン大学	〃	2014.4.10
北京林業大学	〃	1997.8.23	タマサート大学	〃	2014.9.2
吉林大学	〃	1999.2.1	キングモンクツ工科大学トンプリ校	〃	2014.9.2
河北師範大学	〃	2002.7.29	プリンス・チュラボン・カレッジ・パトナムタニ	〃	2014.9.2
大連大学	〃	2003.6.30	はなまる日本語学校	〃	2014.9.2
寧夏医科大学	〃	2004.2.27	ダッカ大学	バングラデシュ	2011.4.12
北京師範大学	〃	2004.3.18	セメイ国立医科大学	カザフスタン	2013.1.28
中国人民大学経済学院	〃	2005.4.14	アワサ大学	エチオピア	2013.9.7
山東大学	〃	2005.7.20	インド科学大学	インド	2013.11.5
浙江大学教育学院	〃	2006.3.31	バナラスヒンドゥー大学	〃	2015.5.1
東北師範大学	〃	2012.11.22	コーチ理工大学	〃	2016.5.24
大連理工大学数学科学学院	〃	2014.2.10	台湾国立交通大学総合科学センター	台湾	2014.1.23
北京農学院	〃	2014.5.14	国立台湾師範大学生命科学系	〃	2014.11.13
閩南師範大学	〃	2014.9.12	国立台湾大学分子イメージングセンター	〃	2015.2.12
北京大学歴史学部	〃	2015.3.23	開南大学	〃	2015.2.12
西北農林科技大学	〃	2015.5.22	ワイカト工科大学	ニュージーランド	2014.2.5
北京科技大学	〃	2016.3.18	JAMK応用科学大学	フィンランド	2014.2.13
北京大學健康科学センター	〃	2016.6.30	ペラデニア大学	スリランカ	2014.3.25
釜山教育大学校	韓国	1990.3.23	スリランカジャラータ大学応用科学部	〃	2015.5.14
慶尚大学校	〃	1991.3.5	エクセター大学	イギリス	2014.4.4
慶北大学校	〃	1991.3.6	アイスランド大学	アイスランド	2015.9.18
釜山大学校自然科学大学	〃	2013.12.2	A.Tsyb医学放射線研究センター	ロシア	2016.5.17
全北大学校	〃	2013.12.5	ニピジング大学	カナダ	2016.5.31
釜山大学校工科大学	〃	2014.11.4			



国際交流センター

国際交流センターは、世界的視野、特にアジア重視の観点から平和な国際社会の発展と社会の進歩の為に貢献する人材を育成し、地域課題に立脚した特色ある国際水準の研究を展開しつつ、その成果を世界へ発信することにより「島根大学ブランド」を確立することを使命としています。これを実現するため、国際感覚を身に付けるための講義を行うとともに、海外の73の協定校等と連携しながら次のような重点施策を推進します。

1. 島根大学の重点教育研究分野において海外の大学等との戦略的ネットワークの構築
2. 島根大学から派遣する学生数や研究者数の増加
3. 海外からの留学生や研究者の受け入れ体制の強化

島根大学の学生や留学生の皆さんが、気軽に相談できるセンターです。



島根大学・寧夏大学国際共同研究所

島根大学と中国寧夏大学は、1987年に本学教員が外国人として初めて寧夏回族自治区南部山区に入り学術調査を行ったことをきっかけとして交流を深め、両大学間の研究交流の更なる発展と人材育成事業への協力を目的とし、2004年に島根大学・寧夏大学国際共同研究所を設置しました。当研究所は、都市・農村格差の是正問題、環境保全の農牧業技術、環境教育問題等、日中の共通課題の解決を目的とした共同研究の実施を事業の主軸とする他、双方の希望に基づいた研究者のマッチングや情報提供を行う学際的な研究プラットフォームとしての役割を担っており、国際学術セミナーの開催や年報の発行等により、その成果を世界に発信しています。現在では、中国西部地域の他大学にも交流の範囲を広げ、中国西部地域研究の学術ネットワークを形成し、その拠点としての機能を果たしつつあります。また、研究者の相互受入や、短期研修プログラム、学生交流活動等の実施により、人材育成に努めている他、日中の相互理解を促進するため島根県民・本学教職員から寄贈図書を募り、日本関連書籍を集めた図書館を研究所内に開設する等、幅広い活動を行っています。

島根大学は、今後も当研究所を中国西部地域研究の学術ネットワークの拠点として活用し、国際的な学術交流と人材育成を積極的に展開していきます。

研究所の業務内容

- 研究事業(主なテーマ)
 - 「日中条件不利地域、とくに農村地域の持続可能な発展に関する研究」
 - 「気候変動緩和対策と持続可能な畜産・食料生産に関する研究」
 - 「日中両国の社会経済の変容への対応と伝統文化の維持発展に関する研究」
 - 「島根大学型環境教育システムの中国への移転と教育人材の養成(プロジェクト)」
- 学術交流、文化交流、国際学術セミナー・シンポジウムの開催(日本・中国)
- 図書館資料の蓄積と提供、島根大学への留学希望者に対する情報提供
- 島根県、松江市等の国際交流事業への協力



学問の自由と人権の尊重、 社会の信頼に応える大学運営

教育研究環境の向上・充実を図るために、教員組織と事務組織その他全ての職員組織を有機的に機能させ、大学においては学生へのサービス体制と教育研究、附属病院においては教育研究及び医療を重視した管理運営を目指します。このため、本学独自の多角的な自己点検・評価及び外部評価を活用し、学長のリーダーシップと補佐体制の充実による企画・立案機能の向上と迅速かつ合理的に目標や計画の実行が可能となる管理運営組織を構築するとともに、その責任体制を明確にします。また、教職員・学生の声が反映され、透明性のある管理運営を行うとともに、教職員にとって働きがいのある職場環境の充実を図ります。

教職員・学生みんなの「声」が創る島根大学

島根大学では、学生の現状を把握し、彼や彼女らの声を掬い上げ、教育改善を図るべく、入学時アンケート、初年次教育ポストアンケート、授業評価アンケート、卒業生・修了生アンケートを教学企画IR室と教育開発センター中心に実施しています。各アンケートの結果は、教員にフィードバックされ、授業を改善する際の基盤として位置づけられます。

FD・SD(大学教職員の能力向上・資質開発)は、従来の大学教育の中で質の高い活動を行っていくと同時に、大学の概念にとらわれずに地域の様々な方との関わりの中で意見交換を行っています。さらにより質の高い教育を実施するためには、学びの主体となる学生の意見も重要です。授業評価アンケートでは、個々の教員が学生の声を教育改善に反映しやすいシステムを整えました。

このように島根大学では、学生の声や教職員の協働をもとに、よりよい大学環境づくりを邁進しています。



学修を支えるサポート体制

本学では学生の一人ひとりが、その能力を十分に発揮し、高めていくための環境づくりをめざし、学生の多様な能力や適性に応じた学修サポート体制の構築に取り組んでいます。

その例として、先輩学生が後輩学生を学習に限らず生活面でのサポートを行うメンター制度、新入生の履修サポート、図書館での学生コンシェルジュなどのピアサポートプログラムがあります。

また、多様な学習履歴、学習経験を持つ学生が持つ多様な課題に対応するため、大学で学修する上で必要となる基礎的な知識を修得することを目的とした補完教育(英語、数学、化学、物理)を実施しています。

さらに平成28年度には、障がい学生支援室を設置し、入学前の受験相談から、修学上の相談・実際の支援、学生生活上の様々な悩み事相談、社会的スキル指導、進路・就職指導など、障がいに起因する様々な相談に応じています。



ワークライフバランスの実現



さぼっとカフェ



認定マーク
「くるみん」と
「こころ」



コートタイプのマタニティ白衣



医学部附属病院「うさぎ保育所」

島根大学では、構成員の職場環境を整備し、組織を最大限に機能させることにより、教育研究環境の向上・充実を図っています。

男女共同参画推進室では、ワークライフバランス等に関する情報・意見交換の場「さぼっとカフェ」の定期的開催、メールマガジン「さぼっと通信」の定期発信、出産・育児や介護などで研究時間の確保が困難な教員のための研究サポーター制度の運用等の各種事業を進めています。

平成27年4月には、島根県知事から「しまね子育て応援企業(こころカンパニー)」として認定され、平成27年10月には、島根労働局長から「子育てサポート企業」(国が認定する子育て支援に取り組む企業・団体)として認定(認定マーク“くるみん”取得)されました。いずれの認定も、初めて認定を受けてから2度目(更新)となるものです。

また、出雲キャンパスでは「病児・病後児保育」、公設の学童保育終了時刻後に保育者の勤務終了まで子どもを預かる「学童一時保育」の実施、並びに就学前の子どもを預かる院内保育所の設置等保育支援を行っています。

平成28年5月から、「学童一時保育」について、要項を改正し、保育対象を拡大するとともに利用時間の延長及び医学部における入学試験の際の、土曜日及び日曜日の6時から21時までの学童一時保育を新設して保育支援を充実することとしました。院内保育所は、さらなる利便性向上に努め、出産後の職場復帰に寄与しています。

また、「病児・病後児保育」については、平成27年12月より出雲市の病児病後児保育事業に適用され、学外からの利用も受付、市民への子育て支援も併せて行っています。

医学部附属病院では、平成19年3月に女性医師・全ての医療従事者が安心して働くことができる病院として「働きやすい病院評価」の認証を国立大学病院として初めて受け、平成29年3月に認証の更新が認められるよう準備を進めています。また、病院の診療支援施設として「ワークライフバランス支援室」を設置し、働きやすく学びやすい医学部・附属病院を目指すために、「ワークライフバランス」の院内周知を図るために「ワークライフバランス週間」に併せワークライフバランス川柳等の募集を行うなどワークライフバランスの啓発に努めています。本学職員の要望から産学共同で開発した、「コートタイプのマタニティ白衣」を教職員・学生へのレンタル事業を行う等多様なライフスタイルに適合したキャリア継続支援を継続して行っています。メンタルヘルスにも配慮した対応を心掛けるため、平成26年度に実施した職員満足度アンケート調査を今年度も年2回実施し、アンケート結果等を考慮し、ソフトとハードの両面から職場環境を改善し、キャリアプランを実現できるようバックアップしています。仕事と家庭の両立支援相談や、職場環境改善のご意見・ご要望も受け付けています。

市民パスポート会員制度

島根大学では、生涯学習社会に対応して教育・研究の成果を広く社会に公開してきました。平成26年度からは、「地(知)の大学」として、さらに充実した生涯学習を提供するために『市民パスポート会員制度』を新設しました。この制度は年会費5,000円でどなたでも入会することが可能です。「広報しまだい」の送付や大学施設の利用、島根大学の様々な活動に参加が可能など、多くの特典を用意していますが、一番の魅力は「公開講座」の一部や「公開授業」を無料で受講できることです。このようなサービスを提供することで、市民の皆さまに生涯現役として「知る」という楽しみを感じていただいています。



平成26年4月に完成した学生市民交流ハウス

法文学部 人文社会科学研究科

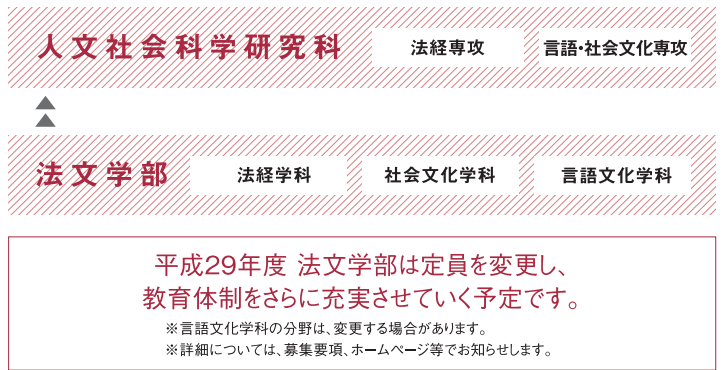
Faculty of Law and Literature
Graduate School of Humanities and Social Science

人を知り、人を創る

私たちは、他者との関わりのなかで自己という存在を強く意識しひとから人へと成長していきます。人を知り、人を創る技を磨くことが、社会を、国家を、世界を知ることにつながっていくのです。全国屈指の少人数教育に情報技術や国際交流を取り入れた法文学部をステップとして、世界へ、人間探求へと飛躍してください。



■ 法文学部ホームページ
<http://www.hobun.shimane-u.ac.jp/>



法経学科

法経学科では、経済学と法学の両面から社会について学び、民間企業の法務・金融担当者や司法書士、行政書士等の法律経済関係の専門、一般職に就く人を育成するだけでなく、法科大学院やビジネススクール、研究者養成大学院等に進学する人を育成します。また地域には、環境、少子高齢化、地方分権、中山間地域、地域振興等、解決すべき課題が山積みしています。これらの課題の解決に必要とされる法学・経済学の基礎的な知識と応用力を身につけ、分析能力・政策立案能力や問題処理能力を養うことによって、国・地方公共団体等の行政部門やNPOで活躍できる人を育成します。



社会文化学科

社会文化学科は現代社会・歴史と考古の2つのコースに分かれています。所属コースは、1年生の後期に決定されます。

現代社会コース

人間と環境、地域と人間の相互関係、地域社会の構造や機能、文化の特徴等を体系的に理解する視点を養います。座学中心の講義や演習に加えて、実験や観察、社会調査やフィールドワーク等の実習教育を重視し、データ収集と分析技法を身につけた人を育てます。

歴史と考古コース

歴史学では日本史・東洋史・西洋史・現代史について、考古学では日本列島を含めた東アジアを対象に、それぞれ専門的に教授し、理論と実地調査への認識を培っています。学生研究室は、学生自身が自主的に運営しており、分野・時代ごとの自主ゼミが開設されるほか、研修旅行も毎年企画しています。



言語文化学科

言語文化学科では、東洋・西洋の言語文化について古代から現代まで幅広く学ぶことができます。学生の皆さんは2年生以降、所属する分野を自由に選び、自分が興味を持つ事柄を深く学びながら、言語文化を理解する方法を習得し、論理的に思考を表現する力を身につけ、語学力を高めています。

日本・東アジア言語文化分野

日本語学・日本文学の分野では、古代から現代に至るまでの日本語と、それによって生み出された文学について幅広く学ぶことができます。中国語学・中国文学の分野では、遠く神話、甲骨文字の時代から、現在活躍中の中国作家の作品に至るまで、広く研究することができます。

英米・ヨーロッパ言語文化分野

イギリスとアメリカ、及びドイツ・フランス語圏の言語、文化の研究を通して幅広い視野、分析力を身につけます。また、様々な演習の授業を通じて各言語の読解力とコミュニケーション能力を高めます。異文化交流に積極的な学生が多く、毎年何人も語学研修や海外留学に出かけています。

文化の創造と理解分野

人が生み出したものを理解し、その理解をもとにしてさらに創造する—この分野では、継承・衝突・創造が繰り返す人間の文化活動を研究の対象にします。また、芸術・文学・映画・音楽などの作品にも実際に触れながら、文化理解のための技術を習得していきます。



大学院

人文社会科学研究科

- 法経専攻 (法政コース・地域経済コース)
- 言語・社会文化専攻 (言語文化コース・社会文化コース)

入学した大学院生は、各自の研究課題や修了後に目指す進路に応じた4コース(法政コース、地域経済コース、言語文化コース、社会文化コース)のいずれかに属し研究のスキルを磨き、各分野の高度な専門的知識と技法を習得します。さらに、学際的・国際的な研究を通じて、総合的実践的能力を育むことも目指します。

■ 人文社会科学研究科HP <http://www.hobun.shimane-u.ac.jp/jinbun/>

教育学部 教育学研究科

Faculty of Education
Graduate School of Education

体験が育む、プロの教育実践力

山陰地域唯一の教員養成専門学部です。21世紀の教育改革をリードし、地域の教育課題の解明と解決に積極的に取り組むとともに、1000時間体験学修等の独自の教師教育プログラムにより、教職への限らない情熱と様々な教育的課題に対応できる優れた教育実践力を備えた教員の養成を目指します。



■教育学部ホームページ
<http://www.edu.shimane-u.ac.jp/>

教育学研究科

教育実践開発専攻
(教職大学院)

臨床心理専攻

教育学部

学校教育課程

- 初等教育開発専攻 ○特別支援教育専攻 ○言語教育専攻
- 共生社会教育専攻 ○数理基礎教育専攻
- 自然環境教育専攻 (○人間生活環境教育専攻) ※
- 健康・スポーツ教育専攻 ○音楽教育専攻
- 美術教育専攻 (○臨床心理特別副専攻) ※

(※平成29年度廃止予定)

初等教育開発専攻

現代社会における教育の使命を考えながら、確かな知識(理論)をもとに実践に取り組む資質・能力を備えた小学校の教員を養成します。理論と実践との往還を通して、よりよい授業や学級経営、学校経営を志向し続ける高度な専門性を獲得できます。

特別支援教育専攻

学習や生活上の困難を抱えた心身に障がいのある幼児・児童・生徒等を対象とする指導の基礎となる知識や教育実践力を身につけた教員の養成を目指します。

共生社会教育専攻

教職に関する基礎的学力はもちろん、歴史学、地理学、哲学・倫理学、社会学、社会科教育学等の専門分野に立脚した教科内容の研究能力を育成し、社会科系諸教科の素養を養います。

言語教育専攻

<国語教育コース>

日本語学、古典文学、近代文学、漢文学、書写・書道、国語科教育学の6分野で専門の授業を行い、教員・社会人に相応しい実践的な国語力やコミュニケーション能力を修得していきます。

<英語教育コース>

英語教育の理論と実践を学ぶのはもちろん、英米文学の原典を読んでその真髄に触れたり、また会話や作文を通しての英語運用能力向上にも力を入れています。

人間生活環境教育専攻

家政教育(衣・食・住)、幼児教育、技術教育(ものづくり・栽培・情報)などの人間が生活していく上で基本となる知識を身につけます。さらに、それぞれの領域において、専門知識を身につけるとともに、実習によって実践力を備えた教員を養成することを目指しています。(※平成29年度廃止予定)

数理基礎教育専攻

計算や数式・図形を理解・操作する能力及び論理的思考力を身につけ、数学について深く理解し、問題や課題を見つけて教材化する力を持ち、的確な指導と説明のできる教員の養成を目指します。

自然環境教育専攻

理科教員に必要な自然科学に関する基礎的知識・技能や探究方法を身につけるとともに、子どもの知的好奇心を刺激し、自然を探究する楽しさを伝えることができる指導法や教材開発について学びます。

美術教育専攻

基礎的な造形能力や美術教育理論を習得する授業と、それらの専門性を深める授業、さらには豊富な臨床的教育体験等でカリキュラムを構成し、造形と美術教育の理論及び実践的能力を身につけた教員の養成を目指します。

健康・スポーツ教育専攻

保健体育の理論や実践力を身につけるとともに、地域の子どもの対象にした様々なスポーツ活動支援を通して、子どもの理解を深め、発達段階に応じた適切な指導が行える専門的能力を育成します。

音楽教育専攻

声楽、ピアノ、管弦打楽器、作曲、音楽教育学の各分野のうち、専科として1つの分野の専門性を深めるとともに、副科として幅広い分野を学ぶことができます。また、授業を通して学外での音楽教育活動を積極的に行い、実践力を備えた音楽教員の養成を目指します。

臨床心理特別副専攻

臨床心理学の多様な技法と理論をベースに、児童生徒の心理を深く理解できる優れた専門性をもつ教員になれるよう、学びます。また、大学院に進学し、臨床心理士資格の取得を目指すこともできます。(※平成29年度廃止予定)

大学院

教育学研究科

●教育実践開発専攻(教職大学院) ●臨床心理専攻

社会構造の急激な変化や高度情報化社会の進展は、現代の子どもたちが育つ過程に多くの影響を及ぼしています。学校教育に期待されること、学校教育の中で起こる問題、家庭教育や地域教育の抱える課題も、ますます複雑で多様なものになりつつあります。教育学研究科は、こうした現代社会・地域社会の教育課題を探究し、解決に向かって具体的な方策を立て、人々との協働の中で熱意を持って取り組むことのできる高度専門職を育成し、未来を担う子どもの学びと心を支援することを通じて地域社会の発展に貢献したいと考えています。

教職大学院(教育実践開発専攻)は、学校創造力、授業デザイン力、子ども支援力を高いレベルで身につけたスクールリーダーの養成を目標としています。臨床心理専攻は、臨床心理学的な査定・面接・地域援助の能力を高いレベルで身につけた臨床心理の専門家の育成を目標としています。

■教育学研究科HP <http://www.edu.shimane-u.ac.jp/daigakuin/>

医学部 医学系研究科

Faculty of Medicine
Graduate School of Medical Research

次世代を担う医療人の育成と 先進医療の地域への還元

医学部では、生命の尊厳と患者の権利・人格の尊重を教育の理念とし、国際的視野に立った豊かな教養と高い倫理観を備え、かつ、科学的探究心を持ち、医療、医学、看護学及び地域社会の発展と人類の福祉に貢献する人材の育成を目的としています。「地域医療人の養成」を特色とし、国際的なセンスと地域医療をリードする研究マインドを持った高度な医療人の養成や、高大連携から生涯教育までを通じた地域医療人養成のための取組みを積極的に推進しています。



■ 医学部ホームページ
<http://www.med.shimane-u.ac.jp/>

医学系研究科 (博士後期課程)

看護学専攻

医学系研究科 (博士課程)

医科学専攻

研究者育成コース
高度臨床医育成コース
地域がん専門医育成コース
地域医療・地域包括ケア指導者育成コース
(医理工農連携教育プログラム)

医学系研究科(博士前期課程) 看護学専攻

看護援助学コース
看護管理学コース
地域・在宅看護学コース
母子看護学コース
成人(急性・慢性)看護学コース
高齢者看護学コース
老人看護CNSコース

医学系研究科(修士課程) 医科学専攻

総合医科学コース
がん専門薬剤師養成コース
地域医療支援コーディネータ養成コース
医療シミュレータ教育指導者養成コース
(医理工農連携教育プログラム)
地域包括ケア人材養成コース(医療経営重点)

医学部

看護学科(4年)

看護師
保健師
助産師(選択)
看護教諭1種(選択)

医学部

医学科(6年)

医学科

一般入試、推薦入試の他、地域枠推薦入試、緊急医師確保対策枠入試、県内定着枠入試、学士編入を行い、多彩な人材を募集しています。入学後は、豊富な教養科目により豊かな創造力・幅広く柔軟な思考能力・高いコミュニケーション能力を培うとともに、医療の現場体験ができる早期医学体験実習、実習が充実した基礎医学科目、チュートリアル教育を取り入れた臨床医学科目を通して、高度な専門医学知識・医療技術を学びます。臨床実習は、医学部附属病院の他、大田総合医育成センターや県内の45医療施設を選択して行い、充実した医療シミュレータを使用して実践的な臨床能力を培います。

また、国際的な場で活躍できるべく徹底した医学英語の習得、先進医療の体験や学習、海外医療施設での実習の機会も用意しています。



看護学科

医療の高度化が急速に進展する一方、超高齢社会の到来によって、人々の健康ニーズは益々増大し、多様化しています。

看護学科ではこうした社会の要請に応え、一人ひとりの健康ニーズを的確に把握し、適切に援助していくことのできる専門性の高い有能な看護職の養成を目指しています。

課題を論理的に分析し解決していく問題解決能力や、科学的根拠に基づいて援助を実践する能力、ケアの対象者や他職種と信頼関係を構築する対人関係能力など、総合的な看護実践能力の基礎を身につけられるように、少人数による課題解決型の演習や、島根大学医学部附属病院、老人保健施設や訪問看護ステーション、保健所や事業所等での看護実践を通して学ぶ臨床実習、ゼミ形式の卒業研究など、多様な方法と場を活用した教育に力を注いでいます。



大学院

医学系研究科

《博士課程》●医科学専攻(研究者育成コース 高度臨床医育成コース 地域がん専門医育成コース 地域医療・地域包括ケア指導者育成コース)

《修士課程》●医科学専攻(総合医科学コース がん専門薬剤師養成コース 地域医療支援コーディネータ養成コース 医療シミュレータ教育指導者養成コース 地域包括ケア人材養成コース(医療経営重点))

《博士後期課程》●看護学専攻

《博士前期課程》●看護学専攻(看護援助学コース 看護管理学コース 地域・在宅看護学コース 母子看護学コース 成人(急性・慢性)看護学コース 高齢者看護学コース 老人看護CNSコース)

医学及び看護学の発展と人類の福祉の向上に寄与するため、医学及び看護学に関する学術的理論とその幅広い応用を教授研究します。医学分野では、研究者として自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えた研究者を養成し、同様に優れた研究能力と応用力を有する臨床医・腫瘍専門医、高度職業人、地域包括ケア指導者を育成します。また学際的教育を実現するため松江キャンパスと連携した医理工農連携教育プログラムを設けています。看護学分野では、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学における研究能力や高度の専門性を要する職業等に必要の能力と、豊かな人間性を備えた研究者、高度専門職業人を養成します。そして新たに超高齢看護の研究者を育成する博士後期課程をスタートしました。

■ 医学系研究科HP <http://www.med.shimane-u.ac.jp/graduate/index.html>

医学部附属病院

University Hospital

理念『地域医療と先進医療が調和する大学病院』

目標

- 患者さん中心の全人的医療の実践
- 人間性豊かな思いやりのある医療人の育成
- 地域医療人との連携を重視した医療の提供
- 地域社会に還元できる研究の推進



■島根大学医学部附属病院ホームページ
<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/index.html>

県内唯一の大学病院として医療人養成、高度医療提供、臨床研究を推進しています。特に、がん医療では、都道府県がん診療拠点病院として高度で先進的ながん医療を実施しています。病院機能評価は元より、卒後臨床研修評価、プライバシーマーク、ISO14001、ISO9001等の認証を受けるなど第三者評価により質の確保に努めています。

2015年9月には島根県地域周産期母子医療センターに指定され、県内の周産期医療施設と連携し、高度で専門的な周産期医療を提供すると共に、人材育成を行っています。また2016年4月より高度外傷センターが稼働を開始しています。人口10万人あたりの不慮の事故による死亡率が全国的に高い島根県において、救命率の向上を図り、安心・安全な生活環境を提供するなど、地域に貢献していきます。

手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」

「ダ・ヴィンチ」とは体腔鏡下3次元画像で遠隔操作手術を行うもので、ロボットアームの関節が人の動きを超えた可動域を持ち、精緻な動作が可能な手術支援ロボットです。島根県内では本院が唯一の導入施設で、現在は週1回のペースで前立腺全摘除術を行っています。膀胱全摘除術、腎部分切除術へと適応を拡大し、消化器外科、婦人科の手術もダ・ヴィンチを用いて実施しています。



「働きやすい病院評価」「ISO9001(本院薬剤部)」「病院機能評価(3rdG:Ver.1.0)」

平成19年3月に、女性医師・すべての医療従事者が安心して働くことができる病院として「働きやすい病院評価」の認証を受け、また、平成25年3月には、病院の現状を様々な角度から確認し、基準を満たした病院として「病院機能評価(3rdG:Ver.1.0)」、平成25年11月には、本院薬剤部が、品質マネジメントを評価する「ISO9001」の認定を受けました。



クリニカルスキルアップセンター

本センターは、体系的カリキュラムのもとに医療技能訓練を行うことで、優れた技術を備えた医療人を育成するために平成21年度に開設されました。模擬ICUにシムマンなど高度な機能を持つシミュレータ機器を多数揃え専任講師による研修を常時行っています。また、隣接する内視鏡手術トレーニングセンターには、ダ・ヴィンチ、内視鏡手術のシミュレータを設置しており、学生から若手医師まで、内視鏡手術のトレーニングが可能となっています。



病児・病後児保育室「ニコニコうさぎ」

職員の職場環境改善の一環として、院内保育所「うさぎ保育所」を開設しています。院内保育所と同じ施設内では病児・病後児保育室「ニコニコうさぎ」を開設し、保育環境の充実にも努めています。出雲市民の子どもさんにも開放しています。



ちょっと気になる健康講座

病院1階待合ホールで毎週1回(原則木曜日)、各診療科の医師等がそれぞれの分野での、日常生活における「ちょっと気になる」健康や医療に関する内容をお話しています。この度、健康講座の内容を冊子にまとめて地元出版社から発刊し、患者さんをはじめ県民の皆さまに健康維持のポイントなどを紹介しています。



「B型肝炎ウイルス再活性化」の予防を目的としたシステム

化学療法の影響等で免疫力が低下すると、B型肝炎が治癒した状態でも「B型肝炎ウイルスの再活性化」を引き起こすことがあります。本院ではこの再活性化を防止するため、医師が電子カルテ上で化学療法の治療計画の指示を出す際に、当該患者さんの検査結果等に応じて、ガイドラインに基づいた必要な処置を促すシステムを構築しています。

先進医療への取り組みについて

- 平成28年4月現在、下記の先進医療に取り組んでいます。
- ・培養細胞による脂肪酸代謝異常症または有機酸代謝異常症の診断
 - ・EBウイルス感染症迅速診断(リアルタイムPCR法)
 - ・コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法
 - ・LDLアフェレシス療法
 - ・腹腔鏡下広汎子宮全摘術

総合理工学部 総合理工学研究科

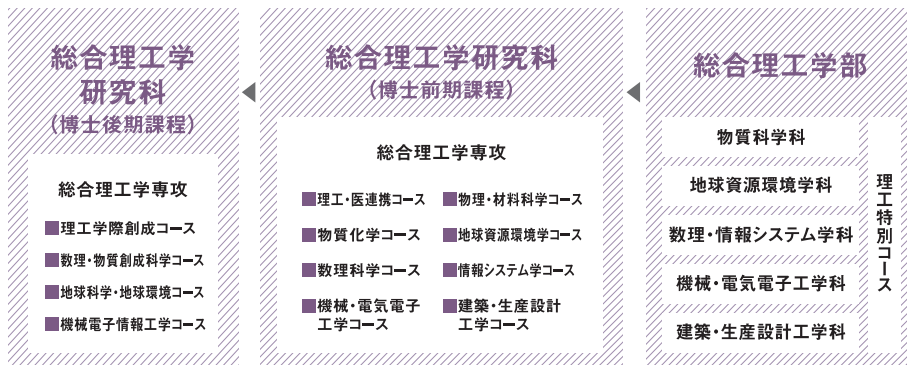
Interdisciplinary Faculty of Science and Engineering
Interdisciplinary Graduate School of Science and Engineering

科学・技術が創る人間の未来

最新の手法を駆使して自然科学を解明しようとする理学系分野と、
未来の最先端科学技術を担う工学系分野が、既存の学問分野の枠を越えて
1つの学部に総合、融合、一体化した全国的にもユニークな学部のひとつです。
素粒子サイズから地球サイズまで、様々な対象を科学的に捉え、
基礎理論から先端技術への応用まで幅広く扱う学際的教育・研究システムを特色としています。



■ 総合理工学部ホームページ
<http://shimane-riko.jp/>



物質科学科

物理分野

物理分野では、素粒子論から新素材開発まで、物質に関する幅広い教育・研究を行っています。物理学、材料科学に関する専門知識、技術、研究能力を持ち、物質科学の発展に寄与できる技術者、研究者の育成を目指します。教育プログラム「物理系コース」は、JABEEの認定を受けています。

化学分野

化学分野は、化学の基礎から応用まで深く学びたい人、新機能を持つ物質を研究したい人、応用技術を修得したい人のための教育を提供します。JABEE対応の教育プログラムに基づいた技術者養成を目指す「機能材料化学コース」、幅広い知識を基に多分野で活躍できる人材育成を目指す「基礎化学コース」があります。

地球資源環境学科

地球資源環境学科は、地球物質システム学、環境地質学、自然災害工学の3教育分野からなり、地質学をベースとして、地球のなりたちや天然資源、自然災害工学等について総合的に教育・研究しています。本学科では、JABEE認定の技術者教育プログラムを実施し、また野外実習や実験を重視したカリキュラムを組んでいます。

数理・情報システム学科

数理分野

数理分野は、数理構造と数理解析の2コースから構成されます。1年次には数学と情報の基礎を、2年次以降に数理系の専門科目を学びます。数学の学習を通じて、論理的な思考力や柔軟な発想力、適切な判断力、そして豊かな表現力を持ち合わせた、教育を含む諸分野で指導的役割を果たせる人材を育成します。

情報分野

情報分野は情報システムコースと情報工学コースの2コースから構成されます。1年次に数学と情報の基礎を学び、2年次以降は主に情報工学に関連する専門科目を学びます。ソフトウェアやハードウェアの研究開発を通じて、国際的に通用する技術や幅広い見識を持ち合わせた人材の育成を行っています。

機械・電気電子工学科

機械・電気電子工学科は、機械工学、電気工学及び電子工学の3分野を融合した学科です。これらの分野の核心的基礎を幅広く学習した上で、さらに1分野について、より応用的・専門的な科目を深く学ぶことによって、激動の21世紀で活躍できる高い専門性を持った技術者の育成を目指しています。

建築・生産設計工学科

建築・生産設計工学科は、健康で快適な生活と、資源循環型社会の実現のために建築学と材料工学、機械工学を総合化した学科です。建築設計、材料設計、プロセス設計(生産プロセス設計・循環プロセス設計)、機械設計の全般に対応できる、広い知識と独創性を兼ね備えた人材の育成を目指して教育を行っています。

理工特別コース

「理工特別コース」は既存の5学科7分野を横断する総合理工学部の学部共通教育コースです。それぞれの学科・分野の教育活動と共同しながら、学科の枠を超えて学部の全教員の協力を得て学生の教育に当たります。AO入試の合格者及び各学科への入学者から選ばれた優秀な学生に対し、1~2年次の連続したアクティブ・ラーニングセミナーと3年次の早期研究室配属を通して、入学時から継続的に理工系分野の研究面への興味・意欲、国際的視野を育む教育を行うことが、このコースの特徴です。

大学院

総合理工学研究科

《博士前期課程》■総合理工学専攻

- 理工・医連携コース ○物理・材料科学コース ○物質化学コース ○地球資源環境学コース
- 数理科学コース ○情報システム学コース ○機械・電気電子工学コース ○建築・生産設計工学コース

《博士後期課程》■総合理工学専攻

- 理工学際創成コース ○数理・物質創成科学コース ○地球科学・地球環境コース ○機械電子情報工学コース

総合理工学研究科は現代社会の新たな要請に応えるため、博士前期課程と博士後期課程を平成24年度から平成26年度にかけて改組し、それぞれ1専攻8コース、1専攻4コースの教育体制に刷新しました。各コースでは、科学技術の総合化・理工融合という研究科の設置理念に則した教育を進め、新たな科学技術の創造に貢献できる人材を養成します。

本研究科では、既存の研究科の枠を超えた教育研究を推進する博士前期の「理工・医連携コース」と博士後期の「理工学際創成コース」、外国人留学生とともに修学する『英語による「地球」教育研究特別プログラム』を設置するなど、先進的教育を実践しています。

生物資源科学部 生物資源科学研究科

Faculty of Life and Environmental Science
Graduate School of Life and Environmental Science

“いのち”あふれる地球を育む

本学部は、「生物、生態、生命、生産、生活を包含するライフを総合的に科学する学部」として、生命現象の基本から、生物資源の育成、利用、開発保全と、それを育む環境に関する広い分野を教育研究の対象としています。一方、島根大学が位置する山陰地域は古い歴史と豊かな自然環境、そして、中山間地での過疎・高齢化などの課題もあります。そこで、本学部では、山陰地域での生物資源の利活用、高齢化社会における豊かな農山村の創造につながる取り組みを行っています。



■ 生物資源科学部ホームページ
<http://www.life.shimane-u.ac.jp/>



生物科学科

教育・研究の対象は、DNAやタンパク質などの分子レベルから、細胞レベル、組織・器官レベル、個体レベル、種レベルにいたる構造(形態)と機能(生理)、時間軸が重要な発生、遺伝、進化など非常に広い範囲にわたっています。これら多様な生物現象の不思議に触れ、解き明かす過程を経験してもらうことにより、論理的思考力、問題解決能力を身につけた社会人として活躍できる人材の育成を目的としています。



生命工学科

ライフサイエンスとバイオテクノロジーに関する幅広い知識と高度な専門技術を学びます。生物学と化学の知識を基盤に、遺伝子操作、生命情報解析、バイオイメージング、有機合成、分子構造解析等の最先端技術・機器を駆使して、微生物・動植物が持つ様々な生命現象の基本的なメカニズムの解明とともに、生物の持つ有用機能を食品・化学・医薬等の生物産業と化学産業に役立てるための教育と研究を行っています。



農林生産学科

農林業生産による豊かな人間生活の実現を目指し、様々な問題を抱える農産物及び林産物に関する持続可能な生産技術、経営・経済、並びに生産環境を取り巻く生態系について教育と研究を行う学科です。豊かな自然環境に恵まれた山陰地域という立地条件を活かしたフィールド学習など幅広いカリキュラムを通して、農林業とそれを取り巻く生態系、地域社会について総合的に学ぶことができます。本学科は、農産物の生産とその品質・安全性など、国内外の農業生産現場が抱えている問題を解決するための理論と方法を学ぶ農業生産学、森林の生態と育成・保全、土壌・水環境、森林資源の林業機械による収穫、バイオマスエネルギー利用、リモートセンシングによる管理、森林に関する政策・経済について学ぶ森林学、植物・昆虫・微生物などが織りなす生命現象とその多面的な価値に注目し、持続可能な農林業と生態系と環境の保全・管理・活用に関する知識と技術を習得できる農林生態科学、国内外の農業・農村を主な対象とし、中山間地域の活性化問題や資源・環境問題、農業経営・市場問題などの社会経済問題を考察し、解決していくための手法について学ぶ農村経済学の4つの教育コースからなり、相互に連携しながら専門性を高める教育と研究を行っています。



地域環境科学科

環境に調和した循環型社会の確立を目指し、土・水・生物等の地域の資源及び環境を適切に調査・評価し、総合的に保全・管理するための知識と技術を習得する学科です。宍道湖・中海や中国山地などの豊かな自然と食糧生産の基盤である農山村地域をフィールドとして、実践的な教育を行います。本学科は、人と自然との共存や生態系の保全を目指し、生物が息づく水・土環境で生じる様々な現象とそのメカニズムを理解するための知識と方法を学習する生態環境科学、資源循環型社会の構築を目指し、地域資源の有効かつ持続的利用のための生態系の保全・修復技術を学習する環境資源工学、地域の豊かな生産環境・生活環境・自然環境を創造・管理・保全するための専門的な基礎学力と技術を、工学的な観点から習得する地域工学[JABEE(日本技術者教育認定機構)コース]の3つの教育コースを提供します。教育コースの決定は、各自の希望を基に、2回生後期開始時に行います。



附属生物資源教育研究センター

森林科学、農業生産科学、海洋生物学の三部門からなり、島根県の豊かな自然と多様な生物のもたらす恵みを受容して利用するため、県中部及び西部に設けられた演習林、県東部、中部にある実験農場、隠岐の島にある臨海実験所を活用して、自然への親しみ、実地体験、新たな発見に貢献できる教育研究を行っています。臨海実験所では、教育関係共同利用拠点として学外から実習生を受け入れています。

大学院

生物資源科学研究科

● 生物生命科学専攻 ● 農林生産科学専攻 ● 環境資源科学専攻

本研究科では、各専攻それぞれに「課題研究コース」「学術研究コース」「地域産業人育成コース」を設け、各人の志向に応じたカリキュラムの選択を可能にしています。課題研究コースでは多様な高度専門職業人を養成するための、学術研究コースでは連合大学院博士課程への進学等研究者を目指す人材を養成するための、また、地域産業人育成コースでは地域産業において指導的役割を果たす人材を養成するための教育プログラムを提供します。また、セメスター制の採用により秋入学を可能にし、社会人や留学生の利便性の向上を図っています。講義では研究科共通科目の必修科目として「科学方法論」や「生物資源科学論」を設け、総合科学的な視点を深めるとともに、専攻・コースに応じた研究や演習により、高い独創性と実践力、国際的な対応力を養っています。

■ 生物資源科学研究科HP <http://www.life.shimane-u.ac.jp/daigakuin/index.html>

人間科学部

Faculty of Human Sciences

こころを知る
からだを知る
人をささえる

人間の特性を深く理解し、人々がその人らしく
生きることができる社会を実現していく人材を育成



設置申請中

平成29年4月設置予定

※内容については予定であり、
変更する場合があります。

人間を心理的・
身体的・社会的側面から
多角的にとらえる力が
身につく

心理学、福祉社会、健康科学がコースとして独立しつつ、互いに融合してカリキュラムを構成しています。また、他学部と連携して、関連科目も学べます。

地域実践と科学的
思考を往還させる
力が身につく

地域実践に関する科目が充実しています。さらに、仮説検証的に考える力を育成する科目、理論化・体系化を促す科目が有機的に関連しています。

他領域の人々と
連携する力が身につく

人間のかかえる問題に対して、他者と連携して取り組む力が身につくように、学部全体で行うインタラクティブ・プレゼンテーション・ミーティングを設けています。

人間科学科(1学科3コース)



心理学コース

心理学コースには、実験心理学と臨床心理学を専門とする教員がいます。実験や調査で人間の心や行動を科学的に捉え、実践的に人間の心を共感的・客観的に理解するなど、多様なアプローチで学びます。

地域実践の授業では、地域の様々な施設や機関に出かけ、地域の人々と実際に関わり、体験的に学びます。これらの学びを通して、人間の心や行動の法則を捉え、地域に生きる人々を心理的な側面から理解し援助することができる、「地域実践力」を育成します。



福祉社会コース

福祉社会コースは、近畿・中四国の国立大学で唯一、社会福祉士と精神保健福祉士双方の国家試験受験資格が取得できるコースです。両福祉士の業務に必要な知識と技能を身に付け、「人をささえる」という視点から、狭義の福祉に限らず、広く現代日本社会が抱える問題について考え、実践する力を養います。資格取得に必要なカリキュラムが完備されていることに加え、地域の課題に取り組み、広い視野と深い教養を身に付けるための授業科目が揃っています。

私たちが目指すのは、多角的な視点と深い思考に裏打ちされた実践的力を備える福祉の専門家の育成です。



健康科学コース

健康科学コースでは、運動生理学、バイオメカニクス、産業衛生学、環境保健学をはじめ、身体を包む健康衣料、さらにはヘルスケア関連の経営学に至るまで、幅広い専門領域の教員を有しています。カリキュラムとして、健康社会を支えるための多様な講義や、社会保健施設や社会スポーツ施設などの実習もあります。

健康科学に関する知識を修得するとともに、地域と積極的にふれあい、人々の健康を支え健康長寿社会を担える力を持った人物を育成します。

社会人・未修者の教育へ力を発揮する山陰の法科大学院

島根大学大学院法務研究科(山陰法科大学院)は、地域社会の法化の進展に寄与するとともに、国際化時代にも対応できる、高度な法的思考力と知識を有する専門ジェネラリストとしての法曹の養成を基本理念にしています。

本研究科では、高度で多様な専門知識の修得のみならず、法曹として生涯役立つ法的知性の基礎作り、地域社会の紛争に敢然と立ち向かい解決への道筋を立てる意欲と熱意を育む教育を重視しています。

司法試験に合格した修了生の多くは社会人と未修者で、本研究科の教育実践は2008年度及び2013年度の認証評価において、公益財団法人日弁連法務研究財団が定める法科大学院認証評価基準に適合していると認定されています。

なお、全国的な入学者激減傾向等を踏まえて、2015年度から募集停止を決めざるを得ませんでした。在学学生全員が修了するまで本研究科は継続して法曹養成教育を行うとともに、法科大学院の教育資産を継承する形で、法曹志願者向けの法学教育を含め、本学における新たな法学教育のあり方と体制につき検討しています。



● 地元弁護士による教育支援

本研究科では、島根・鳥取両県弁護士会に所属する、法科大学院を修了して司法試験に合格された若手の弁護士の方々に法務アカデミック・アドバイザー(AA)に就任していただき、学生に対する課外の教育支援を行っています。AAの方々には、日頃の学生の学習相談、自主ゼミのチューターなど法科大学院での正規の授業を補完する学習支援の活動を担っていただいています。

また、AAのほかに両県弁護士会に所属する弁護士と本研究科の教員が参加する「法曹養成教育研究会」を年に3回開催して、AAによる教育支援・学習支援の活動の報告に基づいて、学生に対する教育内容、方法の改善について意見交換を行って、法曹養成教育の充実を図っています。



● 地域に根ざした法曹養成教育の実践

— 地域法律相談センター

本研究科には、「地域法律相談センター」が設置されています。島根、鳥取両県の住民の皆さまからの無料法律相談(月2回)に実務家教員(弁護士)がお応えするにあたり、相談者の同意を得て学生も参加します。この相談に基づいて、本研究科では実務基礎科目であるリーガルクリニックの授業を展開しています。この相談と授業は、学生にとって、地域において現実に起こっている法律問題を実感することができるのと同時に、相談者とのコミュニケーションの方法を実体験する貴重な機会となっています。



● 地域社会への貢献—消費者法律相談、講演活動

本研究科では、例年、島根県消費者センターと連携して、県内各地において、消費者法律相談及び講演活動を行っています。近年、激増している特に高齢者を狙った詐欺事件に対応するために、高齢化率全国1位の島根県において高齢者に対する消費者教育は、社会的に高く要請される課題です。この要請に応えるべく、本研究科では、発足当初より相談、講演活動を県内各地で展開しています。講演活動は研究者教員が担当し、法律相談は実務家教員が担当し、法律相談には学生も参加して、地域に根ざした法曹養成教育を実践しています。

キャンパスマップ

グーグルストリートビューで、松江、出雲の各キャンパス内をご覧ください。

松江キャンパス

〒690-8504 松江市西川津町1060 TEL.0852-32-6100

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1 本部棟 | 36 総合理工学部1号館(大学院棟) |
| 2 法文学部棟 | 37 学生センター |
| 3 山陰研究センター | 38 教育開発センター |
| 4 教育学部棟 | 39 アドミッションセンター |
| 5 教育学部附属教育支援センター | 40 学生支援センター |
| 6 教育学部附属教師教育研究センター | 41 キャリアセンター |
| 7 教育学部附属FD戦略センター | 42 障がい学生支援室 |
| 8 光物性実験室 | 43 外国語教育センター |
| 9 総合理工学部1号館 | 44 国際交流センター |
| 10 総合理工学部2号館 | 45 島根大学・寧夏大学
国際共同研究所(島根大学分室) |
| 11 総合理工学部3号館 | 46 学生会館 |
| 12 動物飼育室 | 47 大学食堂 Sogno(ソニーコ) |
| 13 生物資源科学部1号館 | 48 大学食堂 Nicora(ニコラ) |
| 14 生物資源科学部2号館 | 49 第1体育館 |
| 15 生物資源科学部3号館 | 50 第2体育館 |
| 16 水利実験室 | 51 トレーニングセンター |
| 17 農業機械実験室 | 52 武道館 |
| 18 林産加工場・実験動物飼育施設 | 53 体育器具庫 |
| 19 製材加工室 | 54 課外活動共用施設 |
| 20 器具庫 | 55 プール棟 |
| 21 温室 | 56 弓道場 |
| 22 動物実験飼育室 | 57 アーチェリー場 |
| 23 ガラス棟 | 58 車庫 |
| 24 圃場 | 59 環境安全施設 |
| 25 教養講義室棟1号館 | 60 焼却処理施設 |
| 26 教養講義室棟2号館 | 61 特高受変電棟 |
| 27 附属図書館 | 62 ボイラー室 |
| 28 保健管理センター | 63 守衛室 |
| 29 生涯教育推進センター | 64 中央監視室 |
| 30 総合情報処理センター | 65 薬品庫 |
| 31 汽水域研究センター | 66 大学ホール |
| 32 ミュージアム | 67 山陰法実務教育研究センター |
| 33 古代出雲文化資料調査室 | 68 学生市民交流ハウス |
| 34 男女共同参画推進室 | 69 地域未来戦略センター |
| 35 総合科学研究支援センター
遺伝子機能解析部門
RI実験施設 | |



●…AED設置場所

附属図書館

<http://www.lib.shimane-u.ac.jp/>

附属図書館は、学術情報資源を集積した大学の知の拠点として、学修、教育・研究活動を支援します。



本館(松江キャンパス)

本館は、主に松江キャンパスの学生や教職員に対する図書館サービスを提供する他、地域市民に対しても開放しています。

建物は、入口に近い方から「交流」「学習」「研究」の3つのゾーンに分けられ、奥に進むに従って静かに学習や読書ができるゾーン構成となっています。「交流ゾーン」には、ディスカッションしながら学習できるラーニングcommonsや、PCルーム、新聞・雑誌コーナー、休憩のためのラウンジが設けられています。「学習ゾーン」は、学習用図書と開放的な閲覧席を配置した明るく落ち着いた学習環境を提供しています。「研究ゾーン」は、個人机や個室が設置され、特に一人静かに学習や研究を深めたい人のためのスペースです。この2つのゾーンは、いずれも、学習用図書が配置された閲覧室と研究用資料が配置された開架書庫が有機的に連結され、資料の活用のしやすさに配慮しています。

図書約80万7千冊、雑誌約1万2千誌が収蔵されているほか、約6千タイトルの電子ジャーナルや文献データベース、デジタルアーカイブのコンテンツなどWeb上で利用できる電子的な情報資源が提供され、無線LANにより館内のほぼどこからでもアクセスできます。

多様な学術情報を適切に使いこなせるように、図書館利用ガイダンスや情報検索講習会を開催して支援をしているほか、学生の図書館コンシェルジュが図書館利用をサポートしています。

学内施設等

生涯教育推進センター

【総合理工学部2号館1階】
<http://www.ercil.shimane-u.ac.jp/>



地域の生涯学習の推進と市民の学習機会の拡充のため地域の生涯学習関連機関・団体と連携を図りながら、地域社会の発展に寄与しています。

汽水域研究センター

【法文学部棟1階】
<http://www.kisuiiki.jp/>



「人間社会とそれを取り巻く自然環境の持続的発展を可能にするための汽水域の保全と利用」を基本理念として、環境変動や生物多様性のメカニズムの解明、資源解析や保全再生に取り組んでいます。

ミュージアム(本館など)

<http://museum.shimane-u.ac.jp/>



永年の教育・研究によって収集・蓄積されてきた標本・資料類等を整理、保管、調査・研究し、展示公開や情報発信を行っています。なお、松江キャンパス内には、このほか山陰地域資料展示室等の展示スペースもあります。

国際交流センター

【総合理工学部2号館3階】
<http://kokusai.shimane-u.ac.jp/>



島根大学の全学的な国際交流活動の拠点として、市民、行政、産業界等の地域社会と協力し、海外の大学等関係機関との共同研究や留学生の受け入れ、島根大学の学生の海外派遣などを戦略的に推進します。

産学連携センター

<http://www.crc.shimane-u.ac.jp/>



松江地区

出雲地区

産学官連携の拠点として大学の総合的窓口機能を担い、民間等との共同研究、受託研究及び科学技術相談への対応、知的財産に関する相談及び企業・民間の技術者・医療技術者への教育等の業務を行っています。

- 地域産業共同研究部門
- 地域医学共同研究部門
- 連携企画推進部門
- 知的財産創活部門

総合情報処理センター

<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/>



総合情報処理センターは、センターに置かれた情報処理システムを整備・運用し、学内外の情報ネットワークとの連携を図ることで、学内の教育・研究などの情報処理のための利用をサポートするとともに、学術情報システム等の開発や人材育成の支援を行っています。

外国語教育センター

【教育学部棟1階】
<http://cfle.shimane-u.ac.jp/>



外国語教育の計画立案・運営・実施及びその点検評価を組織的に行うほか、外国語教育を通して、地域・社会貢献及び国際貢献に寄与することを目指しています。また、外国語教育センターワークステーションでは、くつろいだ自学自習の空間を提供しています。

サテライトミュージアム(島根大学旧奥谷宿舍)

<http://museum.shimane-u.ac.jp/okudani.html>



1924(大正13)年、島根大学の前身・旧制松江高等学校の外国人教師用に建てられた洋館で、国登録有形文化財に登録されています。展示やミニ教室、町歩き観光の拠点として活用されています。

島根大学・寧夏大学国際共同研究所

【寧夏大学構内(中国寧夏回族自治区銀川市)】
<http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp>



研究所を拠点に、中山間地域の活性化、開発と環境問題、都市と農村の格差是正、環境教育の推進等を主要なテーマとして共同研究を行い、研究成果をアジアをはじめとする世界に向けて発信することを目指しています。

広島オフィス

【〒730-0032 広島県広島市中区立町1-23 こうぎん広島ビル4階】
http://www.shimane-u.ac.jp/facility/facilities/hiroshima_office/



島根大学の情報発信・交流の拠点として利便性の高い広島市街に設置。入学希望者への情報提供、企業採用や共同研究、学生の就職支援、医療職員の採用、卒業生・同窓会との連携強化など、利用者のニーズに対応した相談体制を整えています。

食堂

<http://www.shimane-u.ac.jp/education/welfare/cafeteria/> (松江キャンパス)



松江キャンパスの第1食堂と出雲キャンパスの食堂は、朝食から夕食まで3食対応で自分でおかずを組み合わせる利用できます。松江キャンパスの第2食堂は、丼類やセルフバーなどを揃えた昼食対応の食堂です。

学生センター(松江キャンパス)

<http://nyucen.shimane-u.ac.jp/> (アドミッションセンター)



学内中央部に位置し、学生の修学上の支援・助言等を行っています。また、同センターには、教学企画IR室やアドミッションセンターも設置されています。

■教学企画IR室

【学生センター2階】

教育の質保証・質向上に寄与することを目的とし、教育及び学生支援に関する諸データの統合的分析と情報提供・助言等を行っています。

■アドミッションセンター

【学生センター2階】

島根大学における入学者選抜方法等の改善を図るため、入学試験の企画、広報、実施、評価、改善等を行っています。

学生支援センター

<http://career.shimane-u.ac.jp/> (キャリアセンター)



学生支援センター内の学生支援課では、課外活動、就職関係、授業料免除・奨学金等学生生活上の各種支援を行っています。また、同センターには、キャリアセンターや学生支援センターも設置されています。

■キャリアセンター

【学生支援センター1階】

学生の職業・進路選択及び就職活動をより円滑に推進するため、就職情報の提供、就職相談、キャリア教育の企画・実施等を行っています。

■学生支援センター

学生支援センターでは課外活動への支援、経済的な支援等、学生生活の充実を図ることを目的に、学生支援業務を総括的に取り扱っています。

大学会館

http://www.shimane-u.ac.jp/education/extra_curricular/extra_curri_facility/ (松江キャンパス)



学生・教職員が相互交流できる場として、また学生の課外活動の場としても使用することができます。施設内では、書籍・文具及び日用品の販売、高速バス・J・R乗車券の予約発券等のサービスも行っていきます。

障がい学生支援室

【総合理工学部2号館1階】

http://gakushien.shimane-u.ac.jp/disability_support/



障がい学生支援室は、障がいのある学生の皆さんの修学や進路、学生生活などに関する悩みへの相談や支援を行っています。また、サポートスタッフ(学生等)の研修会の開催、補償機器の貸し出しや紹介、外部支援機関との橋渡しなども行っています。支援室の交流スペースには、障がいや悩みのある学生の皆さんと、サポートスタッフ(学生等)との交流の場も設けていますので、相談以外の方々も、お気軽にご利用ください。

学内施設等

学生寮

<http://www.shimane-u.ac.jp/education/welfare/residence/> (松江キャンパス)



学生寮は松江キャンパスの北側(徒歩10分)に位置し、各居室にユニットバス・トイレ・ミニキッチンを備えた完全個室型のA棟(定員168名)、C棟(定員59名)及び各階に共同のキッチン・トイレ・シャワールーム等を備えた半個室型のB棟(定員91名)があります。

保健管理センター

<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/~health/> (松江キャンパス)
<http://www.med.shimane-u.ac.jp/health/> (出雲キャンパス)



心身ともに健康な生活が送れるよう、専門的立場から支援するサービス部門です。定期健康診断の実施、病気やケガの応急処置、健康相談や医療機関の紹介を行っています。いろいろな悩み事の相談には臨床心理士などの専門家に対応しています。身長、体重、血圧、視力測定が自由にできますので、日頃のヘルスチェックに役立ててください。

戦略的研究推進センター

戦略的研究推進センターは、島根大学が有する知的資産と知的創造力を活用し、地域に密着した個性的な研究及び国際水準の独創的な研究を集中的かつ戦略的に推進し、その成果を広く社会に還元することを目的としています。全学的に重点的に取り組む研究プロジェクトは、重点研究部門、萌芽研究部門、特別研究部門の各部門及びプロジェクトセンターに位置付けられ、期限と目標を明確にして集中的に進められます。なお、プロジェクトセンターは、部局を超えた特徴的な教育研究プロジェクトに参加する研究グループをセンターとして位置付けて見える化したもので、研究活動の一層の活性化と推進を目指すものです。

山陰法実務教育研究センター

【法文学部棟4階】

島根大学が有する知的資産を有効に活用し山陰地域における法実務教育を行うとともに、そのための教育プログラム及び教育研究体制に関する調査研究を行い、もって山陰地域における法学教育の充実発展に寄与します。

総合科学研究支援センター

<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/~icsr/index.html>

既存の研究分野の枠を超えた共同利用体制の整備を実現し、生命・環境・ニューマテリアルに関する先端的及び学際的な教育・研究を強力に支援するとともに、その成果を社会の発展のために還元しています。

- 遺伝子機能解析部門 (RI実験施設) (松江)
- 物質機能分析部門 (松江)
- 実験動物部門 (出雲)
- 生体情報・RI実験部門 (出雲)

地域未来戦略センター

【総合理工学部2号館3階】

<http://www.coc.shimane-u.ac.jp/local/>

島根大学が実施する「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」において、地域協創型人材養成のための地域課題解決型教育(PBL)を推進するとともに、自治体と連携し地域課題の解決に貢献することを目的に設置され、地域課題解決型教育のマネジメント、地域人材養成のための教育コンテンツ等の作成の業務を行います。

教育開発センター

【教育学部棟2階】

<http://cerd.shimane-u.ac.jp/>

島根大学における学生の学びの質を保証・向上するために、教育システムの構築やFD、それらを支える各種調査、特色ある授業の創出や全学教育プログラムの企画・実施まで様々な学修支援に携わっています。

男女共同参画推進室

【総合理工学部2号館3階】

<http://gender.shimane-u.ac.jp>

誰もが学びやすく・働きやすい学内環境を作ることを目指して、男女共同参画の推進、研究者支援及びワーク・ライフ・バランスにかかる事業を行っています。

その他の地区

深町地区 (学寮)

〒690-0823 松江市西川津町字深町3371-1 TEL.0852-21-3118

北陵地区 (産学連携センター)

● 地域産業共同研究部門・知的財産創活部門・連携企画推進部門
 〒690-0816 松江市北陵町2 TEL.0852-60-2290

大輪地区 (附属学校)

教育学部附属小学校 / 〒690-0882 松江市大輪町416-4 TEL.0852-29-1200

教育学部附属中学校 / 〒690-0824 松江市菅田町167-1 TEL.0852-29-1300

教育学部附属幼稚園 / 〒690-0882 松江市大輪町416-4 TEL.0852-29-1120

部局名	所在地	電話番号	
生物資源科学部附属生物資源教育研究センター			
本部	〒690-1102 松江市上本庄町2059	0852-34-0311	
森林科学部門	三瓶演習林	〒694-0003 大田市三瓶町多根941-1	0854-86-0011
農業生産科学部門	本庄総合農場	〒690-1102 松江市上本庄町2059	0852-34-0311
//	神西砂丘農場	〒699-0822 出雲市神西沖町2473-1	0853-43-2081
海洋生物科学部門	隠岐臨海実験所	〒685-0024 隠岐郡隠岐の島町加茂194	08512-2-1814
汽水域研究センター	中海分室	〒690-1401 松江市八束町島字南土手附694	0852-76-9007
国際交流会館		〒690-0824 松江市菅田町字ドンド320	0852-25-9530

沿革

年 月	旧島根大学	旧島根医科大学
昭和24年 5月	旧制松江高等学校、島根師範学校、島根青年師範学校を母体として、 文理学部、教育学部からなる新制大学として発足	
昭和40年 4月	島根県立島根農科大学を国立移管し、農学部を設置	
昭和41年 4月	保健管理センター設置	
昭和42年 6月	農学部附属農場・農学部附属演習林設置	
昭和46年 4月	大学院農学研究科設置(平成12年生物資源科学研究科に拡充改組)	
昭和50年 10月		島根医科大学設置
昭和53年 4月		RI 実験施設設置
昭和53年 6月	文理学部を改組し、法文学部と理学部設置	
昭和54年 4月	教育学部附属複式教育研究センター設置	医学部附属病院設置
昭和56年 4月		医学部附属動物実験施設設置
昭和57年 4月		大学院医学研究科博士課程設置
昭和58年 4月		医学部附属実験実習機器センター設置
昭和60年 4月	大学院理学研究科設置(平成12年総合理工学研究科に拡充改組)	
昭和63年 4月	大学院法学研究科設置(平成9年人文社会科学研究科に拡充改組)	
平成元年 4月	島根大学、鳥取大学、山口大学の協力のもとに 大学院連合農学研究科博士課程を鳥取大学に設置	
平成2年 6月	遺伝子実験施設設置 教育学部附属教育実践研究指導センター設置	
平成3年 4月	大学院教育学研究科設置	保健管理センター設置
平成4年 4月	汽水域研究センター設置	
平成5年 4月	生涯学習教育研究センター設置	
平成6年 12月		情報ネットワークセンター設置
平成7年 2月		特定機能病院として承認
平成7年 10月	理学部と農学部を融合・改組し、総合理工学部と生物資源科学部設置	
平成8年 5月	地域共同研究センター設置	
平成9年 4月	大学院人文社会科学研究科設置 附属生物資源教育研究センター設置	
平成11年 4月		医学部看護学科設置
平成12年 4月	大学院総合理工学研究科設置 大学院生物資源科学研究科設置	
平成13年 4月	教育学部附属教育臨床総合研究センター設置 機器分析センター設置	地域医学共同研究センター設置
平成14年 4月	大学院総合理工学研究科を博士課程に改組 総合情報処理センター設置	
平成15年 4月		大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称し、 看護学専攻(修士課程)設置
年 月	島根大学	
平成15年 10月	旧島根大学と旧島根医科大学を統合し、新島根大学を設置 共同研究センター・総合科学研究支援センター設置	
平成16年 3月	島根大学・寧夏大学国際共同研究所設置	
平成16年 4月	国立大学法人法の施行により、国立大学法人島根大学となる 大学院法務研究科設置、大学院医学系研究科に医科学専攻(修士課程)を設置 教育学部附属教育支援センター設置、医学部教育企画開発室設置 外国語教育センター設置、法文学部山陰研究センター設置	
平成16年 10月	共同研究センターを改組し、産学連携センターを設置、評価室設置、総合企画室設置	
平成16年 12月	教育開発センター設置、入試センター設置	
平成17年 3月	プロジェクト研究推進機構設置	
平成17年 10月	キャリアセンター設置	
平成18年 4月	ミュージアム設置、国際交流センター設置	
平成19年 4月	教育学部附属教師教育研究センター設置	
平成19年 6月	教育学部附属FD戦略センター設置	
平成20年 7月	男女共同参画推進室設置	
平成23年 4月	広報室設置	
平成23年 10月	広島オフィス設置	
平成25年 4月	センター機構化	
平成25年 10月	地域課題学習支援センター設置	
平成26年 2月	山陰法実務教育研究センター設置	
平成26年 3月	総合企画室廃止	
平成27年 4月	附属学校に学習生活支援研究センター設置	
平成27年 10月	地域課題学習支援センター廃止、地域未来戦略センター設置	
平成28年 4月	大学院教育学研究科に教育実践開発専攻(専門職学位課程)を設置、大学院医学系研究科看護学専攻を博士課程に改組 研究機構及び学術情報機構を研究・学術情報機構及び附属図書館に改組、教育・学生支援機構に障がい学生支援室を設置	

学年暦

4月1日	学年始	9月30日	前期終	10月15日~16日	大学祭(出雲)
	前期始	10月1日	後期始	12月26日~1月3日	冬季休業
4月5日	入学式		開学記念日	3月13日	学位授与式(出雲)
8月8日~9月30日	夏季休業	10月9日~10日	大学祭(松江)	3月24日	学位授与式(松江)

沿革図

(文理学部の前身)

大9.11 松江高等学校 (～昭25.3)

(教育学部の前身)

明8.4 鳥根県小学教員伝習所

明9.10 松江師範学校

明11.8 松江女子師範学校 (～明14.8)

明17.7 鳥根県師範学校

明19.8 鳥根県尋常師範学校

明31.4 鳥根県師範学校

明36.4 鳥根県女子師範学校 (～昭18.3)

昭18.4 鳥根師範学校 (～昭26.3)

昭8.4 鳥根県立実業公民学校教員養成

昭9.4 鳥根県立青年学校教員養成所

昭19.4 鳥根青年師範学校 (～昭26.3)

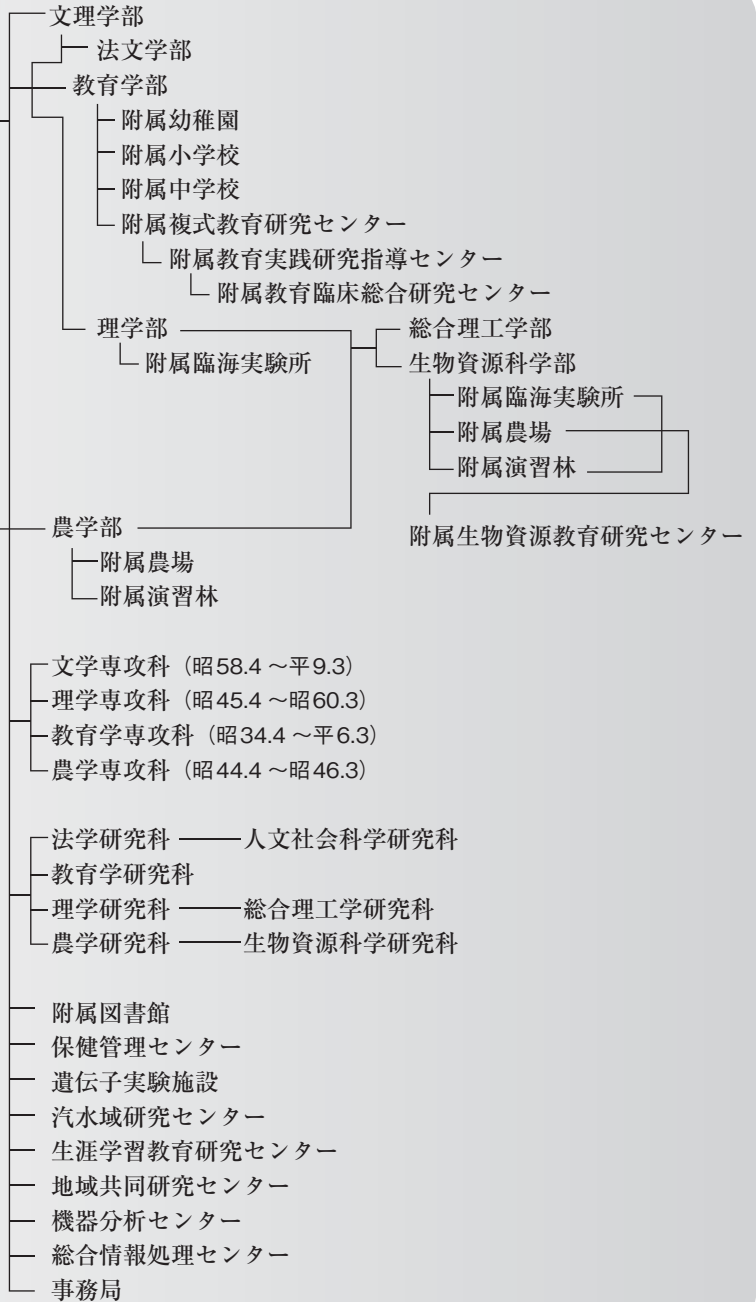
(農学部の前身)

昭22.9 鳥根県立農林専門学校

昭26.4 鳥根県立鳥根農科大学 (昭40.4国立移管)

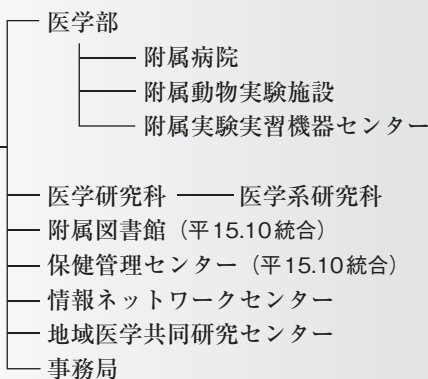
昭和24年5月31日

旧鳥根大学



昭和50年10月1日

旧鳥根医科大学



平成15年10月1日統合

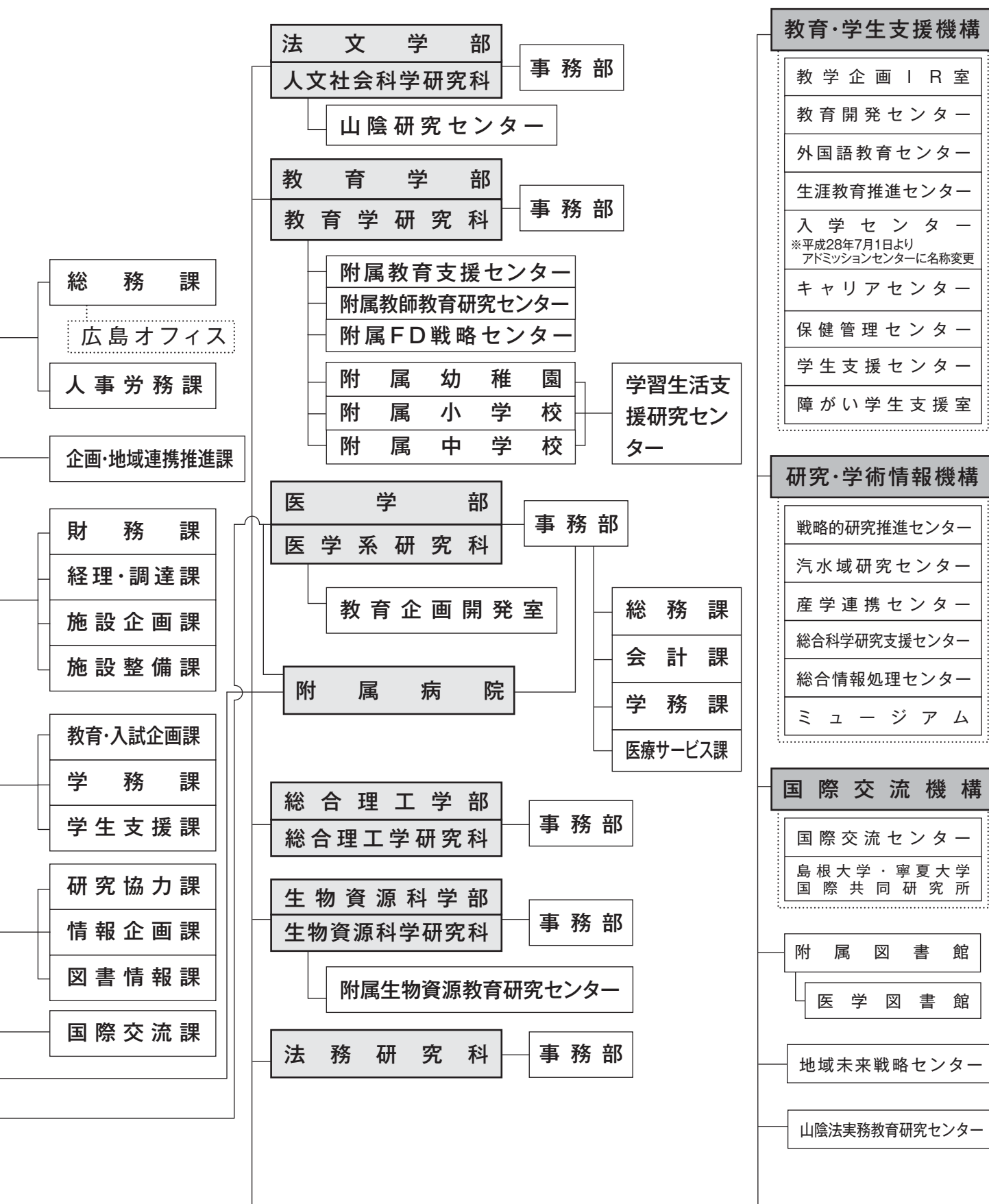
新・島根大学

- 法文学部
- 教育学部
 - 附属教育臨床総合研究センター
 - 附属幼稚園
 - 附属小学校
 - 附属中学校
- 医学部
 - 附属病院
 - 情報ネットワークセンター
- 総合理工学部
- 生物資源科学部
 - 附属生物資源教育研究センター
- 人文社会科学研究科
- 医学系研究科
- 教育学研究科
- 総合理工学研究科
- 生物資源科学研究科
- 附属図書館
 - 医学分館
- 保健管理センター
- 生涯学習教育研究センター
- 総合情報処理センター
- 汽水域研究センター
- 共同研究センター
- 総合科学研究支援センター
- 事務局

平成16年4月1日法人化

国立大学法人・島根大学

- (学部)
 - 法文学部
 - 山陰研究センター
 - 教育学部
 - 附属教育支援センター
 - 附属教師教育研究センター
 - 附属FD戦略センター
 - 附属学校部
 - 附属幼稚園
 - 附属小学校
 - 附属中学校
 - 学習生活支援研究センター
 - 医学部
 - 附属病院
 - 教育企画開発室
 - 総合理工学部
 - 生物資源科学部
 - 附属生物資源教育研究センター
- (大学院)
 - 人文社会科学研究科
 - 教育学研究科
 - 医学系研究科
 - 総合理工学研究科
 - 生物資源科学研究科
 - 法務研究科
- 教育・学生支援機構
 - 教学企画 IR 室
 - 教育開発センター
 - 外国語教育センター
 - 生涯教育推進センター
 - アドミッションセンター
 - キャリアセンター
 - 保健管理センター
 - 学生支援センター
 - 障がい学生支援室
- 研究・学術情報機構
 - 戦略的研究推進センター
 - 汽水域研究センター
 - 産学連携センター
 - 総合科学研究支援センター
 - 総合情報処理センター
 - ミュージアム
- 国際交流機構
 - 国際交流センター
 - 島根大学・寧夏大学国際共同研究所
- 附属図書館
 - 医学図書館
- 地域未来戦略センター
- 山陰法実務教育研究センター
- 事務組織
 - 広島オフィス



役員・経営協議会委員・教育研究評議会評議員

学長

学長 服 部 泰 直

理事

理事(総務・労務担当副学長) 藤 田 達 朗
 理事(企画・学術研究担当副学長) 秋 重 幸 邦
 理事(教育・学生支援担当副学長) 荒 瀬 幹 榮
 理事(医療・附属病院担当副学長) 井 川 幹 夫
 理事(大学経営・財務担当) 松 浦 晃 幸
 理事(非常勤)(社会連携担当) 江 口 博 晴

副学長

副学長(国際交流担当) 出 口 顕 弘
 副学長(医学・医療系の将来計画担当) 大 平 明 利
 副学長(地域連携・貢献担当) 佐 藤 利 信
 副学長(教育・入試改革担当) 武 田 信 明

学長特別補佐

学長特別補佐(IT推進担当) 平 野 章 二
 学長特別補佐(男女共同参画担当) 河 野 美 江
 学長特別補佐(新学部設置準備担当) 村 瀬 俊 樹
 学長特別補佐(ハラスメント対応担当) 金 山 富 美
 学長特別補佐(企画・戦略担当) 芦 田 文 博

監事

監事 千 家 充 伸
 監事(非常勤) 篠 塚 英 子

理事の下に置く部

理事(総務・労務担当)
 総務部
 総務部長 鈴 木 修 二
 総務課長 福 間 栄 子
 人事労務課長 土 屋 健 一
 理事(企画・学術研究担当)
 企画・地域連携推進部
 企画・地域連携推進部長 門 城 祐 司
 企画・地域連携推進課長 吉 木 祐 司
 理事(大学経営・財務担当)
 財務部
 財務部長 川 尻 秀 行
 財務課長 名 取 瑞 樹
 経理・調達課長 石 飛 寿 実
 施設企画課長 渡 部 博 夫
 施設整備課長 青 木 勝 幹
 理事(教育・学生支援担当)
 教育・学生支援部
 教育・学生支援部長 為 石 勝 美
 教育・入試企画課長 江 川 浩 文
 学務課長 倉 橋 文 幸
 学生支援課長 山 崎 文 子
 理事(企画・学術研究担当)
 学術国際部
 学術国際部長 塩 田 芳 夫
 研究協力課長 塩 田 芳 夫
 国際交流課長 濱 田 西 啓
 情報企画課長 大 田 中 俊 二
 図書情報課長 田 中 俊 二

監査室

室長 棟 石 均

学部・大学院

法文学部・人文社会科学研究科

学部長・研究科長 田 上 坂 郁 夫
 副学部長 吹 園 昌 武
 副学部長 野 中 津 則 和
 副学部長 野 中 津 則 和
 事務長 野 中 津 則 和

教育学部・教育学研究科

学部長・研究科長 小 川 巖
 副学部長 加 藤 寿 朗
 副学部長 藤 田 浩 基
 副学部長 藤 川 路 澄 人
 副学部長 川 路 兼 志 保
 附属教育支援センター長 廣 加 川 藤 路 澄 人
 附属教師教育研究センター長 加 藤 田 英 樹
 附属FD戦略センター長 川 藤 英 明
 附属学校部長 藤 齋 藤 英 昭
 附属幼稚園長 齋 藤 英 昭
 附属小学校長 齋 藤 英 昭
 附属中学校長 齋 藤 英 昭
 事務長 石 倉 昭 夫

医学部・医学系研究科

学部長・研究科長 山 口 修 平
 副学部長 椎 名 浩 昭
 副学部長 竹 下 治 男
 副学部長 井 川 幹 夫
 附属病院長 木 下 芳 一
 副病院長 森 田 栄 伸
 副病院長 齊 藤 洋 司
 副病院長 神 田 眞 理 子
 事務部長 後 藤 郁 則
 総務課長 嘉 本 龍 二
 会計課長 松 浦 政 裕
 学務課長 増 田 一 雄
 医療サービス課長 林 元 之

総合理工学部・総合理工学研究科

研究科長・学部長 廣 光 一 郎
 副研究科長・副学部長 吉 田 和 信
 副研究科長・副学部長 三 瓶 良 史
 副研究科長・副学部長 黒 岩 大 司
 副研究科長・副学部長 小 吉 田 光 隆
 事務長 小 吉 田 光 隆

生物資源科学部・生物資源科学研究科

学部長・研究科長 澤 川 嘉 弘
 副学部長 井 向 藤 和 誠
 副学部長 武 藤 育 郎
 副学部長 浅 田 俊 樹
 附属生物資源教育研究センター長 松 原 真 裕 悟
 事務長 原 真 裕 司

法務研究科

研究科長 朝 野 良 作
 事務長 野 津 和 男

機構等

教育・学生支援機構

機構長	荒瀬	瀬	榮
教学企画IR室長	野田	哲	夫人
教育開発センター長	平川	正	宏
外国語教育センター長	廣瀬	浩	三
生涯教育推進センター長	伊藤	康	之
入学センター長 (※平成29年7月1日よりアドミッションセンターに名称変更)	福田	哲	薫
キャリアセンター長	水野	浩	一
保健管理センター長	尾崎	智	子
保健管理センター副センター長	江副	英	俊
学生支援センター長	境	英	俊
障がい学生支援室長	境	英	俊

研究・学術情報機構

機構長	秋重	幸	邦
戦略的研究推進センター長	秋重	幸	邦
汽水域研究センター長	清家	浩	二
汽水域研究センター副センター長	瀬戸	卓	也
産学連携センター長	大庭	河	徹
産学連携センター副センター長	並河	田	強
総合科学研究支援センター長	中原	川	夫
総合科学研究支援センター副センター長	中會	澤	淳
総合情報処理センター長	會六	井	明
総合情報処理センター副センター長	入月	下	和
ミュージアム館長	會	下	和
ミュージアム副館長	會	下	和

国際交流機構

機構長	出口	口	顕
国際交流センター長	出口	口	顕
島根大学・寧夏大学国際共同研究所長	伊藤	勝	久
島根大学・寧夏大学国際共同研究所副所長	一戸	俊	義
島根大学・寧夏大学国際共同研究所副所長	関	耕	平

附属図書館

附属図書館長	杉江	実	郎
医学図書館長	杉本	利	嗣

評価室

室長	秋重	幸	邦
----	----	---	---

男女共同参画推進室

室長	藤田	達	朗
----	----	---	---

広報室

室長	藤田	達	朗
----	----	---	---

地域未来戦略センター

センター長	松崎	貴	
-------	----	---	--

山陰法実務教育研究センター

センター長	朝田	良	作
-------	----	---	---

経営協議会委員

学長	服部	泰	直
理事(総務・労務担当副学長)	藤田	達	朗
理事(企画・学術研究担当副学長)	秋重	幸	邦
理事(教育・学生支援担当副学長)	荒瀬	幹	榮
理事(医療・附属病院担当副学長)	井川	晃	夫
理事(大学経営・財務担当)	松浦	博	幸
理事(非常勤)(社会連携担当)	江口	節	晴
国立大学法人九州大学名誉教授	有川	紳	夫
JST社会技術研究開発センター 特任フェロー	泉	一	郎
山陰中央テレビジョン放送株式会社代表取締役社長	有澤	俊	寛
特定非営利活動法人VHJ機構専務理事	近藤	厚	之
一畑電気鉄道株式会社代表取締役会長	大谷	正	郎
松江市長	松浦	博	則
島根県中小企業団体中央会 副会長	谷口	博	則
株式会社谷口印刷 代表取締役社長	大福	矢	敬
前島根県自治研修所 所長	福島	敦	子
キャスター・エッセイスト	福島	敦	子

教育研究評議会評議員

学長	服部	泰	直
理事(総務・労務担当副学長)	藤田	達	朗
理事(企画・学術研究担当副学長)	秋重	幸	邦
理事(教育・学生支援担当副学長)	荒瀬	幹	榮
理事(医療・附属病院担当副学長)	井川	晃	夫
理事(大学経営・財務担当)	松浦	博	幸
副学長	出口	利	夫
副学長	佐藤	明	弘
副学長	大武	田	明
副学長	田坂	信	夫
法文学部長	小川	修	平
教育学部長	山崎	嘉	弘
医学部長	澤廣	光	一
生物資源科学部長	朝田	園	昌
総合理工学研究科長	上金	山	富
法務研究科長	境	英	俊
教授 法文学部	大熊	谷	浩
教授 法文学部(学長特別補佐)	井倉	俊	和
教授 教育学部 (教育・学生支援機構学生支援センター長/障がい学生支援室長)	松崎	功	一
教授 医学部	肥後	卓	也
教授 医学部	大庭	光	司
教授 生物資源科学部	小杉	江	実
教授 生物資源科学部 (地域未来戦略センター長)	廣瀬	浩	三
教授 教育学研究科	廣瀬	浩	三
教授 総合理工学研究科 (研究・学術情報機構産学連携センター長)	廣瀬	浩	三
教授 総合理工学研究科	廣瀬	浩	三
教授 総合理工学研究科(附属図書館長)	廣瀬	浩	三
教授 教育・学生支援機構 (教育・学生支援機構外国語教育センター長)	廣瀬	浩	三

教職員数

2016.5.1 現在

区分	役員				教育職員										一般職員						医療職員			合計				
	学長	理事	監事	小計	教授	准教授	講師	助教	助手	校長	副校長 副園長	主幹教諭	指導教諭	教諭	養護教諭	小計	事務職員	技術職員	図書職員	技能職員	労務職員	教務職員	小計		医療技術職員	看護職員	小計	
学長	1			1												0							0			0	1	
理事		6		6												0							0			0	6	
監事			2	2												0							0			0	2	
監査室				0												0	2						2			0	2	
理事の下に置く部	総務部	総務部長			0											0	1						1			0	1	
		総務課			0												0	14			1			15			0	15
		人事労務課			0												0	21						21			0	21
	企画・地域連携推進部	企画・地域連携推進部長			0												0	1						1			0	1
		企画・地域連携推進課			0												0	6						6			0	6
	財務部	財務部長			0												0	1						1			0	1
		財務課			0												0	9						9			0	9
		経理・調達課			0												0	16						16			0	16
		施設企画課			0												0	8	5			2		15			0	15
	教育・学生支援部	施設整備課			0												0		14					14			0	14
		教育・学生支援部長			0												0	1						1			0	1
		教育・入試企画課			0												0	8						8			0	8
		学務課			0												0	25						25			0	25
	学術国際部	学生支援課			0												0	13						13			0	13
		学術国際部長			0												0	1						1			0	1
		研究協力課			0												0	7	1					8			0	8
		国際交流課			0												0	6						6			0	6
	国際部	情報企画課			0												0	6	3					9			0	9
		図書情報課			0												0	4		14				18			0	18
法文学部			0	31	33	5									69	6							6			0	75	
教育学部			0	31	28	4	1								64	10							10			0	74	
附属幼稚園			0						1		1	4	1	7									0			0	7	
附属小学校			0						1	1	1	16	1	20									0			0	20	
附属中学校			0					1	1	1	1	22	1	27									0			0	27	
附属学校学習生活支援研究センター			0									1	3	4									0			0	4	
医学部			0	55	26	10	85	4							180	112	48		4		1	165		1	1	346		
附属病院			0	3	9	37	78								127	1	2		9			12	157	666	823	962		
総合理工学研究所			0	51	37	13	20	1							122	8	3						11			0	133	
生物資源科学部			0	37	32	2	19								90	10	12						22			0	112	
教育学研究科			0	7	3	2									12								0			0	12	
法務研究科			0	8	3										11	2							2			0	13	
教育・学生支援機構	教学企画IR室			0			2								2								0			0	2	
	教育開発センター			0		3									3								0			0	3	
	外国語教育センター			0	4	8									12								0			0	12	
	生涯教育推進センター			0	1										1								0			0	1	
	入学センター※			0		2									2								0			0	2	
	キャリアセンター			0			1								1								0			0	1	
	保健管理センター			0	2	1									3								0		3	3	6	
研究機構	学生支援センター			0											0								0			0	0	
	障がい学生支援室			0	1										1								0			0	1	
	戦略的研究推進センター			0			5								5								0			0	5	
	汽水域研究センター			0	2	3									5								0			0	5	
	産学連携センター			0	3	1									4								0			0	4	
国際連携	総合科学研究支援センター			0	2	2		5	1						10								0			0	10	
	総合情報処理センター			0											0								0			0	0	
	ミュージアム			0		1									1								0			0	1	
国際交流センター			0	1										1								0			0	1		
島根大学・寧夏大学国際共同研究所			0											0								0			0	0		
附属図書館			0											0								0			0	0		
評価室			0											0								0			0	0		
男女共同参画推進室			0											0								0			0	0		
広報室			0											0								0			0	0		
地域未来戦略センター			0			2	1							3								0			0	3		
山陰法務教育研究センター			0											0								0			0	0		
合計	1	6	2	9	239	192	78	214	6	1	3	2	4	45	3	787	299	88	14	14	2	1	418	157	670	827	2041	

(注)1. 理事及び監事には、非常勤の理事及び監事各1名を含む。2. 病院診療職員は含まない。3. 外国人研究員は含まない。

※平成28年7月1日よりアドミッションセンターに名称変更

学部・大学院

■学部

学 部	学科・課程	講 座 等
法文学部	法経学科	法学、経済学
	社会文化学科	現代社会、歴史と考古
	言語文化学科	日本・東アジア言語文化、英米・ヨーロッパ言語文化、文化の創造と理解
教育学部	学校教育課程	初等教育開発、心理・発達臨床、言語文化教育、共生社会教育、数理基礎教育、自然環境教育、人間生活環境教育、健康・スポーツ教育、芸術表現教育
医学部	医学科	基礎医学系 解剖学、生理学、生化学、生命科学 臨床基礎医学系 薬理学、病理学、微生物学、免疫学 社会医学系 法医学、環境保健医学、医療情報学、医学英語教育学 臨床医学系 内科学、皮膚科学、小児科学、外科学、整形外科学、脳神経外科学、泌尿器科学、精神医学、産科婦人科学、耳鼻咽喉科学、眼科学、放射線医学、麻酔科学、緩和ケア、歯科口腔外科学、臨床検査医学、救急医学、Acute Care Surgery、地域医療教育学、地域医療支援学、総合医療学、地域医療政策学
	看護学科	基礎看護学、臨床看護学、地域・老年看護学
総合理工学部	物質科学科	物質構造、物質設計、物質機能、量子物理、物質化学
	地球資源環境学科	地球物質システム学、環境地質学、自然災害工学
	数理・情報システム学科	数理構造、数理解析、応用情報学、計算機科学
	機械・電気電子工学科	制御システム工学、計測システム工学、電気電子システム工学、電子デバイス工学
	建築・生産設計工学科	材料工学、機械加工システム学
生物資源科学部	生物科学科	生物科学教育コース
	生命工学科	生命工学教育コース
	農林生産学科	農業生産学教育コース、森林学教育コース、農林生態科学教育コース、農村経済学教育コース
	地域環境科学科	生態環境科学教育コース、環境資源工学教育コース、地域工学教育コース

■大学院

研究科	専 攻	講 座 等
人文社会科学研究科 修士課程	法経専攻	法政コース、地域経済コース
	言語・社会文化専攻	言語文化コース、社会文化コース
教育学研究科 専門職学位課程	教育実践開発専攻	
教育学研究科 修士課程	臨床心理専攻	
医学系研究科 博士課程	医科学専攻	研究者育成コース、高度臨床医学育成コース、地域がん専門医学育成コース、地域医療・地域包括ケア指導者育成コース
医学系研究科 修士課程	医科学専攻	総合医科学コース、がん専門薬剤師養成コース、地域医療支援コーディネータ養成コース、医療シミュレータ教育指導者養成コース、地域包括ケア人材養成コース(医療経営重点)
医学系研究科 博士後期課程	看護学専攻	
医学系研究科 博士前期課程	看護学専攻	看護援助学コース、看護管理学コース、地域・在宅看護学コース、母子看護学コース、成人(急性・慢性)看護学コース、高齢者看護学コース、老人看護 CNS コース
総合理工学研究科 博士後期課程	総合理工学専攻	理工学際創成コース、数理・物質創成科学コース、地球科学・地球環境コース、機械電子情報工学コース
総合理工学研究科 博士前期課程	総合理工学専攻	理工・医連携コース、物理・材料科学コース、物質化学コース、地球資源環境学コース、数理科学コース、情報システム学コース、機械・電気電子工学コース、建築・生産設計工学コース
生物資源科学研究科 修士課程	生物生命科学専攻	課題研究コース、学術研究コース、地域産業人育成コース
	農林生産科学専攻	課題研究コース、学術研究コース、地域産業人育成コース
	環境資源科学専攻	課題研究コース、学術研究コース、地域産業人育成コース
法務研究科 専門職学位課程	法曹養成専攻	

附属図書館

蔵書数

2016.3.31現在

区分	図書(冊)			雑誌(種)		
	和書	洋書	計	和書	洋書	計
本館	650,279	156,654	806,933	8,584	2,920	11,504
医学図書館	68,998	65,896	134,894	2,129	1,761	3,890

利用状況

区分	入館者数	貸出冊数	図書の貸借		文献複写	
			貸出	借受	受付	依頼
本館	329,706	67,693	321	539	937	2,038
医学図書館	167,460	14,627	9	13	1,120	1,063

閲覧座席

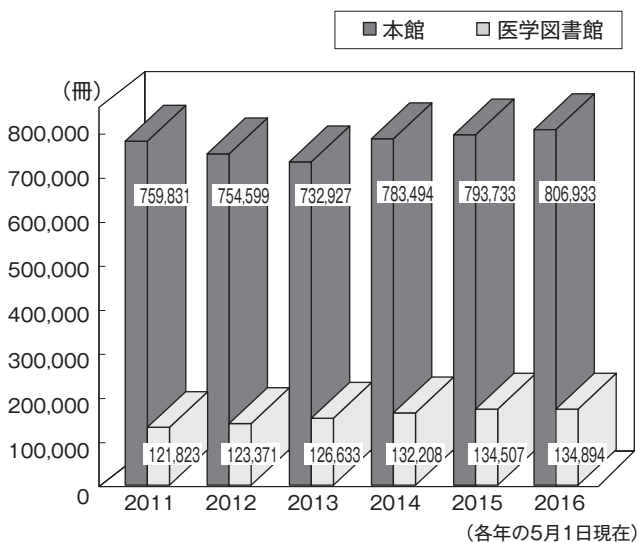
区分	座席数	備考
本館	560	開架閲覧室298席、ロビー13席、ラーニングcommons80席、新聞・雑誌コーナー24席、ラウンジ17席、グループ学習室20席、AVルーム14席、PCルーム41席、研究個室8席、地域資料室4席、マイクロ資料室2席、書庫内15席、その他24席
医学図書館	267	開架閲覧室168席、文献検索コーナー8席、セミナー室25席、自由閲覧室43席、ビデオ室12席、アメニティコーナー11席

開館時間等

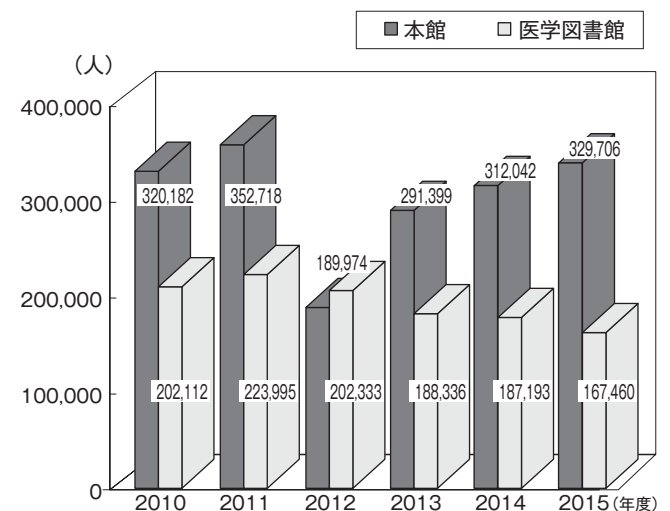
区分	開館時間		休館日
	月曜～金曜	土曜・日曜・休日	
本館	8:30～21:30 (休業期は9:00～19:00 または9:00～17:00)	10:00～17:30 (休業期は休館)	休業期の土曜・日曜・休日 年末・年始(12月28日～1月3日) 夏季一斉休業期間(8月13日～15日) 上記のほか、資料整理のための臨時休館あり
医学図書館	9:00～20:00 (8月及び3月9:00～17:00)	10:00～16:00	8月及び3月の土曜・日曜・休日 年末・年始(12月28日～1月3日) 夏季一斉休業期間(8月13日～15日) 医学図書館長が必要と認めた日

蔵書数・利用状況の推移

●蔵書数(図書)



●利用状況(入館者数)



※本館では2012年度耐震改修工事のため入館者数が減少
 ※本館では2013年度から入館者数のカウント方式を変更

附属病院

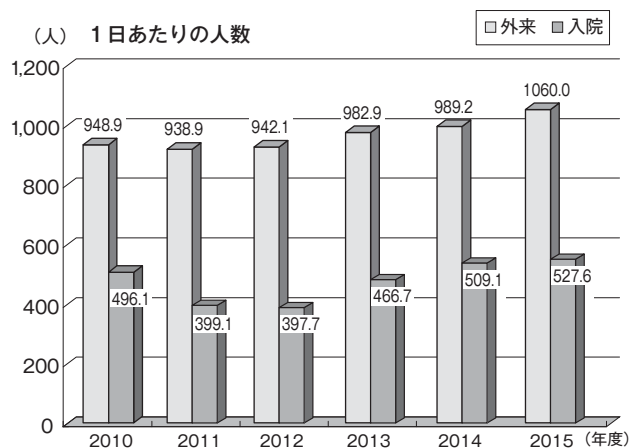
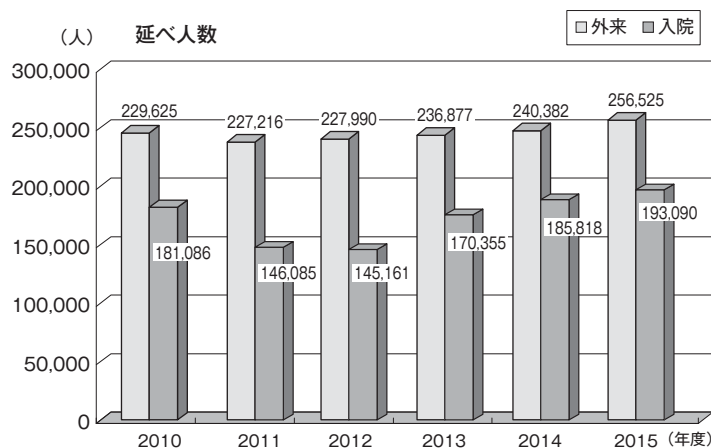
■附属病院患者数

(2015.4.1~2016.3.31)

診療科名等	外来患者数		入院患者数	
	延数	1日平均数	延数	1日平均数
内分泌代謝内科	14,475	59.8	4,106	11.2
腫瘍・血液内科	5,672	23.4	14,162	38.7
消化器内科	12,156	50.2	11,269	30.8
肝臓内科	7,344	30.3	3,605	9.8
神経内科	7,216	29.8	12,195	33.3
膠原病内科	7,107	29.4	1,821	5.0
呼吸器・化学療法内科	9,422	38.9	10,646	29.1
腎臓内科	4,117	17.0	2,672	7.3
循環器内科	9,088	37.6	9,455	25.8
皮膚科	15,138	62.6	3,413	9.3
小児科	9,962	41.2	10,727	29.3
消化器外科	7,116	29.4	11,732	32.1
肝・胆・膵外科	2,659	11.0	5,583	15.3
小児外科	1,583	6.5	1,033	2.8
乳腺・内分泌外科	4,665	19.3	1,483	4.1
心臓血管外科	1,828	7.6	4,713	12.9
呼吸器外科	1,778	7.3	3,595	9.8
整形外科	15,447	63.8	19,257	52.6
脳神経外科	4,027	16.6	7,412	20.3
泌尿器科	16,971	70.1	11,385	31.1
精神科神経科	15,548	64.2	8,927	24.4
産科	6,019	24.9	5,609	15.3
婦人科	11,410	47.1	6,849	18.7
耳鼻咽喉科	7,133	29.5	7,232	19.8
眼科	20,307	83.9	6,272	17.1
放射線科	1,135	4.7	139	0.4
放射線治療科	5,728	23.7	6	0.0
麻酔科	6,120	25.3	2,456	6.7
救命救急センター	9,697	40.1	1,408	3.8
歯科口腔外科	9,586	39.6	3,887	10.6
顎顔面インプラントセンター	810	3.3	41	0.1
臨床検査科	173	0.7		
リハビリテーション科	5,088	21.0		
ICU			(3,328)	(9.1)
NICU			(1,995)	(5.5)
救命救急センター第1ユニット			(2,920)	(8.0)
救命救急センター第2ユニット			(2,090)	(5.7)
合計	256,525	1060.0	193,090	527.6

※ICU、NICU、救命救急センター第1ユニット・第2ユニットの患者数については、再掲で表示しております。

●患者数の推移



学生数

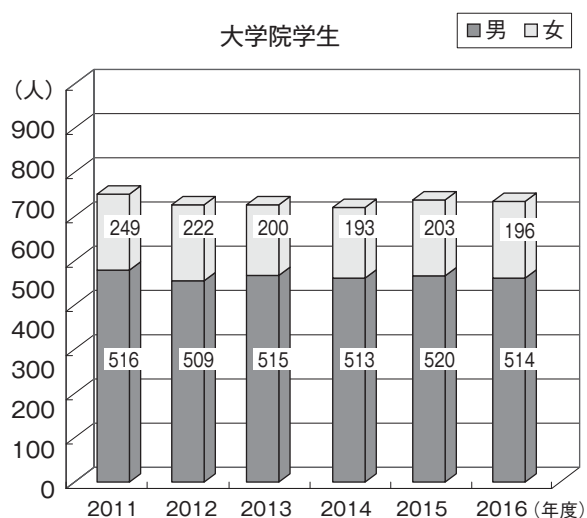
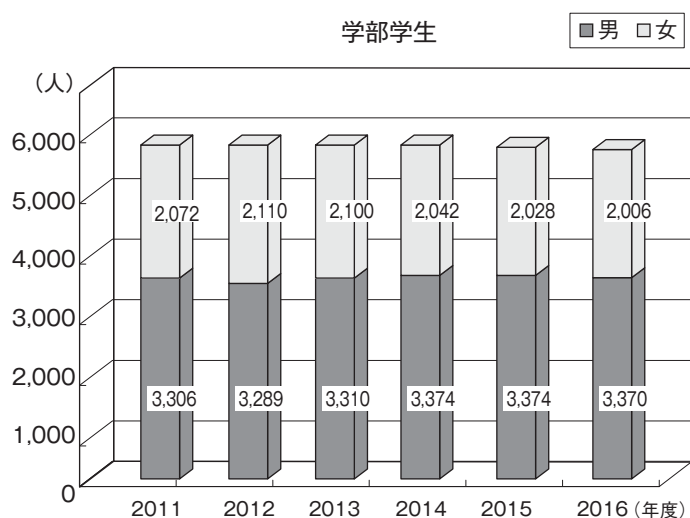
学部

2016.5.1現在

区 分	入学定員	収容定員	現 員			
			男	女	計	
法文学部	法経学科	90	360	265 (4)	128 (2)	393 (6)
	社会文化学科	70	280	128 (3)	181 (2)	309 (5)
	言語文化学科	65	260	74 (3)	228 (3)	302 (6)
	計	225 [10]	920	467 (10)	537 (7)	1,004 (17)
教育学部	学校教育課程	170	680	366	351	717
	計	170	680	366	351	717
医学部	医学科	102	612	407	275	682
	看護学科	60	240	19	230	249
	計	162 [20]	912	426	505	931
総合理工学部	物質科学科	130	520	475 (3)	96 (1)	571 (4)
	地球資源環境学科	50	200	167	38 (1)	205 (1)
	数理・情報システム学科	100	400	379 (1)	70	449 (1)
	電子制御システム工学科	—	—	15		15
	材料プロセス工学科	—	—	2		2
	機械・電気電子工学科	80	320	355 (7)	10	365 (7)
	建築・生産設計工学科	40	160	136 (2)	46 (3)	182 (5)
	計	400 [12]	1,624	1,529 (13)	260 (5)	1,789 (18)
生物資源科学部	生物科学科	30	120	76 (3)	55 (1)	131 (4)
	生態環境科学科	—	—	4		4
	生命工学科	40	160	101	74 (1)	175 (1)
	農業生産学科	—	—	2		2
	地域開発科学科	—	—	5		5
	農林生産学科	85	340	235 (3)	147 (1)	382 (4)
	地域環境科学科	45	180	130	61 (1)	191 (1)
	計	200 [20]	840	553 (6)	337 (4)	890 (10)
合 計	1,157 [62]	4,976	3,341 (29)	1,990 (16)	5,331 (45)	

注)1.入学定員欄の【 】は、第3年次編入学定員で外数 2.現員欄の()は外国人留学生で外数

学部学生・大学院学生数の推移



■大学院

2016.5.1現在

区 分	入学定員	収容定員	現 員									大学院計			
			修士課程、博士前期課程			医学博士課程、博士後期課程			専門職学位課程			男	女	計	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計				
人文社会科学 研究科	法経専攻	6	12	8 (4)	4 (2)	12 (6)							8 (4)	4 (2)	12 (6)
	言語・社会文化専攻	6	12	5	3 (3)	8 (3)							5	3 (3)	8 (3)
	計	12	24	13 (4)	7 (5)	20 (9)							13 (4)	7 (5)	20 (9)
法務研究科	法曹養成専攻	-	20							4	1	5	4	1	5
	計	0	20							4	1	5	4	1	5
教育学研究科	教育実践開発専攻	-	20	2	8 (1)	10 (1)							2	8 (1)	10 (1)
	教育内容開発専攻	-	20	2	7	9							2	7	9
	臨床心理専攻	8	8	3	6	9							3	6	9
	計	8	48	7	21 (1)	28 (1)							7	21 (1)	28 (1)
教育学研究科 (教職大学院)	教育実践開発専攻	17	17							15	7	22	15	7	22
	計	17	17							15	7	22	15	7	22
医学系研究科	医科学専攻(修士課程)	15	30	19 (1)	7 (1)	26 (2)							19 (1)	7 (1)	26 (2)
	看護学専攻(修士課程)	-	12	3	13	16							3	13	16
	看護学専攻(博士前期課程)	12	12	1	11	12							1	11	12
	医科学専攻	30	120				91 (12)	50 (8)	141 (20)				91 (12)	50 (8)	141 (20)
	機能系専攻	-	-				1	1	2				1	1	2
	看護学専攻	2	2					2	2					2	2
	計	59	176	23 (1)	31 (1)	54 (2)	92 (12)	53 (8)	145 (20)				115 (13)	84 (9)	199 (22)
総合理工学 研究科	総合理工学専攻	124	248	205 (9)	24	229 (9)							205 (9)	24	229 (9)
	計	124	248	205 (9)	24	229 (9)							205 (9)	24	229 (9)
	総合理工学専攻	12	36				23 (7)	2 (2)	25 (9)				23 (7)	2 (2)	25 (9)
	マテリアル創成工学専攻	-	-				1 (2)		1 (2)				1 (2)		1 (2)
	電子機能システム工学専攻	-	-				2 (1)	1	3 (1)				2 (1)	1	3 (1)
	計	12	36				26 (10)	3 (2)	29 (12)				26 (10)	3 (2)	29 (12)
生物資源 科学研究科	生物生命科学専攻	20	40	37 (2)	10 (2)	47 (4)							37 (2)	10 (2)	47 (4)
	農林生産科学専攻	22	44	12 (9)	5 (9)	17 (18)							12 (9)	5 (9)	17 (18)
	環境資源科学専攻	18	36	24 (9)	6	30 (9)							24 (9)	6	30 (9)
	計	60	120	73 (20)	21 (11)	94 (31)							73 (20)	21 (11)	94 (31)
合 計	292	689	321 (34)	104 (18)	425 (52)	118 (22)	56 (10)	174 (32)	19	8	27	458 (56)	168 (28)	626 (84)	

注)現員欄の()は外国人留学生で外教

附属学校児童・生徒・幼児数

■附属幼稚園

区 分	男	女	計	
2年課程	4才児	15	12	27
	5才児	20	16	36
合 計	35	28	63	

■附属中学校

区 分	男	女	計
1学年	69	70	139
2学年	68	70	138
3学年	70	66	136
合 計	207	206	413

■附属小学校

2016.5.1現在

区 分	男	女	計
1学年	28	32	60
2学年	29	30	59
3学年	30	30	60
4学年	33	24	57
5学年	27	30	57
6学年	30	30	60
合 計	177	176	353

入試実施状況(2016年度入学)

■学部

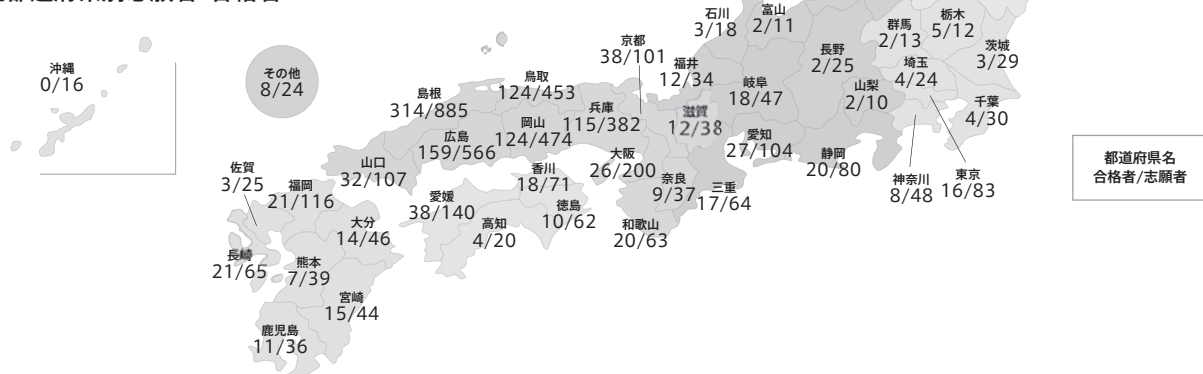
学部	学科・課程・専攻	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	入学者内訳 (%)		
							県内	県外	
法文学部	法経学科	90	509	312	109	98	26.7	73.3	
	社会文化学科	70	431	279	81	70			
	言語文化学科	65	350	175	79	68			
	計	225	1,290	766	269	236	—	—	
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	170	410	311	139	133	41.0	59.0	
	学校教育課程Ⅱ類		健康・スポーツ教育専攻	110	66	18			17
			音楽教育専攻	38	38	17			16
			美術教育専攻	9	8	7			7
	計	170	567	423	181	173	—	—	
医学部	医学科	102	763	596	102	102	32.7	67.3	
	看護学科	60	171	114	64	60			
	計	162	934	710	166	162	—	—	
総合理工学部	物質科学科	130	410	227	146	132	22.2	77.8	
	地球資源環境学科	50	134	96	54	50			
	数理・情報システム学科	100	332	200	117	100			
	機械・電気電子工学科	80	152	109	84	79			
	建築・生産設計工学科	40	144	139	51	40			
	計	400	1,172	771	452	401	—	—	
生物資源科学部	生物科学科	30	140	108	33	31	12.3	87.7	
	生命工学科	40	114	82	44	40			
	農林生産学科	85	303	288	101	86			
	地域環境科学科	45	177	107	51	46			
	計	200	734	585	229	203	—	—	
合計		1,157	4,697	3,255	1,297	1,175	25.6	74.4	

注1. 私費外国人留学生入試、3年次編入学は含まない。
 注2. 医学部医学科の受験者数は前期日程の第1段階選抜不合格者を除く数である。
 注3. 生物資源科学部の受験者数はAO入試Ⅰの第1次選考不合格者を除く数である。
 注4. 合格者には追加合格者を含む。

■私費外国人留学生入試

学部	学科等	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
法文学部	法経学科	若干名	8	8	3	1	
	社会文化学科	若干名	3	3	1	0	
	言語文化学科	若干名	9	9	3	2	
	計	—	20	20	7	3	
総合理工学部	物質科学科	物理系コース	若干名	0	0	0	0
		化学系コース	若干名	3	3	0	0
	地球資源環境学科	若干名	1	1	0	0	
	数理・情報システム学科	数理系コース	若干名	0	0	0	0
		情報系コース	若干名	1	1	1	1
	機械・電気電子工学科	若干名	6	6	0	0	
	建築・生産設計工学科	若干名	7	7	3	1	
計	—	18	18	4	2		
生物資源科学部	生物科学科	若干名	11	11	1	0	
	生命工学科	若干名	2	2	1	1	
	農林生産学科	若干名	9	9	4	1	
	地域環境科学科	若干名	4	4	3	1	
	計	—	26	26	9	3	
合計		—	64	64	20	8	

■都道府県別志願者・合格者



■内 訳

(1) 一般入試

学部	学科・課程・専攻等	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	追加合格者	入学者	
法文学部	法経学科	前	45	142	136	55	0	88	
		後	35	337	146	44			
	社会文化学科	前	43	125	124	47	0	58	
		後	15	266	115	21			
	言語文化学科	前	38	98	91	48	0	61	
		後	20	239	71	24			
		計	196	1,207	683	239	0	207	
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	前	74	169	159	83	0	95	
		後	16	138	50	18			
	学校教育課程Ⅱ類	健康・スポーツ教育専攻	前	8	33	31	8	0	13
			後	4	63	21	6		
		音楽教育専攻	前	10	20	20	10		
		美術教育専攻	前	4	8	7	6	0	6
			計	116	431	288	131	0	123
医学部	医学科	前	62	612	445	62	0	62	
		後	32	67	53	35			
	看護学科	前	10	66	23	10	2	43	
		計	104	745	521	107	2	105	
総合理工学部	物質科学科	物理受験コース	前	36	73	68	48	0	58
			後	17	132	38	20		
		化学受験コース	前	46	85	80	49	0	59
			後	10	100	21	14		
	地球資源環境学科	前	28	70	69	32	0	39	
		後	10	49	12	11			
	数理・情報システム学科	前	55	101	94	67	1	76	
		後	20	178	53	25			
	機械・電気電子工学科	前	35	44	40	35	2	49	
		後	15	58	19	17			
	建築・生産設計工学科	前	23	69	64	28	2	28	
		後	5	42	42	9			
		計	300	1,001	600	355	5	309	
生物資源科学部	生物科学科	前	17	52	51	18	0	21	
		後	5	52	23	5			
	生命工学科	前	29	66	61	33	1	35	
		後	5	36	9	5			
	農林生産学科	前	54	171	157	60	0	62	
		後	10	73	73	17			
	地域環境科学科	前	30	67	63	35	0	36	
		後	5	92	26	6			
		計	155	609	463	179	1	154	
合計		前	669	2,072	1,813	759	8	898	
		後	202	1,921	742	252			
		一般入試合計	871	3,993	2,555	1,011	8	898	

注1. 「前」…前期日程 「後」…後期日程

注2. 医学部医学科の受験者数は第1段階選抜不合格者を除く数である。

(2) 専門高校・総合学科卒業生入試

学部	学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	追加合格者	入学者
医学部	看護学科	3以内	5	5	2	—	2
合計		3以内	5	5	2	—	2

(3) 推薦入試

学部	学科・課程・専攻等	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
法文学部	法経学科	推Ⅰ	10	30	30	10	10	
		推Ⅱ	7	29	29	7	7	
		地推	7	13	13	7	7	
		緊推	24	72	72	24	24	
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	自然環境教育専攻	推Ⅰ	4	7	7	4	4
		人間生活環境教育専攻	推Ⅰ	4	12	12	4	4
	学校教育課程Ⅱ類	健康・スポーツ教育専攻	推Ⅰ	4	14	14	4	4
			推Ⅱ	6	18	18	7	7
		美術教育専攻	推Ⅰ	4	1	1	1	1
			計	22	52	52	20	20
	医学部	医学科	推Ⅱ	25以内	117	117	25	25
地推			10以内	17	17	10	10	
緊推			5以内	17	17	5	5	
看護学科		推Ⅱ	15	33	33	15	15	
		計	55	184	184	55	55	
総合理工学部	物質科学科	物理受験コース	推Ⅰ	5	2	2	2	2
			推Ⅱ	6	8	8	6	6
		化学受験コース	推Ⅰ	4	7	7	4	4
			推Ⅱ	4	3	3	3	3
	地球資源環境学科	推Ⅰ	7	6	6	6	6	
		推Ⅱ	9	24	24	9	9	
	数理・情報システム学科	情報系コース	推Ⅰ	8	15	15	9	9
			推Ⅱ	6	14	14	6	6
	機械・電気電子工学科	推Ⅰ	15	31	31	15	15	
		推Ⅱ	14	17	17	14	14	
建築・生産設計工学科	推Ⅰ	11	33	33	12	12		
	計	89	160	160	86	86		
生物資源科学部	生物科学科	推Ⅰ	7	31	31	7	7	
		推Ⅱ	5	12	12	5	5	
		推Ⅰ	19	48	48	21	21	
		推Ⅱ	8	16	16	9	9	
		計	39	107	107	42	42	
合計		推Ⅰ	144	349	349	143	143	
		推Ⅱ	70	192	192	69	69	
		地推	10	17	17	10	10	
		緊推	5	17	17	5	5	
		推薦入試合計	229	575	575	227	227	

注1. 「推Ⅰ」…推薦入試Ⅰ(センター試験を課さない) 「推Ⅱ」…推薦入試Ⅱ(センター試験を課す)

「地推」…地域枠推薦入試 「緊推」…緊急医師確保対策枠推薦入試

入試実施状況(2016年度入学)

(4) アドミッション・オフィス入試

学部	学科・課程・専攻等	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	社会文化学科	AOⅡ	5	9	9	5	5
		計	5	9	9	5	5
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	AOⅡ	32	84	83	30	30
		計	32	84	83	30	30
総合理工学部	地球資源環境学科	AOⅠ	5	9	9	5	5
	理工特別コース	AOⅡ	6	2	2	1	1
		計	11	11	11	6	6
生物資源科学部	全学科	AOⅠ	6	17	15	7	7
		計	6	17	15	7	7
合 計		AOⅠ	11	26	24	12	12
		AOⅡ	43	95	94	36	36
		AO入試合計	54	121	118	48	48

注1. [AOⅠ] …AO入試Ⅰ(センター試験を課さない) [AOⅡ] …AO入試Ⅱ(センター試験を課す)
 注2. 生物資源科学部の受験者数は第1次選考不合格者を除く数である。

(5) 社会人入試

学部	学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	法経学科	若干名	0	0	0	0
	社会文化学科	若干名	1	1	0	0
	言語文化学科	若干名	0	0	0	0
合 計		—	1	1	0	0

(6) 帰国生入試

学部	学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	法経学科	推薦比合計10名	0	0	0	0
	社会文化学科	若干名	1	1	1	0
	言語文化学科	若干名	0	0	0	0
	計	—	1	1	1	0
生物資源科学部	生物科学科	若干名	1	0	0	0
	生命工学科	若干名	0	0	0	0
	農林生産学科	若干名	0	0	0	0
	地域環境科学科	若干名	0	0	0	0
合 計		—	2	1	1	0

■2017年度入試日程(予定)

※人間科学部は平成29年4月設置予定であり、内容を変更する場合があります。

区 分		募集要項発表	出願期間	試験実施日	合格発表
一般入試	前期日程	全学部	11月下旬	2/25・26	3/8
	後期日程			3/12	3/22
専門高校・総合学科 卒業生入試	医学部看護学科			2/25・26	3/8
推薦入試Ⅰ	法文学部, 教育学部, 総合理工学部, 生物資源科学部		11/1~11/7	11/26	12/6
推薦入試Ⅱ	医学部		11/1~11/7	12/10	2/8
	総合理工学部		1/16~1/20	2/3	
地域枠推薦入試	医学部医学科	4/4		12/10・11	
緊急医師確保対策枠推薦入試	医学部医学科			12/10	
社会人入試	法文学部		11/1~11/7		
帰国生入試	法文学部 生物資源科学部			11/26	12/6
私費外国人留学生入試	法文学部, 総合理工学部, 生物資源科学部		12/5~12/9	書類選考	1/20
AO入試Ⅰ	総合理工学部地球資源環境学科, 生物資源科学部		9/1~9/7	10/1	10/11
AO入試Ⅱ	教育学部学校教育課程Ⅰ類		10/7~10/14	11/26 ※	2/8
	総合理工学部理工特別コース		11/1~11/7		
	人間科学部一般型	9月上旬	10/14~10/21		
	人間科学部地域貢献型				

※人間科学部地域貢献型は11/27までの可能性あり。

■3年次編入学入試

学部	学科等	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
法文学部	法経学科	一般	10	28	26	4	2	
	社会文化学科	一般		10	10	3	2	
	言語文化学科	一般		16	16	6	5	
	計		10	54	52	13	9	
医学部	医学科(学士入学)	一般	10	215	187	12	10	
	看護学科	一般	10	5	5	2	2	
		一般2次		1	1	0	0	
計		20	221	193	14	12		
総合理工学部	物質科学科	物理系	12	推薦	0	0	0	0
		一般		0	0	0	0	
		化学系		推薦	0	0	0	0
	地球資源環境学科	一般		2	2	1	0	
		一般		0	0	0	0	
	数理・情報システム学科	数理系		一般	3	3	2	1
		情報系		推薦	0	0	0	0
	機械・電気電子工学科	一般		5	5	2	1	
		推薦		3	3	3	3	
	建築・生産設計工学科	一般		5	5	3	0	
		推薦		1	1	1	1	
	計			12	23	23	14	7
生物資源科学部	生物科学科	推薦	20	0	0	0	0	
		一般		4	4	3	3	
	生命工学科	推薦		1	1	1	1	
		一般		4	4	4	4	
	農林生産学科	推薦		8	8	8	8	
		一般		12	11	8	5	
	地域環境科学科	推薦		1	1	1	1	
一般		0	0	0	0			
計		20	30	29	25	22		
合計			62	328	297	66	50	

■大学院

研究科	専攻等	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
人文社会科学研究科 (修士課程)	法経専攻	6	11	10	9	9	
	言語・社会文化専攻	6	7	6	5	4	
	計	12	18	16	14	13	
教育学研究科 (専門職学位課程)	教育実践開発専攻	17	23	22	22	22	
	計	17	23	22	22	22	
(修士課程)	臨床心理専攻	8	11	11	9	9	
計		8	11	11	9	9	
医学系研究科 (修士課程)	医科学専攻	15	12	12	12	12	
	計	15	12	12	12	12	
(博士前期課程)	看護学専攻	12	14	12	12	12	
計		12	14	12	12	12	
(博士後期課程)	看護学専攻	2	3	3	2	2	
計		2	3	3	2	2	
(博士課程)	医科学専攻	30	42	40	32	30	
計		30	42	40	32	30	
総合理工学研究科 (博士前期課程)	総合理工学専攻	理工・医連携コース	6	2	2	2	2
		物理・材料科学コース	17	28	26	25	22
		物質化学コース	22	24	21	19	19
		地球資源環境学コース	16	22	22	22	19
		数理科学コース	13	13	13	13	13
		情報システム学コース	11	15	15	15	15
		機械・電気電子工学コース	29	21	20	18	14
		建築・生産設計工学コース	10	6	4	4	2
計	124	131	123	118	106		
(博士後期課程)	総合理工学専攻	理工学際創成コース	12	0	0	0	0
		数理・物質創成科学コース		6	6	6	6
		地球科学・地球環境コース		1	1	1	1
		機械電子情報工学コース		1	1	1	1
		計		12	8	8	8
生物資源科学研究科 (修士課程)	生物生命科学専攻	20	25	24	24	24	
	農林生産科学専攻	22	16	16	16	16	
	環境資源科学専攻	18	23	23	23	19	
	計	60	64	63	63	59	
合計		292	326	310	292	273	

注1. 私費外国人留学生入試(特別プログラム)及び国費外国人留学生入試を含む。

卒業生数・修了者数

■学部

2016.3.31 現在

区	分	2015年度卒業生	累計
法文学部	法経学科	91	775
	社会文化学科	73	637
	言語文化学科	74	1,245
	法学科	—	3,988
	社会システム学科	—	762
	文学科	—	1,586
	計	238	8,993
教育学部	学校教育課程	166	1,496
	学校教育教員養成課程	—	1,093
	生涯学習課程	—	527
	生活環境福祉課程	—	174
	小学校教員養成課程	—	4,790
	中学校教員養成課程	—	2,546
	養護学校教員養成課程	—	570
	幼稚園教員養成課程	—	574
	特別教科(音楽)校教員養成課程	—	1,152
	特別教科(保健体育)校教員養成課程	—	856
	社会教育文化課程	—	398
計	166	14,176	
医学部	医学科	109	3,353
	看護学科	61	942
	計	170	4,295
総合理工学部	物質科学科	124	2,006
	地球資源環境学科	49	733
	数理・情報システム学科	87	1,522
	電子制御システム工学科	12	1,155
	材料プロセス工学科	5	692
	機械・電気電子工学科	47	47
	建築・生産設計工学科	37	37
	計	361	6,192
生物資源科学部	生物科学科	33	504
	生態環境科学科	4	813
	生命工学科	40	694
	農業生産学科	1	535
	地域開発科学科	6	897
	農林生産学科	81	81
	地域環境科学科	47	47
	計	212	3,571
文理学部		—	3,950
理学部		—	3,510
農学部		—	5,141
合	計	1,147	49,828

■専攻科他

区	分	2015年度修了者	累計
文学専攻科		—	18
理学専攻科		—	45
教育専攻科		—	232
農学専攻科		—	11
合	計	—	306
教育学部	教員養成2年課程	—	1,106

■大学院

2016.3.31現在

区 分		2015年度修了者 (単位取得退学含む)	累計
人文社会科学研究科	法経専攻	4	50
	言語・社会文化専攻	6	71
	法学専攻	—	56
	社会システム専攻	—	43
	言語文化専攻	—	32
	計	10	252
教育学研究科	教育実践開発専攻	17	116
	教育内容開発専攻	22	130
	学校教育専攻	—	187
	教科教育専攻	—	412
	計	39	845
医学系研究科 (博士課程)	形態系専攻	—	163
	機能系専攻	0	178
	生態系専攻	—	56
	医科学専攻	28	115
	計	28	512
医学系研究科 (修士課程)	医科学専攻	16	115
	看護学専攻	8	120
	計	24	235
総合理工学研究科 (博士後期課程)	マテリアル創成工学専攻	5	80
	電子機能システム工学専攻	5	37
	総合理工学専攻	5	5
	計	15	122
総合理工学研究科 (博士前期課程)	総合理工学専攻	106	338
	物質科学専攻	—	465
	地球資源環境学専攻	—	184
	数理・情報システム学専攻	—	275
	電子制御システム工学専攻	—	341
	材料プロセス工学専攻	—	133
	計	106	1,736
生物資源科学研究科	生物生命科学専攻	13	141
	農林生産科学専攻	12	79
	環境資源科学専攻	19	101
	生物科学専攻	—	71
	生態環境科学専攻	—	133
	生命工学専攻	—	110
	農業生産学専攻	—	66
	地域開発科学専攻	—	69
	計	44	770
	法務研究科	法曹養成専攻	2
計		2	124
理学研究科		—	616
農学研究科		—	739
法学研究科		—	80
合 計		268	6,031

■博士の学位授与者数

2016.3.31現在

区 分	課程博士		論文博士	
	2015年度	累計	2015年度	累計
医学系研究科	24	465	9	315
総合理工学研究科	11	110	2	9

卒業・修了後の状況(2015年度)

学部

2016.5.1 現在

区 分	法文学部	教育学部	医学部	総合理工学部	生物資源科学部	計
卒業者	238	166	170	361	212	1,147
進学者	14	14	2	119	60	209
農業、林業	1			1	11	13
漁業						
鉱業、採石業、砂利採取業						
建設業	5			19	5	29
製造業	15	2		53	33	103
電気・ガス・熱供給・水道業				4	1	5
情報通信業	7	1		12	1	21
運輸業、郵便業	3	1		4	1	9
卸売業・小売業	26	4		20	24	74
金融業・保険業	35	11		5	9	60
不動産業、物品賃貸業	3	1		3	1	8
学術研究、専門・技術サービス業	3		1	18	9	31
宿泊業、飲食サービス業	3	1		1		5
生活関連サービス業、娯楽業	8	1		1		10
教育（学校教育）	14	86	5	14	5	124
学習支援	6	4		8	2	20
医療・福祉	12	6	54			72
複合サービス業	3	1		1	3	8
その他のサービス業	5	2		20	5	32
公務（国家）	9	3		7	1	20
公務（地方）	38	8		35	19	100
その他	1				1	2
就職者計	197	132	60	226	131	746
臨床研修医			102			102
無業者等	27	20	6	16	21	90

※「無業者等」は、「専修学校・外国の学校等の入学者」、「一時的な仕事に就いた者」、「未決定者」である

大学院

2016.5.1 現在

区 分	人文社会 科学研究科	教育学研究科	医学系研究科		総合理工学研究科		生物資源 科学研究科	法務研究科	計
			修士	博士一貫	博士前期	博士後期			
卒業（修了）者	10	39	24	28	106	15	44	2	268
進学者	1		1		7		2		11
農業、林業							1		1
漁業									0
鉱業、採石業、砂利採取業					1				1
建設業					6				6
製造業			5	1	46	4	15		71
電気・ガス・熱供給・水道業					2				2
情報通信業					13	1	1		15
運輸業、郵便業									0
卸売業・小売業	1				2		3		6
金融業、保険業		3							3
不動産業、物品賃貸業	1						1		2
学術研究、専門・技術サービス業	1				10		4		15
宿泊業、飲食サービス業									0
生活関連サービス業、娯楽業									0
教育（学校教育）		22	1	8	5	6			42
学習支援		1			1		2		4
医療、福祉		5	17	14					36
複合サービス業					1		3		4
その他のサービス業					1		1		2
公務（国家）	1				2		2		5
公務（地方）	1	1			2	1	3		8
その他									0
就職者計	5	32	23	23	92	12	36	0	223
無業者等	4	7	0	5	7	3	6	2	34

※「無業者等」は、「専修学校・外国の学校等の入学者」、「一時的な仕事に就いた者」、「未決定者」である

●卒業後の主な就職先・進学先

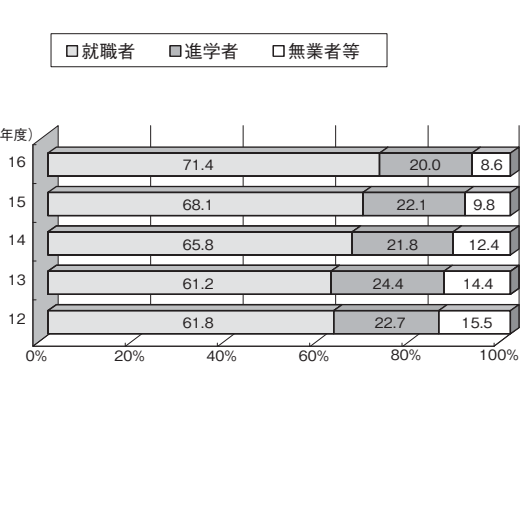
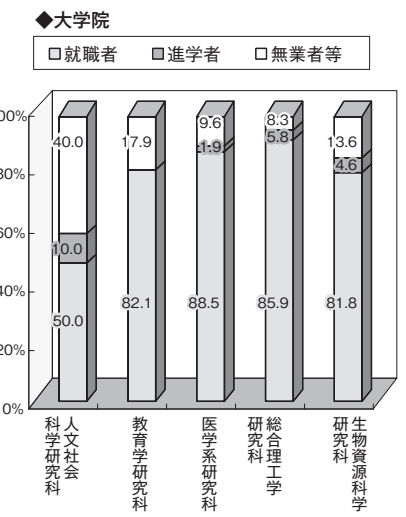
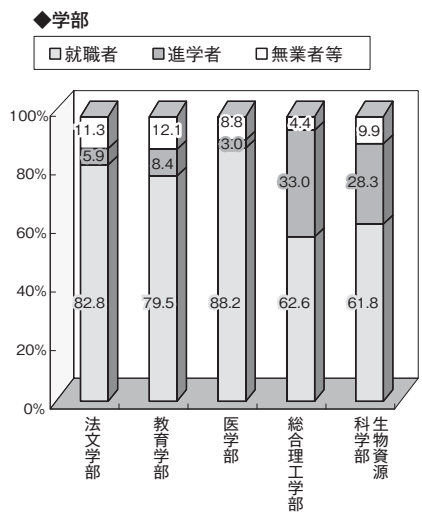
2016.5.1現在

区分	就職先・進学先
法文学部	<p>就職先 青山商事、大垣共立銀行、岡崎信用金庫、ガリバーインターナショナル、京都北都信用金庫、KG情報、JR西日本、JTB中国四国、JAF、商工中金、住友生命保険、セブンイレブン・ジャパン、大和冷機工業、但馬銀行、中国塗料、東京産業、ドウシヤ、南都銀行、ニトリ、日本生命保険、日本郵便、ネクステージ、野村證券、広島県信用保証協会、マックスバリュ東海、マツダ、松屋フーズ、山口フィナンシャルグループ、リックコーポレーション、両毛システムズ、ytv Nextry、ワークマン 厚生労働省(労働基準監督官)、国税庁(国税専門官)、裁判所事務官、長崎税関、名古屋法務局、北海道庁、京都府庁、福井県庁、山口県庁、佐賀県庁、広島市役所、日本年金機構</p> <p>[地元企業等]一畑トラベルサービス、今井書店、LPCグループ、ケイズ、山陰信販、山陰合同銀行、山陰中央新報社、JA鳥取県中央会、JA鳥取信連、島根銀行、島根県鐵工業、島根県信用保証協会、しまね信用金庫、島根中央信用金庫、島根電工、鳥取銀行、鳥取信用金庫、NOSAI島根、めのや、米子信用金庫 島根県庁、島根県警、鳥取県庁、鳥取県警、松江市役所、出雲市役所、鳥取市役所、米子市役所、島根大学</p> <p>進学先 島根大学大学院、お茶の水女子大学大学院、一橋大学大学院、奈良女子大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、金沢大学法科大学院、神戸大学法科大学院</p>
教育学部	<p>就職先 [学校関係等] (小学校)島根県、鳥取県、岡山県、広島県、東京都、兵庫県、香川県 (中学校)島根県、鳥取県、広島県、京都府、大阪府、兵庫県、徳島県 (高等学校)島根県、広島県、愛知県 (特別支援)島根県、鳥取県、岡山県、広島県、愛媛県 (私立学校)学校法人安田学園 (幼稚園・保育園)松江市立幼稚園、出雲市立幼稚園、鳥取市立保育園、北栄町立こども園</p> <p>[企業等]アイオ、笠岡信用組合、ジェイアール四国ホテル開発、JALスカイ、ソニーリージョナルセールス、NOSAI岡山、讀賣テレビ放送、国税庁(国税専門官)、岡山市消防局</p> <p>[地元企業等]一畑トラベルサービス、出雲村田製作所、山陰合同銀行、島根県信用保証協会、しまね信用金庫、鳥取銀行、三井住友信託銀行鳥取支店、島根労働局、島根県庁、出雲市役所</p> <p>進学先 島根大学大学院、愛知教育大学大学院、大阪大学大学院、大阪教育大学大学院</p>
医学部	<p>[医学科]臨床研修先)島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、浜田医療センター、益田赤十字病院、東京大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、広島大学病院、岡山大学病院、山口大学医学部附属病院、九州大学病院 など</p> <p>[看護学科]就職先)島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、出雲市民病院、松江赤十字病院、島根県(保健師)、島根県立学校(養護教諭)、岡山大学病院、広島大学病院、神戸大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、鳥取大学医学部附属病院、国立循環器病研究センター など</p>
総合理工学部	<p>就職先 愛三工業、アルプス技研、アルプス電気、アース製薬、イオンリテール、いすゞ自動車、イビデン、小野薬品工業、オムロン、九電工、京セラ、小糸製作所、国際航業グループ、JR西日本、JR東日本、親和銀行、積水ハウス、大建工業、大東建託、ダイハツ工業、太平電業、大和ハウス工業、中国銀行、中国電力、中電工、東京電力、東芝、豊田自動織機、日亜化学工業、日特建設、日立金属、日立マクセル、広島ガス、非破壊検査、富士重工、ホシザキ電機、ホーチキ、三菱自動車工業、三菱重工、メイテック、やまびこ、ユアサ商事、リョービ</p> <p>岐阜県立学校、愛知県立学校、三重県立学校、大阪府立学校、国税庁(国税専門官)、国土交通省中国地方整備局、広島労働局、福井県庁、静岡県庁、愛知県庁、岡山県庁、広島県庁</p> <p>[地元企業等]出雲村田製作所、一条工務店山陰、カナツ技建工業、キグチテクニクス、コダマサイエンス、山陰合同銀行、山陰酸素工業、三光、サンヨーグループ、島根三洋電機、島根電工、島根トヨタグループ、島根日産自動車、テクノプロジェクト、ネットワーク応用通信研究所、ビジネスインフォーメーションガーヴァン、ヒラタ精機、福島造船工所、八雲ソフトウェア 国土交通省中国運輸局、松江地方法務局、島根県庁、島根県警、鳥取県警、島根大学</p> <p>進学先 島根大学大学院、東北大学大学院、信州大学大学院、筑波大学大学院、名古屋大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学大学院、大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学大学院、岡山大学大学院、九州大学大学院、大阪市立大学大学院</p>
生物資源科学部	<p>就職先 朝日生命保険、伊藤園、井村屋、ウエスコ、オタフクソース、OATアグリオ、キュービー、クラブ、JAあいち中央、JA大阪南、JA岡山、JA三重信連、資生堂ジャパン、太平電業、大和冷機工業、日本コルマー、日本サンガリアベバレッジカンパニー、日本食研ホールディングス、日本製紙、日本生命保険、日本郵便、野村證券、林兼産業、ビックルスコーポレーション、姫路商工会議所、丸大食品、三重銀行、三菱電機、山崎製パン、LIXIL、湧永製薬、わらべや日洋 国税庁(国税専門官)、三重県庁、大阪府庁、兵庫県庁、岡山県庁、広島県庁、香川県庁、警視庁</p> <p>[地元企業等]明石屋、アースサポート、石見食品、寿製菓、山陰合同銀行、JA鳥取西部、島根銀行、須山木材、大山どり、日産プリンス鳥取販売、ネオナイト、フジキコーポレーション、みしまや、八幡物産、吉浦牧場 島根県庁、島根県警、雲南市役所、倉吉市役所、島根大学</p> <p>進学先 島根大学大学院、東京大学大学院、東京農工大学大学院、名古屋大学大学院、神戸大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学大学院、岡山大学大学院、名古屋市立大学大学院、大阪府立大学大学院</p>

*順不同。大学院修了者の就職先含む。

●卒業・修了後の状況 (2016.5.1)

●卒業後の状況の推移(学部)



公開講座・公開授業(2015年度)

■公開講座

	講座名	回数	総時間	募集人数	受講人数	開設場所	学部・センター
前期	金曜日のドイツ語	8	8	20	22	松江キャンパス	外国語教育センター
	日本の医療を考える	3	4.5	20	8	松江キャンパス	医学部
	旬の果実でジャム作り	3	7.5	10	10	本庄総合農場	生物資源科学部
	やさしいサツマイモ栽培	6	7.5	15	15	本庄総合農場	生物資源科学部
	はじめてみよう！ワープロソフト・ワード	2	3	25	13	松江キャンパス	生物資源科学部
	使ってみよう！ワープロソフト・ワード	3	6	25	23	松江キャンパス	生物資源科学部
	上級者へ挑戦！ワープロソフト・ワード	4	8	25	21	松江キャンパス	生物資源科学部
	身近な材料でできるナノテクノロジー	1	2	30	6	松江キャンパス	ナノテクノロジーセンター
	新しい医療診断技術「ラマン分光法」とは何か？	1	2	30	8	松江キャンパス	医・生物ラマンプロジェクトセンター
	健康長寿の秘訣を探る	2	4	100	13	出雲キャンパス	疾病予知予防プロジェクトセンター
	体験から考える・体験から学ぶ実用医学	6	12	20	5	出雲キャンパス	医学部附属病院クリニカルスキルアップセンター
	第11回島根まるごとミュージアム体験ツアー	1	4	14	14	松江市内	ミュージアム
後期	「私の写真・家族の写真」アーカイブ	4	9	15	18	松江キャンパス	生涯教育推進センター
	硬式テニス教室	10	20	50	51	学内テニスコート	教育学部
	こどもテニス教室1A	8	8	30	31	川津テニスコート	教育学部
	こどもテニス教室1B	8	12	30	16	川津テニスコート	教育学部
	泳げないこの水泳教室	5	15	20	22	学内プール	教育学部
	少しか泳げるこの水泳教室	5	15	20	24	学内プール	教育学部
	仕事で使えるスキル「ワード」をマスター	10	20	20	12	松江キャンパス	生涯教育推進センター
	体験から考える・体験から学ぶ実用医学	3	6	20	6	出雲キャンパス	医学部附属病院クリニカルスキルアップセンター
	健康長寿の秘訣を探る	3	4.5	100	7	出雲キャンパス	医学部
	金曜日のドイツ語	10	10	20	26	松江キャンパス	外国語教育センター
	島根大学の「国語」一現代文・古文・漢文・言葉・教育・教材	6	9	30	21	松江キャンパス	教育学部
	始めてみよう！表計算ソフト・エクセル	3	6	30	25	松江キャンパス	生物資源科学部
楽しく学ぼう「ブルーベリー栽培」	3	9	10	11	本庄総合農場	生物資源科学部	
シルクスクリーン版画講座	3	6	8	3	松江キャンパス	教育学部	
後期	テニス教室	10	20	50	60	学内テニスコート	教育学部
	こどもテニス教室2A	8	8	30	31	川津テニスコート	教育学部
	こどもテニス教室2B	8	12	30	11	川津テニスコート	教育学部
	仕事で使える「エクセル」基本スキルをマスター	10	20	20	9	松江キャンパス	生涯教育推進センター
	仕事で使える「ワード」スキルのワンランクアップをめざす	12	24	20	10	松江キャンパス	生涯教育推進センター

(※) すべて有料講座です。

■公開授業

	科目名	曜日	時限	募集人数	受講人数	開設場所	学部
前期	東アジアのこぼれと文学	月	1・2時限	10	4	松江キャンパス	法文学部
	情報化社会と経済	月	1・2時限	5	1	松江キャンパス	法文学部
	歴史学概論	月	3・4時限	10	4	松江キャンパス	法文学部
	教育臨床心理学概説	月	3・4時限	10	3	松江キャンパス	教育学部
	東洋史概説A	月	3・4時限	10	12	松江キャンパス	法文学部
	労働法 I	月	3・4時限	10	3	松江キャンパス	法文学部
	日本文学史IV	月	3・4時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	現代フランス語基礎演習 I	月	5・6時限	5	7	松江キャンパス	法文学部
	芸術学講義 II	月	5・6時限	10	9	松江キャンパス	法文学部
	考古学概論 I	月	7・8時限	10	3	松江キャンパス	法文学部
	地図の歴史	月	7・8時限	3	3	松江キャンパス	法文学部
	農場基礎実習 I	月	7~10時限	5	2	本庄総合農場	生物資源科学部
後期	ジオパーク学入門	月	9・10時限	5	5	松江キャンパス	教育学部
	基礎物理学 I B	月	9・10時限	3	2	松江キャンパス	総合理工学研究科
	木によるものづくり実習 III	月	9・10時限	5	8	松江キャンパス	教育学部
	考古学からみた韓半島の先史・古代文化	火	1・2時限	15	9	松江キャンパス	法文学部
	共生社会史	火	1・2時限	5	1	松江キャンパス	教育学部
	日本史概説 A	火	1・2時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	汽水域の科学	火	3・4時限	10	4	松江キャンパス	汽水域研究センター
	細胞学	火	3・4時限	5	4	松江キャンパス	生物資源科学部
	地誌学概説	火	3・4時限	10	2	松江キャンパス	教育学部
	木質建築学 I	火	3・4時限	20	3	松江キャンパス	総合理工学研究科
	山陰の歴史～古代・中世	火	5・6時限	10	9	松江キャンパス	法文学部
	心の世界	火	5・6時限	50	14	松江キャンパス	法文学部
共生社会演習 (人文地理学)	火	5・6時限	10	0	松江キャンパス	教育学部	
財政学 I	火	5・6時限	10	6	松江キャンパス	法文学部	
固体物理学 I	火	5・6時限	3	0	松江キャンパス	総合理工学研究科	
フランスの社会と文化	火	7・8時限	10	8	松江キャンパス	法文学部	
日本文学史 A II	火	9・10時限	10	1	松江キャンパス	教育学部	
耕地栽培学	水	1・2時限	5	2	松江キャンパス	生物資源科学部	
古代出雲の考古学	水	3・4時限	10	8	松江キャンパス	法文学部	
王朝の文学	水	3・4時限	5	4	松江キャンパス	法文学部	
西洋史概説 A	水	3・4時限	10	4	松江キャンパス	法文学部	

	科目名	曜日	時限	募集人数	受講人数	開設場所	学部
前 期	歴史地理学	水	3・4時限	3	3	松江キャンパス	法文学部
	歴史学史料演習D	水	3・4時限	3	1	松江キャンパス	法文学部
	植物細胞工学	水	5・6時限	5	3	松江キャンパス	総合科学研究支援センター
	自然地理学概論	木	1・2時限	5	0	松江キャンパス	法文学部
	エレクトロニクスセミナー	木	3・4時限	5	1	松江キャンパス	総合理工学研究科
	農作業学	木	3・4時限	5	0	松江キャンパス	生物資源科学部
	フランス言語文化入門	木	3・4時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	金融論Ⅰ	木	7・8時限	5	9	松江キャンパス	法文学部
	日本語史講義	木	7・8時限	10	8	松江キャンパス	法文学部
	農場基礎実習Ⅲ	木	7～10時限	5	3	本庄総合農場	生物資源科学部
	文化人類学入門	木	9・10時限	10	9	松江キャンパス	法文学部
	人文地理学概説Ⅱ	木	9・10時限	10	2	松江キャンパス	教育学部
	環境の化学	金	1・2時限	10	1	松江キャンパス	総合理工学研究科
	基礎社会学Ⅰ	金	3・4時限	5	4	松江キャンパス	法文学部
	果樹園芸学	金	3・4時限	3	3	松江キャンパス	生物資源科学部
	情報産業論	金	3・4時限	5	2	松江キャンパス	法文学部
	高分子科学	金	3・4時限	5	2	松江キャンパス	総合理工学研究科
	日本人の宗教と死生観	金	5・6時限	10	12	松江キャンパス	法文学部
	東アジアの歴史と文化	金	5・6時限	10	15	松江キャンパス	法文学部
	山陰地域の自然災害	金	5・6時限	3	2	松江キャンパス	法文学部
基礎社会学Ⅱ	金	7・8時限	3	4	松江キャンパス	法文学部	
日本古典文学特殊講義	金	7・8時限	10	5	松江キャンパス	教育学部	
環境問題通論A	金	9・10時限	10	2	松江キャンパス	生物資源科学部	
木によるものづくり実習Ⅰ	金	9・10時限	5	7	松江キャンパス	教育学部	
基礎フィールド演習		集中講義(不定期)	3	7	フィールドワーク	生物資源教育研究センター	
後 期	中国文学における風土と人間	月	1・2時限	10	3	松江キャンパス	法文学部
	異文化との出会い	月	1・2時限	10	10	松江キャンパス	法文学部
	情報経済論	月	1・2時限	5	0	松江キャンパス	法文学部
	現代フランス語基礎演習Ⅱ	月	5・6時限	7	9	松江キャンパス	法文学部
	芸術学講義Ⅲ	月	5・6時限	10	21	松江キャンパス	法文学部
	農場基礎実習Ⅱ	月	5～8時限	5	3	本庄総合農場	生物資源科学部
	考古学概論Ⅱ	月	7・8時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	ジオパーク学各論	月	9・10時限	5	5	松江キャンパス	教育学部
	発生生物学	月	9・10時限	10	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	木によるものづくり実習Ⅱ	月	9・10時限	5	8	松江キャンパス	教育学部
	考古学から見た古代山陰の世界	火	1・2時限	10	8	松江キャンパス	法文学部
	財政学Ⅱ	火	1・2時限	5	1	松江キャンパス	法文学部
	遺伝学	火	1・2時限	3	4	松江キャンパス	生物資源科学部
	遺伝子を考える	火	3・4時限	5	3	松江キャンパス	生物資源科学部
	労働法Ⅱ	火	3・4時限	10	4	松江キャンパス	法文学部
	地方財政論	火	3・4時限	5	4	松江キャンパス	法文学部
	木質建築学Ⅱ	火	3・4時限	20	3	松江キャンパス	総合理工学研究科
	ヨーロッパの言語文化Ⅱ	火	5・6時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	汽水域の科学(応用編)	火	7・8時限	10	3	松江キャンパス	汽水域研究センター
	東洋史概説B	火	7・8時限	10	6	松江キャンパス	法文学部
	環境問題通論B	火	9・10時限	10	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	歴史学史料演習D	水	1・2時限	3	1	松江キャンパス	法文学部
	光環境と生物	水	3・4時限	10	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	地誌学Ⅱ	水	3・4時限	3	5	松江キャンパス	法文学部
	自然地理学特論	木	1・2時限	5	0	松江キャンパス	法文学部
	農業環境科学	木	1・2時限	10	3	松江キャンパス	生物資源科学部
	動物の世界	木	3・4時限	5	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	日本語学概論	木	5・6時限	10	9	松江キャンパス	法文学部
	環境経済論Ⅱ	木	5・6時限	5	3	松江キャンパス	法文学部
	東洋史特論B	木	5・6時限	3	3	松江キャンパス	法文学部
	資源作物学	木	5・6時限	10	3	松江キャンパス	生物資源科学部
	農場基礎実習Ⅳ	木	5～8時限	5	1	本庄総合農場	生物資源科学部
プレートテクトニクス	木	7・8時限	10	7	松江キャンパス	総合理工学研究科	
人類史と考古学	木	7・8時限	15	12	松江キャンパス	法文学部	
金融論Ⅱ	木	7・8時限	6	5	松江キャンパス	法文学部	
木と木工の知識	木	7・8時限	5	6	松江キャンパス	教育学部	
漢文史料を読む	金	1・2時限	10	5	松江キャンパス	法文学部	
「酒」～一杯の酒から覗く学問の世界～	金	3・4時限	4	2	松江キャンパス	法文学部	
知ることと生きること	金	3・4時限	10	3	松江キャンパス	法文学部	
島大ミュージアム学	金	3・4時限	10	5	松江キャンパス	ミュージアム	
英米文学入門	金	3・4時限	3	4	松江キャンパス	法文学部	
経済学概論	金	3・4時限	5	6	松江キャンパス	法文学部	
技術と社会	金	5・6時限	10	4	松江キャンパス	総合理工学研究科	
日本文学史AⅠ～王朝物語文学の世界-前半～	金	5・6時限	10	5	松江キャンパス	教育学部	
島根学	金	7・8時限	50	17	松江キャンパス	教育開発センター	
文化共生論～日本の王朝文学と「異界」～	金	7・8時限	10	5	松江キャンパス	教育学部	
証券論～野村証券株式会社提供講座～	金	7・8時限	10	29	松江キャンパス	法文学部	

(※) 1・2時限8:30～10:00、3・4時限10:15～11:45、5・6時限12:45～14:15、7・8時限14:30～16:00、9・10時限16:15～17:45

(※) 授業回数は15回です。

科学研究費助成事業等の受入状況(2015年度)

■科学研究費助成事業

研究種目	件数	金額(千円)
新学術領域研究	5	21,900
基盤研究(A)	2	12,500
基盤研究(B)	24	77,000
基盤研究(C)	141	152,500
挑戦的萌芽研究	19	16,700
若手研究(A)	4	27,300
若手研究(B)	60	66,100
研究活動スタート支援	4	3,700
特別研究員奨励費	7	7,200
奨励研究	8	4,200
研究成果公開促進費	3	4,200
計	277	393,300

■厚生労働科学研究費

2016.3.31現在

件数	金額(千円)
2	12,493

■民間等との共同研究

件数	金額(千円)
127	112,994

■受託研究

件数	金額(千円)
67	197,924

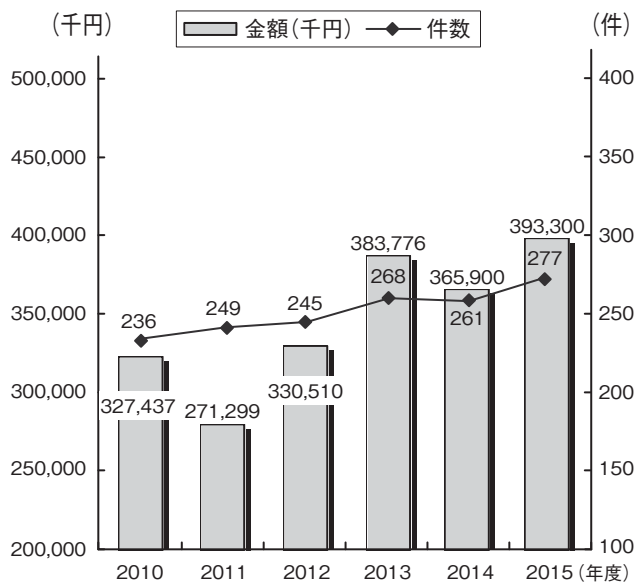
■寄付金

件数	金額(千円)
503	516,527

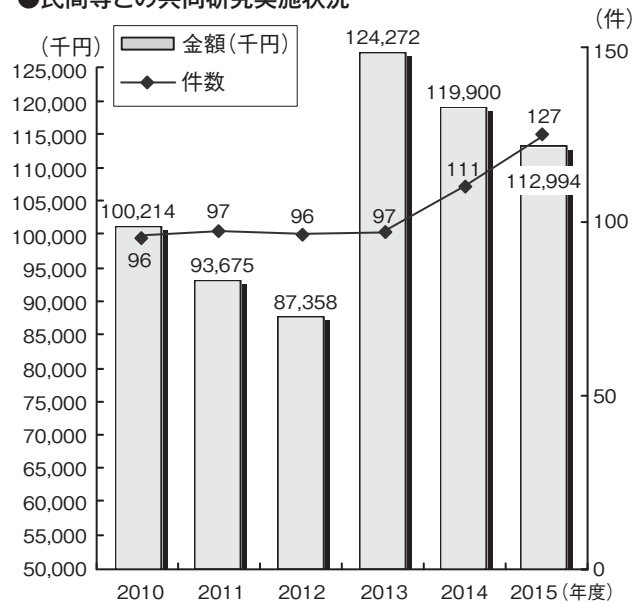
■発明届出等状況(2015年度)

発明届出件数	出願件数
30	33

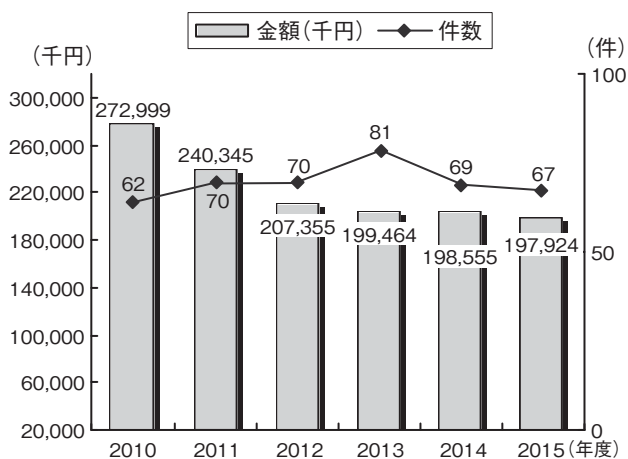
●科学研究費助成事業受入状況



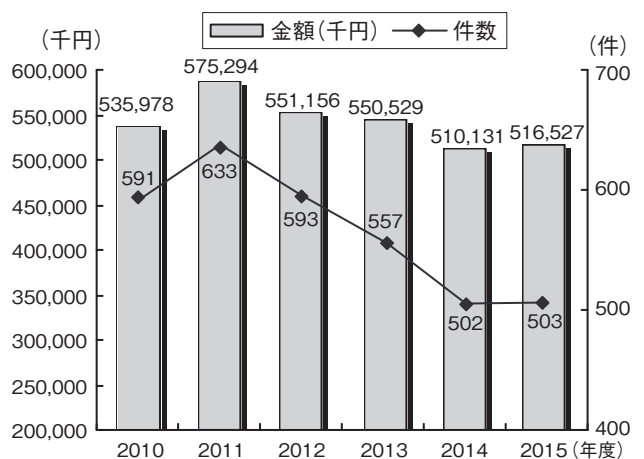
●民間等との共同研究実施状況



●受託研究受入状況



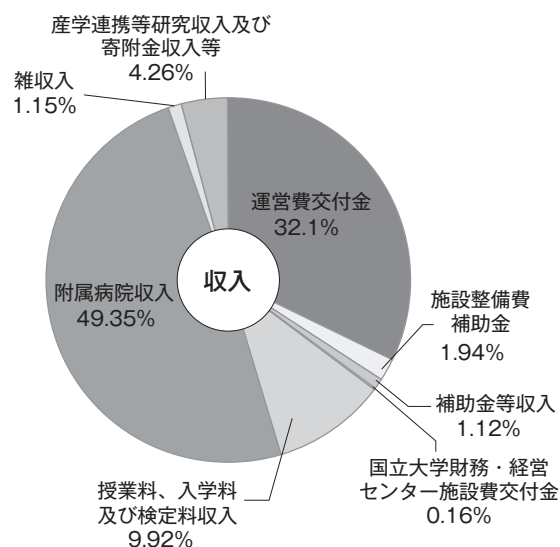
●寄付金受入状況



収入・支出決算額(2015年度)

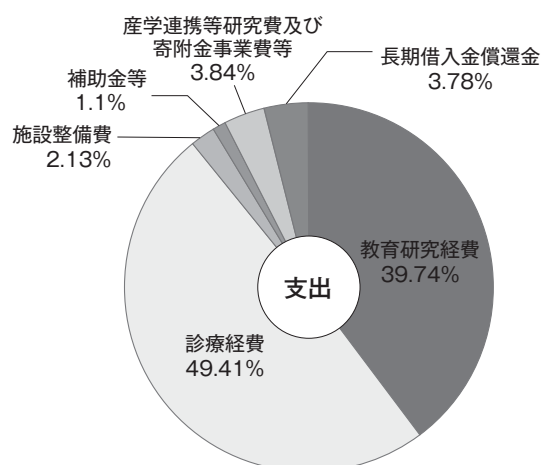
■収入

区 分	金額 (百万円)
運営費交付金	10,898
施設整備費補助金	658
補助金等収入	381
国立大学財務・経営センター施設費交付金	53
授業料、入学料及び検定料収入	3,369
附属病院収入	16,755
雑収入	391
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,447
合 計	33,952

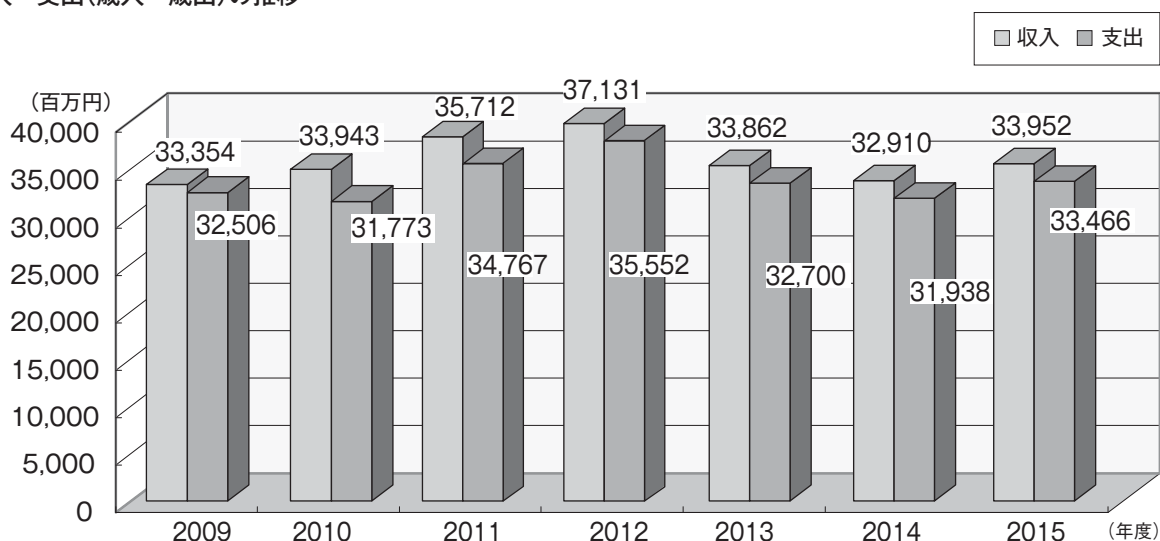


■支出

区 分	金額 (百万円)
教育研究経費	13,300
診療経費	16,537
施設整備費	711
補助金等	369
産学連携等研究費及び寄附金事業費等	1,285
長期借入金償還金	1,264
合 計	33,466



●収入・支出(歳入・歳出)の推移

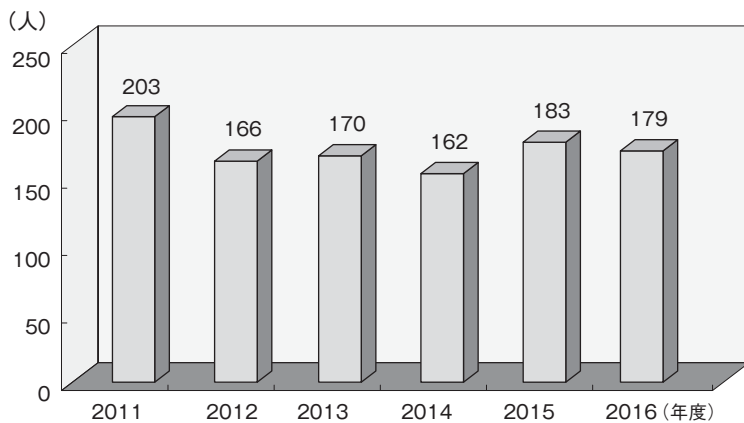


外国人留学生の受入状況

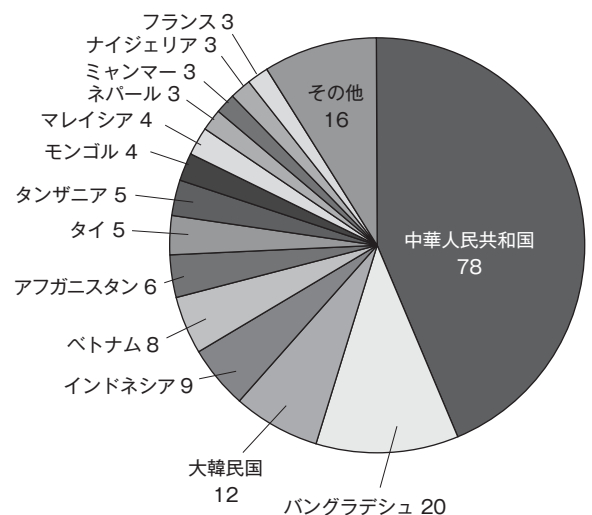
2016.5.1現在

学部等 国籍	法文学部			法文学部集計	教育学部		教育学部集計	医学部		医学部集計	総合理工学部			総合理工学部集計	生物資源科学部			生物資源科学部集計	鳥取大学連合農学研究科	鳥取大学連合農学研究科集計	総計
	学部学生	研究生等	大学院学生		研究生等	大学院学生		研究生等	大学院学生		学部学生	研究生等	大学院学生		学部学生	研究生等	大学院学生				
中華人民共和国	12	13	9	34	2	1	3	2	6	8	8	3	6	17	6	1	9	16			78
バングラデシュ								1	7	8		2	1	3			6	6	3	3	20
大韓民国	5			5					1	1	2	1		3	3			3			12
インドネシア					3		3		4	4									2	2	9
ベトナム					1		1				5			5	1			1	1	1	8
アフガニスタン																	6	6			6
タイ		1		1									1	1			3	3			5
タンザニア								1	1				4	4							5
モンゴル								3	3			1		1							4
マレーシア											3			3					1	1	4
ネパール													1	1					2	2	3
ミャンマー																	3	3			3
ナイジェリア													1	1			1	1	1	1	3
フランス		3		3																	3
台湾		1		1	1		1														2
アメリカ合衆国		1		1	1		1														2
ギニア													2	2							2
エジプト													1	1					1	1	2
ケニア																1	1	1	1	1	2
モザンビーク																1	1				1
スリランカ													1	1							1
キルギス													1	1							1
コロンビア													1	1							1
ガーナ																	1	1			1
ポーランド					1		1														1
総計	17	19	9	45	9	1	10	3	22	25	18	7	20	45	10	1	31	42	12	12	179

●留学生数の推移



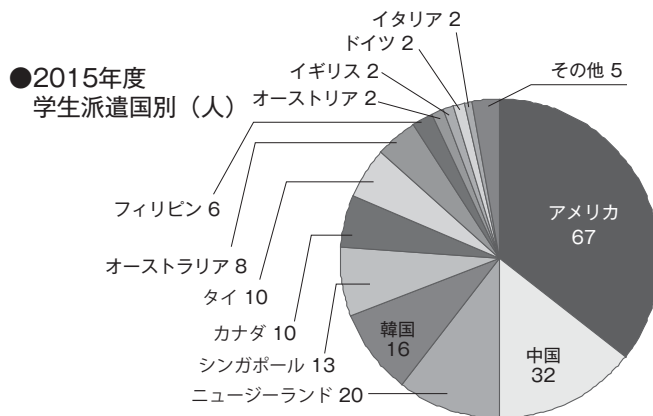
●留学生の国籍内訳



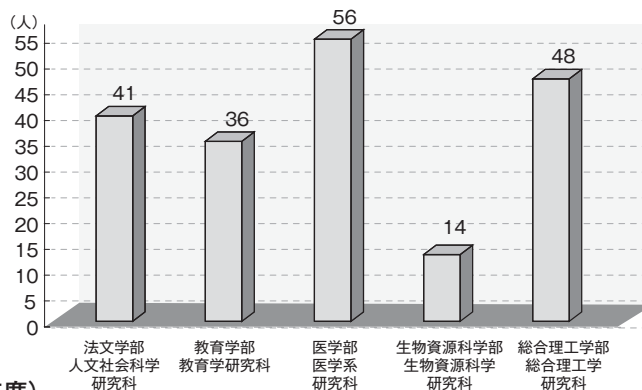
外国への留学状況

■島根大学から留学した学生の数（2015年度） （留学、語学研修、異文化研修、短期研修等）

1. 派遣国別	(人数)	2. 所属別	(人数)
アメリカ	67	法文学部 人文社会科学研究科	41
中国	32	教育学部 教育学研究科	36
ニュージーランド	20	医学部 医学系研究科	56
韓国	16	生物資源科学部 生物資源科学研究科	14
シンガポール	13	総合理工学部 総合理工学研究科	48
カナダ	10	合計	195
タイ	10		
オーストラリア	8		
フィリピン	6		
オーストリア	2		
イギリス	2		
ドイツ	2		
イタリア	2		
その他	5		
合計	195		



●2015年度
所属別学生派遣人数（195人）



■島根大学から交流協定校に交換留学した学生の数（2015年度）

派遣先	法文学部 人文社会科学研究科	総合理工学部 総合理工学研究科	総計
アメリカ	3	0	3
中国	0	1	1
総計	3	1	4

奨学生数

2016.3.1 現在

区分	学生数	日本学生支援機構			比率 (計/学生数)	
		(注1)第一種	(注1)第二種	(注2)計		
法文学部	996	240	257	456	45.8	
教育学部	713	165	212	353	49.5	
医学部	932	175	200	304	32.6	
総合理工学部	1,755	439	506	862	49.1	
生物資源科学部	885	216	244	414	46.8	
計	5,281	1,235	1,419	2,389	45.2	
人文社会科学研究科	19	5	2	6	31.6	
教育学研究科	57	19	2	20	35.1	
医学系研究科	修士課程	56	3	1	4	7.1
	博士課程	139	2	0	2	1.4
総合理工学研究科	博士前期課程	232	104	17	112	48.3
	博士後期課程	30	11	2	12	40.0
生物資源科学研究科	87	41	3	42	48.3	
法務研究科	7	3	0	3	42.9	
計	627	188	27	201	32.1	
合計	5,908	1,423	1,446	2,590	43.8	

(注1) 併用貸与者を含むのべ数
(注2) 併用貸与者を含む実数

定期刊行文献

● 学術雑誌

発行部局等名	文献誌名	編集	発行回数(年)
法文学部	島大法學	法経学科・法務研究科	4
	経済科学論集	法経学科	1
	社会文化論集	社会文化学科	1
	島大言語文化	言語文化学科	2
	山陰研究	山陰研究センター	1
教育学部	島根大学教育学部紀要(教育学、人文・社会科学、自然科学)	教育学部	1
	島根大学教育臨床総合研究	教育学部附属教育支援センター	1
	島根大学教育学部心理臨床・教育相談室紀要	教育学部心理臨床・教育相談室	1
	附属小学校研究紀要	附属小学校	1
	附属中学校研究紀要	附属中学校	1
	附属学校園研究紀要	附属学校園	1
医学部	島根大学医学部紀要、Shimane Journal of Medical Science	医学部	2
総合理工学部	島根大学総合理工学部紀要 島根大学地球資源環境学研究所	総合理工学部 総合理工学研究科地球資源環境学教室	1 1
生物資源科学部	島根大学生物資源科学部研究報告	生物資源科学部	1
法務研究科	島根大学法文学部紀要法経学科・法務研究科篇(島大法學)	法文学部法経学科・法務研究科	4
外国語教育センター	島根大学外国語教育センタージャーナル	外国語教育センター	1
生涯教育推進センター	島根大学生涯学習研究センター年報	生涯教育推進センター	1
汽水域研究センター	島根大学研究・学術情報機構汽水域研究センター年次報告	研究・学術情報機構汽水域研究センター	1
総合科学研究支援センター	島根大学研究・学術情報機構総合科学研究支援センター教育研究活動報告	研究・学術情報機構総合科学研究支援センター	1
島根大学・寧夏大学国際共同研究所	島根大学・寧夏大学国際共同研究所年報	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	1

● 広報紙等

発行部局等名	文献紙名	編集	発行回数(年)
総務課	島根大学概要	広報室	1
	島根大学案内	広報室	1
	広報しまだい	広報室	4
法文学部	島根大学法文学部(学部案内)	法文学部	1
	島根大学教育学部(学部案内)	教育学部	1
教育学部	1000時間体験学修	教育学部附属教育支援センター	1
	島根大学教員免許状更新講習パンフレット	教育学部附属教師教育研究センター	1
	こころとそだちの相談室	教育学部心理・発達臨床相談室	不定期
	園要覧(附属幼稚園)	附属幼稚園	1
	おりづる	附属幼稚園	3
	学校要覧(附属小学校)	附属小学校	1
	附小だより	附属小学校	11
	ちどり	附属小学校	3
	学校要覧(附属中学校)	附属中学校	1
	SCHOOL GUIDE	附属中学校	1
	若樹	附属中学校	3
学校園要覧	附属学校園	1	
医学部	島根大学医学部(学部案内)	医学部	1
医学部附属病院	しろうさぎ	附属病院	4
	病院ニュース	附属病院	12
総合理工学部	島根大学総合理工学部(学部案内) 理工特別コースパンフレット	総合理工学部 総合理工学部	1 1
生物資源科学部	島根大学生物資源科学部(学部案内) 生物資源科学部だより	生物資源科学部 生物資源科学部	1 2
法務研究科	島根大学大学院法務研究科(山陰法科大学院)地域法律相談センター案内	法務研究科	1
教育開発センター	島根大学教育開発センター年報	教育開発センター	不定期
生涯教育推進センター	島根大学生涯教育推進センター年報	生涯教育推進センター	1
	島根大学生涯教育推進センターパンフレット	生涯教育推進センター	不定期
	島根大学公開講座・公開授業受講案内冊子	生涯教育推進センター	2
	島根大学公開講座・公開授業ポスター、募集チラシ	生涯教育推進センター	2
キャリアセンター	島根大学キャリアセンター年報	キャリアセンター	1
	就活ハンドブック	キャリアセンター	1
	島大就活日記	キャリアセンター	1
	企業採用担当者向けパンフレット	キャリアセンター	1
保健管理センター	保健管理センターのしおり(松江)	保健管理センター松江	1
	保健管理センターのしおり(出雲)	保健管理センター出雲	1
産学連携センター	島根大学研究シーズ集	産学連携センター	不定期
	島根大学産学連携センター年報	産学連携センター	1
	島根大学産学連携センターメールマガジン [島根大学産学連携センターニュース]	産学連携センター	不定期
	島根大学産学連携センター・ニュースレター	産学連携センター	1
総合科学研究支援センター	島根大学研究・学術情報機構総合科学研究支援センター通信	総合科学研究支援センター	2
国際交流センター	SHIMANE UNIVERSITY PROSPECTUS	国際交流センター	1
	島根大学リーフレット	国際交流センター	不定期
附属図書館	島根大学附属図書館概要	図書情報課	3年毎
	島根大学附属図書館年報	図書情報課	1
	島根大学附属図書館報: 滄雲	図書情報課	1
	本館ニュース「LiMe ライム」	図書情報課	毎月
	医学図書館ニュース「インフォ・アクセス」	図書情報課	毎月
総合情報処理センター	島根大学総合情報処理センター(概要)	総合情報処理センター	不定期
	島根大学研究・学術情報機構総合情報処理センター・News Letter	総合情報処理センター	1
ミュージアム	島根大学ミュージアム・ニュースレター	ミュージアム	不定期
	島根大学ミュージアム年報	ミュージアム	隔年
男女共同参画推進室	島根大学男女共同参画推進室メールマガジン [さほっと通信]	男女共同参画推進室	不定期
地域未来戦略センター	島根大学男女共同参画推進室事業報告書	男女共同参画推進室	不定期
島根大学・寧夏大学国際共同研究所	事業成果報告書	地域未来戦略センター地域課題学習支援センター	1
	島根大学・寧夏大学国際共同研究所ニュースレター	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	不定期
	島根大学・寧夏大学国際共同研究所パンフレット	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	不定期

土地・建物

2016.5.1現在

区 分	土 地	建 物		備 考
		建面積	延面積	
	m ²	m ²	m ²	
松江キャンパス(川津団地)	201,195	40,596	125,441	京田(駐車場)を含む
本部棟(松江)		714	2,799	
法文学部		1,921	7,631	法文学部校舎
教育学部		4,132	16,554	教育学部実験研究室棟
総合理工学部		6,952	34,541	総合理工学部1・2・3号館
生物資源科学部		5,080	22,375	生物資源科学部1・2・3号館
生物資源科学部附属施設		1,396	1,504	水利実験室、農業機械実験室、林産加工場、製材加工室、動物実験飼育室
温室・ガラス室		864	864	
光物性実験室		53	53	
教養講義室棟		1,301	4,292	教養講義室棟1・2号館
大学ホール		820	831	
保健管理センター		261	479	
汽水域研究センター		250	774	
遺伝子実験施設		515	1,514	
附属図書館		2,035	6,826	
総合情報処理センター		361	683	
ミュージアム		155	155	
古代出雲研究施設		65	130	
体育施設		4,863	5,293	第1・2体育館、トレーニングセンター、プール棟、武道場、弓道場
学生市民交流ハウス		130	75	
学生センター		782	1,400	
学生支援センター		345	656	
学生会館(松江)		877	2,166	
学生食堂		1,592	1,636	第1・2学生食堂
課外活動施設		515	1,976	
学生寄宿舎		2,237	7,466	
環境安全施設		180	180	
有機廃液焼却処理施設		93	93	
中央監視室棟		69	69	
特高受変電棟		168	336	
その他		1,870	2,090	倉庫及び雑建屋
附属学校キャンパス(大輪団地)	54,688	8,468	15,268	
教育学部附属幼稚園		748	912	園舎、物置器具置場
教育学部附属小学校		3,882	7,364	校舎、体育館
教育学部附属中学校		3,838	6,992	校舎、体育館
出雲キャンパス(塩治団地)	222,625	41,258	129,910	
本部棟(出雲)		981	3,351	
講義棟		661	1,965	
実習棟		1,180	4,525	
基礎研究棟		631	4,997	
臨床研究棟		903	4,647	
看護学科棟		1,211	6,189	
共同研究棟		601	2,312	
第二研究棟		754	3,715	
第三研究棟		333	1,335	
第二共同研究棟		395	1,087	
第三共同研究棟		216	420	
第四共同研究棟		207	415	
チュートリアル教室		184	368	
臨床講義棟		884	1,434	
産学連携センター(出雲)		846	2,268	地域医学共同部門
RI-動物実験施設		1,201	3,944	
RI研究棟		193	428	
国際交流会館(出雲)		412	843	
附属図書館(出雲)		1,026	2,232	
体育館		1,315	1,175	
武道館		457	422	武道場、弓道場、弓道練習場
学生会館(出雲)		833	1,998	
医学部会館		451	586	
保育所		186	186	
看護師宿舎		984	4,007	
地域医療支援センター(みらい棟)		773	2,480	
附属病院棟		14,038	57,972	外来・中央診療棟、A・B・C病棟
高エネルギー診療棟		1,156	1,270	
MRI-CT装置棟		531	531	
病歴室		175	482	
立体駐車場		3,921	7,771	
中央機械室		1,923	2,567	
塵芥焼却炉室・発電機室		300	300	
廃水処理施設管理室		340	336	
RI排水処理施設		216	259	
特高受変電棟		215	410	
その他		625	683	倉庫及び雑建屋
フィールド教育・研究キャンパス	5,990,145	6,592	8,242	
生物資源科学部附属生物資源教育研究センター				
森林部門(三瓶・頼原・匹見・二ノ谷団地)	5,804,845	531	739	三瓶演習林、匹見演習林、三坂山演習林等
農業生産科学部(本庄・神西団地)	180,713	5,167	5,997	本庄農場、神西農場
海洋生物科学部(隠岐団地)	4,587	894	1,506	隠岐臨海実験所
その他の団地	15,280	1,891	2,786	
江島	3,124	410	377	汽水域研究センター-中海分室
北陵	1,350	668	1,141	産学連携センター(松江)
菅田	3,182	435	830	国際交流会館(松江)
柴	4,864	74	74	第2運動場(テニスコート、自動車練習場)
朝酌	1,314	304	364	艇庫
南田町	557	0	0	
曲り田	889	0	0	駐車場

沿革・組織

学部等

学生数・入試・就職・進学状況

公開講座・公開授業

外部資金・収入・支出決算額

国際交流・その他

連絡先一覧

大学ホームページ <http://www.shimane-u.ac.jp> E-mail: webinfo@office.shimane-u.ac.jp

	▶電話	▶E-mail	
学部等	法文学部：人文社会科学研究所	0852-32-6113	lit-jimu@office.shimane-u.ac.jp
	教育学部：教育学研究所	0852-32-6251	edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp
	附属教育支援センター	0852-32-9836	aces@edu.shimane-u.ac.jp
	附属教師教育研究センター	0852-32-6495	crte-shimane@edu.shimane-u.ac.jp
	附属FD戦略センター	0852-32-9850	kyofd001@edu.shimane-u.ac.jp
	附属幼稚園	0852-29-1120	sora@edu.shimane-u.ac.jp
	附属小学校	0852-29-1200	yaegumo@edu.shimane-u.ac.jp
	附属中学校	0852-29-1300	shimafu@edu.shimane-u.ac.jp
	附属学校学習生活支援研究センター	0852-29-1314	
	医学部：医学系研究科	0853-20-2015	mga-somu@office.shimane-u.ac.jp
	医学部附属病院	0853-20-2061	mse-iryoshien@office.shimane-u.ac.jp
	総合理工学部：総合理工学研究科	0852-32-6095	sci-jimu@office.shimane-u.ac.jp
	生物資源科学部：生物資源科学研究科	0852-32-6493	lif-jimu@office.shimane-u.ac.jp
	附属生物資源教育研究センター	0852-34-0311	lif-honjo@office.shimane-u.ac.jp
	法務研究科	0852-32-9835	law-jimu@office.shimane-u.ac.jp
機構等	教育・学生支援機構		
	教学企画IR室	0852-32-9777	ir-staff@soc.shimane-u.ac.jp
	教育開発センター	0852-32-9860	sucerd@soc.shimane-u.ac.jp
	外国語教育センター	0852-32-9837	epd-gaikoku@office.shimane-u.ac.jp
	生涯教育推進センター	0852-32-6408	ercll@edu.shimane-u.ac.jp
	アドミッションセンター	0852-32-6625	admissioncenter@office.shimane-u.ac.jp
	キャリアセンター	0852-32-6061	ssd-shushoku@office.shimane-u.ac.jp
	保健管理センター 松江キャンパス	0852-32-6568	health@soc.shimane-u.ac.jp
	出雲キャンパス	0853-20-2098	
	学生支援センター	0852-32-6330	ssd-gakusei@office.shimane-u.ac.jp
	障がい学生支援室	0852-32-9770	ssd-shien@office.shimane-u.ac.jp
	研究：学術情報機構		
	戦略的研究推進センター	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
	重点研究部門	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
	萌芽研究部門	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
	特別研究部門	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
	プロジェクトセンター	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
	汽水域研究センター	0852-32-6099	kisui@soc.shimane-u.ac.jp
	産学連携センター		
	地域産業共同研究部門	0852-60-2290	crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp
	知的財産創活部門	0852-60-2290	crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp
	連携企画推進部門	0852-60-2290	crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp
	地域医学共同研究部門（出雲キャンパス）	0853-20-2912	cmrc@med.shimane-u.ac.jp
	総合科学研究支援センター		
	・松江キャンパス 遺伝子機能解析部門	0852-32-6109	idenshi@life.shimane-u.ac.jp
	RI実験施設	0852-32-6109	
	物質機能分析部門	0852-32-6122	shijo@riko.shimane-u.ac.jp
	・出雲キャンパス 実験動物部門	0853-20-2363	kkawaka@med.shimane-u.ac.jp
	生体情報・RI実験部門	0853-20-2369	brcenter@med.shimane-u.ac.jp
	総合情報処理センター	0852-32-6091	center@ipc.shimane-u.ac.jp
	ミュージアム	0852-32-6496	museum@riko.shimane-u.ac.jp
	国際交流機構		
	国際交流センター	0852-32-9756	international@office.shimane-u.ac.jp
	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	0852-32-9735	ied-koryu@office.shimane-u.ac.jp
	附属図書館 本館（松江キャンパス）	0852-32-6083	library@lib.shimane-u.ac.jp
医学図書館（出雲キャンパス）	0853-20-2094	m-library@lib.shimane-u.ac.jp	
評価室	0852-32-6606		
男女共同参画推進室	0852-32-6018	kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp	
広報室	0852-32-6603	webinfo@office.shimane-u.ac.jp	
地域未来戦略センター	0852-32-9814	lscrc@riko.shimane-u.ac.jp	
山陰法実務教育研究センター	0852-32-6426	law-jimu@office.shimane-u.ac.jp	
広島オフィス	082-236-1926	su-hiroshima@jn.shimane-u.ac.jp	
事務組織	監査室	0852-32-6026	aud-kansa@office.shimane-u.ac.jp
	総務部		
	総務課	0852-32-6603	gad-koho@office.shimane-u.ac.jp
	人事労務課	0852-32-6018	pld-romu@office.shimane-u.ac.jp
	企画・地域連携推進部	0852-32-6605	gad-kikaku@office.shimane-u.ac.jp
	財務部		
	財務課	0852-32-6023	fad-zaimu@office.shimane-u.ac.jp
	経理・調達課	0852-32-6027	apd-chotatsu@office.shimane-u.ac.jp
	施設企画課／施設整備課	0852-32-6044	fpd-msomu@office.shimane-u.ac.jp
	教育・学生支援部		
	教育・入試企画課	0852-32-6052	epd-kyoiku@office.shimane-u.ac.jp
	学務課	0852-32-7029	sad-kyoiku@office.shimane-u.ac.jp
	学生支援課	0852-32-6330	ssd-gakusei@office.shimane-u.ac.jp
	学術国際部		
	研究協力課	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
国際交流課	0852-32-6106	ied-ryugaku@office.shimane-u.ac.jp	
情報企画課	0852-32-6248	ipd-joho@office.shimane-u.ac.jp	
図書情報課	0852-32-6083	library@lib.shimane-u.ac.jp	

アクセス

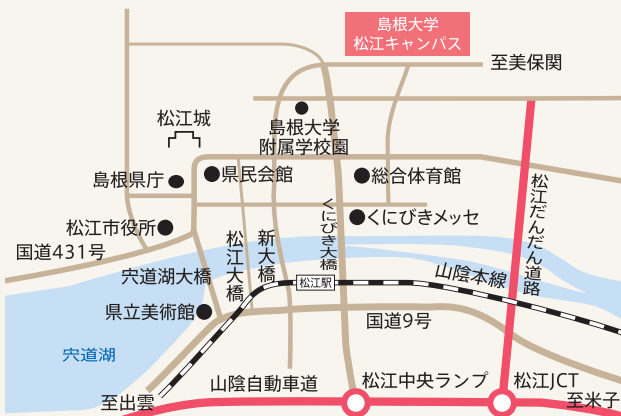


松江キャンパス

空路	東京(羽田)→出雲	約1時間25分
	福岡→出雲	約1時間5分
	名古屋(小牧)→出雲	約1時間
	大阪(伊丹)→出雲	約55分
	※出雲空港から空港連絡バス松江行(約30分) J R松江駅下車	
J R	東京(羽田)→米子	約1時間20分
	※米子空港から空港連絡バス松江行(約45分) J R松江駅下車	
	東京→岡山→松江	約6時間10分
高速バス	福岡→岡山→松江	約4時間30分
	大阪→岡山→松江	約3時間40分
	東京(渋谷)→松江	約10時間25分
	大阪(梅田)→松江	約4時間40分
	岡山→松江	約3時間
	広島→松江[特急便]	約3時間20分
	福岡→松江	約10時間10分

JR松江駅より

市営バス	北循環線内回り 島根大学前下車	約15分
	島根大学・川津行 島根大学前下車	約20分
※他に「平成ニュータウン」「あじさい団地」「東高校」等もあります。		
一畑バス	美保関ターミナル行 島根大学前下車	約20分
	マリンゲートしまね行 島根大学前下車	約20分



出雲キャンパス

空路	東京(羽田)→出雲	約1時間25分
	福岡→出雲	約1時間5分
	名古屋(小牧)→出雲	約1時間
	大阪(伊丹)→出雲	約55分
	※出雲空港から空港連絡バス出雲市駅行(約25分) J R出雲市駅下車	
J R	東京→岡山→出雲市	約6時間40分
	福岡→岡山→出雲市	約5時間
	大阪→岡山→出雲市	約4時間10分
高速バス	東京(渋谷)→出雲	約11時間20分
	大阪(梅田)→出雲	約5時間35分
	岡山→出雲	約4時間
	広島→出雲[特急便]	約3時間
	福岡→出雲	約9時間10分

JR出雲市駅より一畑バス

出雲市駅・上塩治車庫行 島根大学病院下車	約10分
市内循環左まわり(150円バス)・	
上塩治車庫行 島根大学入口下車	約5分
出雲須佐行 島根大学病院前下車(2番のりば)	約10分



表紙のことば

生物資源科学部 附属生物資源教育研究センター
本庄総合農場の桜風景
(平成28年4月6日撮影)

手前から奥に向かって、アメリカ、本庄曙(ほんじょうあけぼの)の品種となります。島根大学本庄総合農場では、約140品種、約450本の桜を植栽。毎年、多くの桜が開花する時期に合わせて一日開放が行われます。



人とともに 地域とともに
国立大学法人

島根大学

国立大学法人 島根大学概要 2016-2017

編集・発行／島根大学広報室(総務部総務課)
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL. (0852) 32-6100

<http://www.shimane-u.ac.jp>

E-mail: webinfo@office.shimane-u.ac.jp



学 章

総合大学として飛躍し、発展する島根大学を日本海の青色のUで、
知性を愛し感性を育む学問の探究を茜色の扉と本で象徴しています。

